

上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ

平成 27 年 3 月

上三川町教育委員会
宇都宮市教育委員会

序

現在の私達の社会は、目を見張る繁栄を誇っていますが、この繁栄の影には、長い歴史の中で先人が積み重ねた歴史があることを忘れてはなりません。その歴史を証明する資料として文献資料はもちろんですが、私達の郷土の地中に眠る埋蔵文化財の価値が非常に高いものがあります。地中に眠っていた遺構や遺物は、文字に残されなかった人々の生活の痕跡を今に伝える貴重な資料であり、何よりも郷土の歴史を私達に訴えかける貴重な財産であります。

ご存知の通り上神主・茂原官衙遺跡は平成15年8月に国史跡に指定され、郷土はもとより国民共有の財産として、後世に残すべく、公有地化事業を進め、それと共に、史跡公園整備に向けての発掘調査を実施してまいりました。結果、大型瓦葺建物跡の全容が判明したほか、東山道の南側の路線方向や、入口部施設の全容が判明するなど、今後の史跡整備に向けて、大きな成果を挙げることができました。

最後になりますが、調査及び整理作業にご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

平成27年3月

上三川町教育委員会

教育長 森 田 良 司

序

上神主・茂原官衙遺跡は、宇都宮市と上三川町における合同調査の結果、平成15年8月に国史跡に指定されました。古代の下野国河内郡衙と推定される本遺跡は、宇都宮市では初めての官衙跡であり、全国的に見ても第一級の遺跡であることから、上三川町とともに本遺跡を恒久的に保存し、後世に継承していくため、平成18年3月に上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想を策定し、これまで保存整備に向けた取組を進めているところであります。

平成24・25年度の調査では、官衙の北西部にあたる場所から大型の掘立柱建物跡が確認され、本遺跡が北側まで広がることが判明しております。

これまでに確認された多数の建物跡や出土した2,300点もの文字瓦は、当時の地方行政の実態を伝えるものであり、本地域の古代史研究の深化とともに、本遺跡の今後の保存活用に役立つことを期待するものであります。本報告書が多くの方々にご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査ならびに報告書作成にあたり、ご指導・ご協力を賜りました上神主・茂原官衙遺跡保存整備委員会、文化庁、栃木県教育委員会、そして地元関係者の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

宇都宮市教育委員会

教育長 水 越 久 夫

例 言

1. 本書は栃木県河内郡上神主字富士山台と宇都宮市茂原町字江面にまたがって所在する国指定史跡上神主・茂原官衙遺跡の発掘調査報告書である。

2. 本発掘調査は、遺跡の範囲・性格確認を目的として、平成18年度から平成25年度の11回にわたって実施したものであり、期間及び主体者は次の通りである。

年 度	調査回数	調 査 期 間	主 体 者
平成18年度	第15次調査	平成18年10月16日～平成18年12月8日	上三川町教育委員会
平成19年度	第16次調査	平成19年9月4日～平成19年12月18日	上三川町教育委員会
平成20年度	第17次調査	平成20年9月1日～平成20年12月12日	上三川町教育委員会
	第18次調査	平成20年9月16日～平成20年12月24日	宇都宮市教育委員会
平成21年度	第19次調査	平成21年9月1日～平成21年12月24日	上三川町教育委員会
	第20次調査	平成21年9月14日～平成22年1月15日	宇都宮市教育委員会
平成22年度	第21次調査	平成22年9月1日～平成22年12月24日	上三川町教育委員会
	第22次調査	平成22年10月5日～平成22年12月21日	宇都宮市教育委員会
平成23年度	第23次調査	平成23年12月1日～平成24年2月29日	上三川町教育委員会
平成24年度	第24次調査	平成24年11月5日～平成24年12月27日	宇都宮市教育委員会
平成25年度	第25次調査	平成25年11月1日～平成25年12月25日	宇都宮市教育委員会

3. 本発掘調査の実施にあたっては、平成17年度に保存整備委員会を設置し、調査方針・遺構調査方法及び遺跡の性格等についての指導助言を受けた。委員の構成は次の通りである。(職名は平成26年度現在)

氏 名	職 名	委 嘱 期 間
田 辺 征 夫	(独) 大阪府埋蔵文化財センター所長	平成17年度～
田 中 哲 雄	元東北芸術工科大学歴史遺産学科 教授	平成17年度～
佐 藤 信	東京大学大学院人文社会系研究科 教授	平成17年度～
藤 井 恵 介	東京大学大学院工学系研究科 教授	平成17年度～
田 熊 信 之	昭和女子大学文学部 教授	平成17年度～平成26年度
酒 井 清 治	駒澤大学文学部 教授	平成17年度～
塙 静 夫	元宇都宮市文化財保護審議委員会 委員長	平成17年度～平成20年度
橋 本 澄 朗	宇都宮市文化財保護委員会 委員	平成20年度～
日 向 野 昇	上三川町文化財保護審議会 会長	平成17年度～
田 熊 清 彦	宇都宮市文化財調査員	平成26年度～
(指導機関)	文化庁文化財部記念物課・(独) 奈良文化財研究所・栃木県教育委員会文化財課 (財) とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター	

4. 本調査の主体者である上三川町教育委員会と宇都宮市教育委員会の事務局組織は次の通りである。

○上三川町教育委員会（平成18～26年度）

教 育 長：篠原英雄（平成18～24年度）、森田良司（平成24～26年度）

生涯学習課長：猪瀬貞夫（平成18～19年度）、町田健一（平成20～23年度）、瓦井治男（平成24～26年度）

生涯学習課長補佐：中川龍司（平成18～19年度）、早川民夫（平成20年度）、瓦井治男（平成21～23年度）、小島哲史（平成24年度）、柳田清司（平成25～26年度）

文 化 係 長：仁平整（平成18～21年度）

生涯学習係長：瓦井治男（平成22年度）、秋元陽光（平成23年度）、瓦井治男（平成23年度）、鈴木清（平成24～25年度）、深谷昇（平成26年度）

担 当 者：深谷昇（平成18～26年度）

調 査 補 助 員：江原美奈子（平成18年度）

文化財調査員：津野田陽介（平成20～23年度）、齊藤しのぶ（平成25～26年度）

○宇都宮市教育委員会（平成20～26年度）

教 育 長：伊藤文雄（平成20～23年度）、水越久夫（平成24～26年度）

教 育 次 長：高井徹（平成20年度）、岡本典幸（平成21～22年度）、手塚敏男（平成23～24年度）、檜原貞亮（平成25～26年度）

文 化 課 長：檜原貞亮（平成20年度）、森山和夫（平成21年度）、高橋充史（平成22～23年度）、赤石澤亮（平成24～26年度）

文化課長補佐：篠原豊（平成20年度）、栃木邦雄（平成21年度）、阿部紀夫（平成22年度）、伊藤泰拓（平成23年度）、鈴木光世（平成24～25年度）、岡地宏（平成26年度）

文化財保護係長：大塚雅之（平成20～23年度）、富川努（平成24～25年度）、今平利幸（平成26年度）

担 当 者：今平利幸（平成20～25年度）・前原義之（平成20～26年度）

5. 本書の執筆編集は、保存整備委員会の指導助言を受けながら、事務局の上三川町の深谷、宇都宮市の前原が担当した。また編集については上三川町の齊藤の補助を受けた。

6. 本遺跡の発掘調査報告書については以下の通り刊行されている。

秋元陽光・保坂知子「上神主・茂原遺跡Ⅰ」上三川町教育委員会 平成11年3月

深谷昇・梁木誠「上神主・茂原官衙遺跡」上三川町教育委員会 宇都宮市教育委員会 平成15年3月

7. 本報告の整理作業に関わった作業員は、今井桂子・岩山孝子・鶴澤房子・齋藤久美子・佐藤圭子である。

8. 本遺跡の出土遺物・資料類は、上三川町教育委員会及び宇都宮市教育委員会に保管している。

9. 調査及び整理にあたっては、次の方々からご指導・ご教示を賜った。記して謝意を表する。(敬称略)
内山敏行・大橋泰夫・君島利之・木村友則・酒寄雅司・真保昌弘・竹澤謙・山口耕一
10. 本遺跡の発掘調査・整理作業に関わった作業員は、以下のとおりである。
- 上三川町側：今井桂子、岩山京平、岩山孝子、上野久子、上野フミ子、鵜澤房子、海老原美枝子、大橋かね子、木村俊介、木村義美、齋藤久美子、佐藤圭子、陶山常雄、高島勝征、高島典子、高松米子、谷川淳紀、根本弘、村上里美、諸沢正雄、矢田勇、湯田仁淑
 - 宇都宮市側：新井ミヤ子、小高真理子、篠原信子、高島勝征、高嶋キヨノ、高島典子、高松米子、中尾忠治、橋本フジ、森田幸江、諸沢正雄

凡 例

1. 遺跡の略称は、KKTである。
2. 遺構は種類ごとに次の略号で示した。なお、遺構番号は確認順の通し番号とした。
礎石建物跡・掘立柱建物跡：SB、溝状遺構：SD、竪穴建物跡：SI、井戸跡：SE、土坑：SK、
堀：SA、墳墓：SZ、性格不明遺構：SX
3. 遺構実測図中の方位は国土方眼座標による北を示している。
4. 遺構・遺物の実測図の縮尺は適宜スケールで示した。
5. 遺物実測図の土器断面は、須恵器を黒つぶしで示した。
6. 遺構・遺物の写真図版の縮尺は不統一である。

目 次

序文

例言・凡例

第1章 遺跡の環境

- 第1節 地理的環境……………1
- 第2節 歴史的環境……………1

第2章 調査の経緯

- 第1節 調査研究の歴史……………4
- 第2節 調査の目的……………4
- 第3節 調査の計画と方法……………4
- 第4節 調査の経過……………6

第3章 調査成果

- 第1節 東山道跡の調査……………11
- 第2節 S B 0 1（瓦葺礎石建物）の調査……………18
- 第3節 S B 0 1 周辺部分の調査……………22
- 第4節 区画施設と出入口施設確認のための調査……………33
- 第5節 文字資料確認のための低地部調査……………44
- 第6節 北側範囲確認のための調査……………44

第4章 瓦類の報告

- 第1節 鐙瓦・宇瓦……………54
- 第2節 女瓦・男瓦……………55
- 第3節 道具瓦……………63
- 第4節 文字瓦……………63

第5章 まとめ

- 第1節 遺構の時期と変遷……………65
- 第2節 遺構の性格と位置付け……………67

挿図目次

第 1 図	遺跡の位置	1	第 36 図	東側東山道近接部調査区平面図	36
第 2 図	遺跡周辺の地形区分	1	第 37 図	東側東山道近接部調査区土層断面図	37
第 3 図	周辺の主な遺跡分布図	3	第 38 図	政庁東側崖面調査区遺構配置図 (1)	39
第 4 図	調査の対象範囲	5	第 39 図	政庁東側崖面調査区出土遺物実測図	39
第 5 図	調査区グリッド設定図	6	第 40 図	政庁東側崖面調査区遺構配置図 (2)	40
第 6 図	上神主・茂原官衙遺跡遺構配置図	9	第 41 図	政庁東側崖面調査区 T5 平面図	40
第 7 図	東山道跡調査区トレンチ配置図	11	第 42 図	政庁東側崖面調査区 T1 平面図	41
第 8 図	東山道跡調査区 T3 平面図	12	第 43 図	政庁東側崖面調査区 T2 平面図・土層断面図	41
第 9 図	東山道跡調査区 T4 平面図	12	第 44 図	政庁東側崖面調査区 T3 平面図・土層断面図	42
第 10 図	東山道跡調査区 T7 平面図	12	第 45 図	政庁東側崖面調査区 T4 平面図・土層断面図	43
第 11 図	東山道跡調査区 T8 平面図・土層断面図	13	第 46 図	政庁東側崖面調査区 T6 平面図	43
第 12 図	東山道跡調査区 T10 平面図・土層断面図	14	第 47 図	北側範囲確認調査区遺構配置図	45
第 13 図	東山道跡調査区 T1・T2 平面図	15	第 48 図	北側範囲確認調査区 T1 平面図	46
第 14 図	東山道跡調査区 T1 土層断面図	16	第 49 図	北側範囲確認調査区 T1 土層断面図	47
第 15 図	東山道跡調査区 T9 平面図・土層断面図	16	第 50 図	北側範囲確認調査区 T2 平面図・土層断面図	48
第 16 図	東山道跡調査区 T5・T6 平面図・土層断面図	17	第 51 図	北側範囲確認調査区 T4 平面図	49
第 17 図	東山道跡調査区出土遺物実測図	18	第 52 図	北側範囲確認調査区 T5 平面図	49
第 18 図	SB01 調査区平面図・土層断面図	19	第 53 図	北側範囲確認調査区 T3 平面図・土層断面図	50
第 19 図	SB01 調査区出土遺物実測図 (1)	20	第 54 図	北側範囲確認調査区 T6 (北部) 平面図	50
第 20 図	SB01 調査区出土遺物実測図 (2)	21	第 55 図	北側範囲確認調査区 T6 (北部) 土層断面図	51
第 21 図	SB01 南側調査区平面図	23	第 56 図	北側範囲確認調査区 T6 (中央部) 平面図	51
第 22 図	SB01 南側調査区土層断面図	24	第 57 図	北側範囲確認調査区出土遺物実測図	52
第 23 図	SB01 南側調査区出土遺物実測図	25	第 58 図	鏡瓦実測図	54
第 24 図	SB01 北・北東側調査区遺構配置図	26	第 59 図	宇瓦実測図 (1)	54
第 25 図	SB01 北東側調査区出土遺物実測図	27	第 60 図	宇瓦実測図 (2)	55
第 26 図	SB172 平面図・土層断面図	28	第 61 図	女瓦実測図 (1)	56
第 27 図	SB173・SI192～195 平面図	29	第 62 図	女瓦実測図 (2)	57
第 28 図	SD18・SD174 平面図・土層断面図	30	第 63 図	女瓦実測図 (3)	58
第 29 図	SD198 平面図	31	第 64 図	女瓦実測図 (4)	59
第 30 図	SD18・SD197 平面図	31	第 65 図	女瓦実測図 (5)	60
第 31 図	SD26 平面図・土層断面図	32	第 66 図	女瓦実測図 (6)	61
第 32 図	SI199～202 平面図	33	第 67 図	女瓦実測図 (7)・男瓦実測図	62
第 33 図	政庁正殿中軸線上調査区平面図	34	第 68 図	道具瓦実測図	63
第 34 図	SB01 東辺延長線上調査区平面図	35	第 69 図	官衙変遷図	66
第 35 図	東側東山道近接部調査区出土遺物実測図	35	第 70 図	正倉域中心建物変遷図	67

表目次

第 1 表	発掘調査の経過	7	第 8 表	政庁東側崖面調査区出土遺物観察表	44
第 2 表	東山道跡調査区出土遺物観察表	18	第 9 表	北側範囲確認調査区出土遺物観察表 (1)	52
第 3 表	SB01 調査区出土遺物観察表 (1)	21	第 10 表	北側範囲確認調査区出土遺物観察表 (2)	53
第 4 表	SB01 調査区出土遺物観察表 (2)	22	第 11 表	女瓦型押文一覧	56
第 5 表	SB01 南側調査区出土遺物観察表	25	第 12 表	氏の比率	63
第 6 表	SB01 北東側調査区出土遺物観察表	27	第 13 表	氏・名の種類	64
第 7 表	東側東山道近接部調査区出土遺物観察表	38	第 14 表	官衙の変遷	66

図版目次

図版 1

- 東山道跡調査区 T1 (北西から)
- 東山道跡調査区 T1 (北西から)
- 東山道跡調査区 T2 (南から)
- 東山道跡調査区 T5 (南東から)
- 東山道跡調査区 T1 (南から)
- 東山道跡調査区 T8 路面確認状況 (南から)
- 東山道跡調査区 T8 (南から)
- 東山道跡調査区 T10 完掘状況 (南から)

図版 2

- 東山道跡調査区 T10 完掘状況 (北から)
- 東山道跡調査区 T10 土層断面 (南から)
- 東山道跡調査区 T10 土層断面 (北から)
- SB31 全景 (南から)
- SB31 全景 (北から)
- SB31 全景 (南から)
- SB63 全景 (西から)
- SB63 北 1 東 2 柱穴遺物出土状況

図版 3

- SB63 北 2 西 4 柱穴土層断面 (西から)
- SB171 全景 (西から)
- SB171 南 1 西 5 柱穴土層断面 (西から)
- SD26 SB01 南 A-A' セクション土層断面 (南西から)
- SB01 南側調査区 瓦集中区確認状況 (南東から)
- SB01 南側調査区全景 (南西から)
- SB01 南側調査区全景 (南東から)
- SB01 南側調査区全景 (北西から)

図版 4

- SB01 南側調査区全景 (北東から)
- SB01 掘込地業南側土層断面 (南東から)
- SB01 掘込地業中央土層断面 (北東から)
- SB01 掘込地業北側土層断面 (北東から)
- SB01 掘込地業北側土層断面 (南東から)

図版 5

- SB01 掘込地業北側土層断面 (北から)
- SB01 全景 (南西から)
- SB01 全景 (北西から)
- SB01 全景 (北東から)
- SB01 中央南側礫敷遺構確認状況 (東から)

図版 6

- SB01 西側礫集中箇所 (北から)
- SB01 東側完掘状況 (中央西から)
- SB01 西側完掘状況 (中央東から)
- 東山道近接入口部分調査区完掘状況 (北から)
- 東山道近接入口部分調査区完掘状況 (北西から)
- 東山道近接入口部分調査区完掘状況 (西から)
- 東山道近接入口部分調査区完掘状況 (南東から)
- SX176 土層断面 (南西から)

図版 7

- SX176 土層断面 (南東から)
- SX175 土層断面 (南東から)
- SA185-1 半裁状況 (南東から)
- SD06 確認状況 (東から)
- 政庁東側崖面調査区 T4 SD183 確認状況 (南東から)
- 政庁東側崖面調査区 T4 SD183 土層断面 (南東から)
- 政庁東側崖面調査区 T5 完掘状況 (北から)
- 政庁東側崖面調査区 T3 確認状況 (南西から)

図版 8

- 北側範囲確認調査区 T6 中央部 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T6 中央部 (北から)
- 北側範囲確認調査区 T6 北部 (北西から)
- 北側範囲確認調査区 SE189 完掘状況 (南から)
- 北側範囲確認調査区 SB188 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T5 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T1 (南東から)
- 北側範囲確認調査区 T1 (北から)

図版 9

- 北側範囲確認調査区 T1 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T1 SB187 (西から)
- 北側範囲確認調査区 SB187 (北から)
- 北側範囲確認調査区 SB187 柱穴 C 土層断面 (東から)
- 北側範囲確認調査区 SB187 柱穴 D 土層断面 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T2 (北から)
- 北側範囲確認調査区 T2 SK191 (南から)
- 北側範囲確認調査区 T2 (西から)

図版 10

- 文字瓦

第1章 遺跡の環境

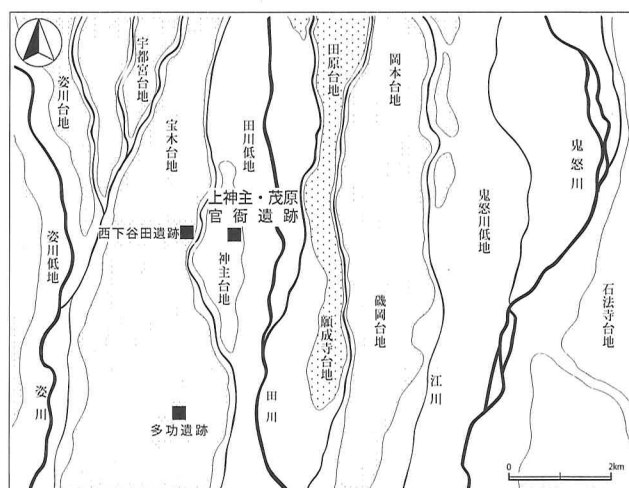
第1節 地理的環境

1 遺跡の位置と地形

上神主・茂原官衙遺跡は宇都宮市の南端、上三川町の北西端に位置し、河内郡上三川町大字上神主字富士山台から宇都宮市茂原町字江面地内の標高約80mの台地上に所在する。本遺跡が位置する場所は関東平野の北部にあり、平坦で起伏が少ない場所であるが、その中において本遺跡の所在する宝木台地は、比較的高低差が明確な土地である。本遺跡周辺を見ると、東より鬼怒川低地、岡本台地、田原台地、田川低地、宝木台地、姿川低地、姿川台地に分けられ、南に流れる河川が、これらの台地を開析しながら南流している。



第1図 遺跡の位置



第2図 遺跡周辺の地形区分

2 遺跡の現況

遺跡の北側には北関東自動車道と側道が横断し、その北側には茂原地区の集落が展開する。遺跡の東側は、田川の低地により形成された水田が広がり、耕地整理事業を実施しているものの古代と同一の景観が色濃く残っているものと思われる。遺跡の南側と西側については、平地林や畑が広がり、更にその南側には、ゆうきが丘ニュータウンが広がる。遺跡は現在、予定箇所の全ての公有地化が終了し、宇都宮市・上三川町で管理を行なっているが、遺跡の大半を平地林と草地在り占めている。

第2節 歴史的環境

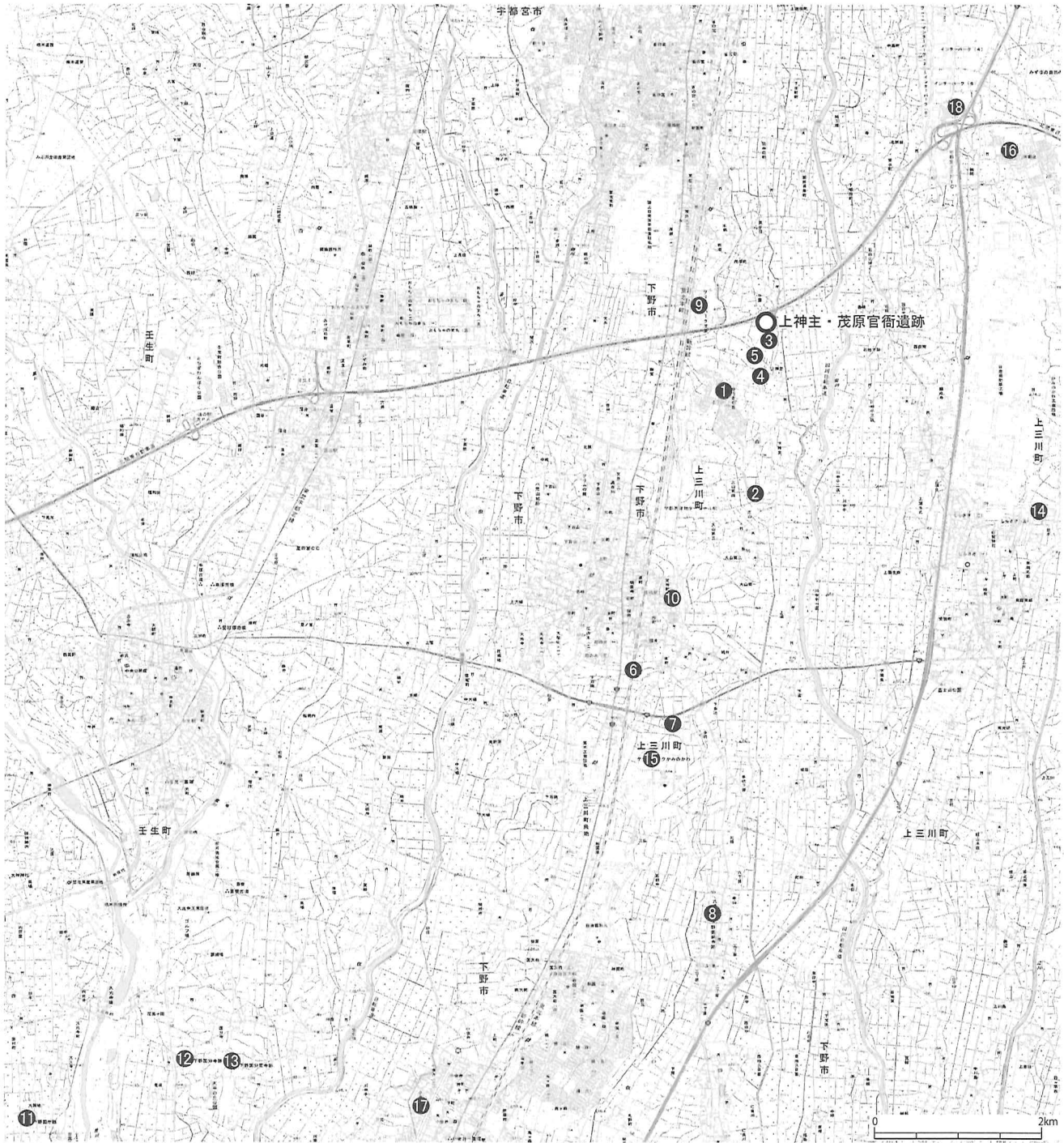
周辺における古墳時代の遺跡を概観してみると、田川西岸域に集中し、古墳時代後期は古墳時代中期に比べると集落の数は格段に増加し、沖積地から台地上へ土地の開発が進んでいった様子が窺える。遺跡が立地する神主台地上には、豪族居館を伴う殿山遺跡(1)や、薄市遺跡(2)といった遺跡が展開する。また、古墳を見てみると、古墳時代中期のものとしては、県内最大規模の円墳であり、神主古墳群の中では盟主墳に位置づけられる浅間神社古墳(3)が築造され、その後、盟主墳は前方後円墳である後志部古墳(4)、帆立貝式古墳である上神主狐塚古墳(5)と推移し、その後は各地域の拠点ごとに大型の円墳を築造する時代になるが、代表的なものとして、直径82mの円墳で短い造り出し部がつく下石橋愛宕塚古墳(6)があげられる。それも終わる古墳時代の終末期になると、他県と同様、大型方墳である多功大塚山古墳(7)が築造され、奈良時代へと推移する。

多功大塚山古墳には版築技法も使われており、本遺跡はもちろん、本古墳の南に位置する下毛野氏の氏寺と考えられる下野薬師寺跡（8）や、初期の官衙遺跡である西下谷田遺跡（9）や多功遺跡（10）との深いつながりが考えられる。律令期における河内郡には、文部・刑部・大統・酒部・三川・財部・真壁・軽部・池部・衣川の10の郷のほか、田部と衣川の2つの駅家が存在していた。主要な遺跡としては、下野国府跡（11）・下野薬師寺跡・下野国分寺跡（12）・同尼寺跡（13）が挙げられる。下野国府跡は都賀郡に位置し、調査の結果、前殿を初めとした国庁に関わる建物が確認されると共に、8～10世紀にわたる変遷が明らかにされ、9世紀後半には漆紙文書や木簡等の文字資料も多く出土している。下野薬師寺跡は河内郡に位置し、継続的な調査により主要伽藍の配置が明らかになっているが、当初は河内郡の郡寺及び下毛野氏の氏寺といった性格であったもので、7世紀代に創建されたということから考えても、比較的早い段階より、当地が仏教文化を受容していたことがわかる。下野国分寺跡は国府同様、都賀郡に位置し、発掘調査によって南大門・中門・金堂・講堂を一直線に配することがわかっている。しかし、律令体制が崩れてくる10世紀代になると建物の修理は行なわれなくなり荒廃していく。下野国分尼寺跡は、国分寺とは狭い谷を隔てた東に位置し、昭和39年から行なわれた調査の結果、伽藍の配置が明らかになっている。多功遺跡は、本遺跡との関係を考える上で最も重要な遺跡といっても過言ではない。発掘調査では8世紀前半以前から10世紀にかけての掘立柱建物跡が13棟、礎石建物が10棟確認されており、その規模からも河内郡家関係の遺跡であることは間違いない。また本遺跡の西1.2kmに所在する西下谷田遺跡では、7世紀代の八脚門を含む方形区画施設が掘立柱建物群及び大型竪穴建物跡を伴って確認されており、本遺跡に先行する官衙施設と考えられる。

上記のほかにも官衙的な位置づけがされている遺跡が複数ある。上三川町しらさぎに所在する島田遺跡（14）では、古墳時代から奈良時代にかけての100軒以上の住居址が確認されているほか、灰釉陶器・緑釉陶器をはじめ、和同開珎・畿内産の土器など、特筆される遺物が出土しており、拠点的な集落の可能性が高い。上三川町多功に所在する多功南原遺跡（15）では、発掘調査により240軒近い住居址及び掘立柱建物跡が確認されている。建物群は竪穴住居跡＋掘立柱建物跡＋井戸跡のような組み合わせによるグループに分けられるなどの特徴を持ち、田部駅家を含む官衙的遺構、あるいは実力的郷長、富豪層、郡司相当層のムラと考えられている。上三川町西汗に所在する西赤堀遺跡（16）は8世紀後半から9世紀初頭の竪穴住居や井戸、大型掘立柱建物跡9棟が確認されており、郷の経営に関わる中心的な集落との指摘もされている。

集落遺跡を見ると、上三川町下神主に所在する薄市遺跡では、奈良・平安時代の竪穴住居跡が16軒確認されており、このほかにも三彩古壺片や瓦塔が出土している。また、本遺跡に近接する殿山遺跡では100軒を超える竪穴住居跡が確認されており、官衙の経営にも密接な関係を持っていたものと考えられる。

東山道跡については、近年では本遺跡を初めとして周辺において10箇所近くで確認されている。本遺跡の南西部においては、国府から国分寺、下野薬師寺を経て本遺跡に至るルートが想定されているが、これを裏付けるように、下野市の北台遺跡（17）では幅12mの道路跡が確認されている。本遺跡の東に広がる水田には、圃場整備以前に南西から北東方向に伸びる道路が存在しており、宇都宮市と上三川町の行政界となっていたことから、東山道ではないかと考えられてきたが、この延長線上にある杉村・磯岡北遺跡（18）においては、発掘調査によって3時期にわたる東山道の変遷が確認されており、12世紀初頭まで、道路として機能していたことがわかっている。



No.	遺跡名	所在地	時期	No.	遺跡名	所在地	時期
1	殿山遺跡	上三川町うきが丘	旧石器～中世	10	多功遺跡	上三川町天神町	縄文～中世
2	薄市遺跡	上三川町下神主	旧石器～古代	11	下野国府跡	栃木市田村町	古代
3	浅間神社古墳	上三川町上神主	古墳	12	下野国分寺跡	下野市国分寺	古代
4	後志部古墳	上三川町上神主	古墳	13	下野国分尼寺跡	下野市国分寺	古代
5	上神主狐塚古墳	上三川町上神主	古墳	14	島田遺跡	上三川町しらさぎ	旧石器・縄文・古墳・古代
6	下石橋愛宕塚古墳	下野市下石橋	古墳	15	多功原南遺跡	上三川町多功	旧石器・縄文・古墳・古代
7	多功大塚山古墳	上三川町多功	古墳	16	西赤堀遺跡	上三川町西汗	旧石器・縄文・古墳・古代
8	下野薬師寺跡	下野市薬師寺	古代	17	北台遺跡	下野市小金井	古代
9	西下谷田遺跡	宇都宮市茂原町他	縄文・古墳・古代	18	杉村・磯岡北遺跡	宇都宮市東谷町他	縄文～古代

第3図 周辺の主な遺跡分布図

第2章 調査の経緯

第1節 調査研究の歴史

本遺跡は奈良時代の人名文字瓦が多く出土することで古くから知られていた遺跡であり、「上神主廃寺」或いは「茂原廃寺」と呼ばれ、長い間寺院跡と考えられてきた。ここでは、本遺跡に関する調査研究の歴史を概観する。

本遺跡が学会に周知されたのは、明治40（1907）年に和田千吉氏が「考古学会」常集会において、本遺跡採集の大量の人名文字瓦を紹介したことにはじまる。以降、新たに出土した人名文字瓦の紹介が続けられる中で、昭和10（1935）年の田中国男氏による瓦生産地（宇都宮市水道山瓦窯）に関する研究や、昭和34（1959）年の石村喜英氏による人名文字瓦の解釈に関する研究等が特筆される。さらに、昭和50年代に入ると、大川清氏・田熊信彦氏・田熊清彦氏らによって、瓦生産地の調査研究を踏まえた上での文字瓦の集成・分析等が精力的に進められた。

「栃木県史蹟名勝記念物調査報告第一編」においては、北部に凝灰岩の破片（礎石か基壇の石か）や栗石があったことが知られるが、遺跡の性格については長らく不明であったことから、平成7年度より遺跡の性格と内容確認のための調査が行われた。

平成12年度に行なわれた発掘調査によって大規模な正倉の存在が確認され、平成13年度には、政庁が確認されたことから、河内郡家の可能性が高くなると、人名文字瓦の存在もあり、遺跡の性格や、文字瓦の意義を問う議論が増えた。平成14年に発刊された近接する西下谷田遺跡の発掘調査報告書では、僅かに先行する西下谷田遺跡に対して、倉庫群については上神主・茂原官衙遺跡に集中的に配置する計画であり、のちには評家の政庁が上神主・茂原官衙遺跡に移ることを指摘している。家政的機能を持つ西下谷田遺跡に対し、上神主・茂原官衙遺跡の性格を事務官衙としている。

第2節 調査の目的

今回行なわれた発掘調査は、平成17年度に策定された『上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想』に基づき実施した。保存整備基本構想では、今後の史跡整備事業において、整備計画を策定し、その具体的手法を定めるために必要となる客観的で正確な情報の収集を目的に発掘調査を実施すると位置づけられた。調査は原則として公有化された部分から順次進めることとし、①大型瓦葺建物跡（SB01）及び周辺遺構の内容確認調査、②区画溝に伴う区画施設と出入口施設確認の調査、③東山道確認のための調査、④文字資料確認のための調査、⑤北側区画溝確認の調査の5点を重点調査事項として位置づけた。なお発掘調査にあたっては、調査手法及び成果、評価に関わる客観性を確保するために、上神主・茂原官衙遺跡保存整備委員会を組織し、指導を受けると共に、栃木県教育委員会及び文化庁に対し、発掘調査に関する報告及び協議を行なった。

第3節 調査の計画と方法

1 調査方針

今回の調査は、先にも触れたように、今後の史跡整備事業において整備計画を策定し、その具体的な手法を定めるための情報収集を目的に実施したが、国指定史跡内であり保存目的の発掘調査であること

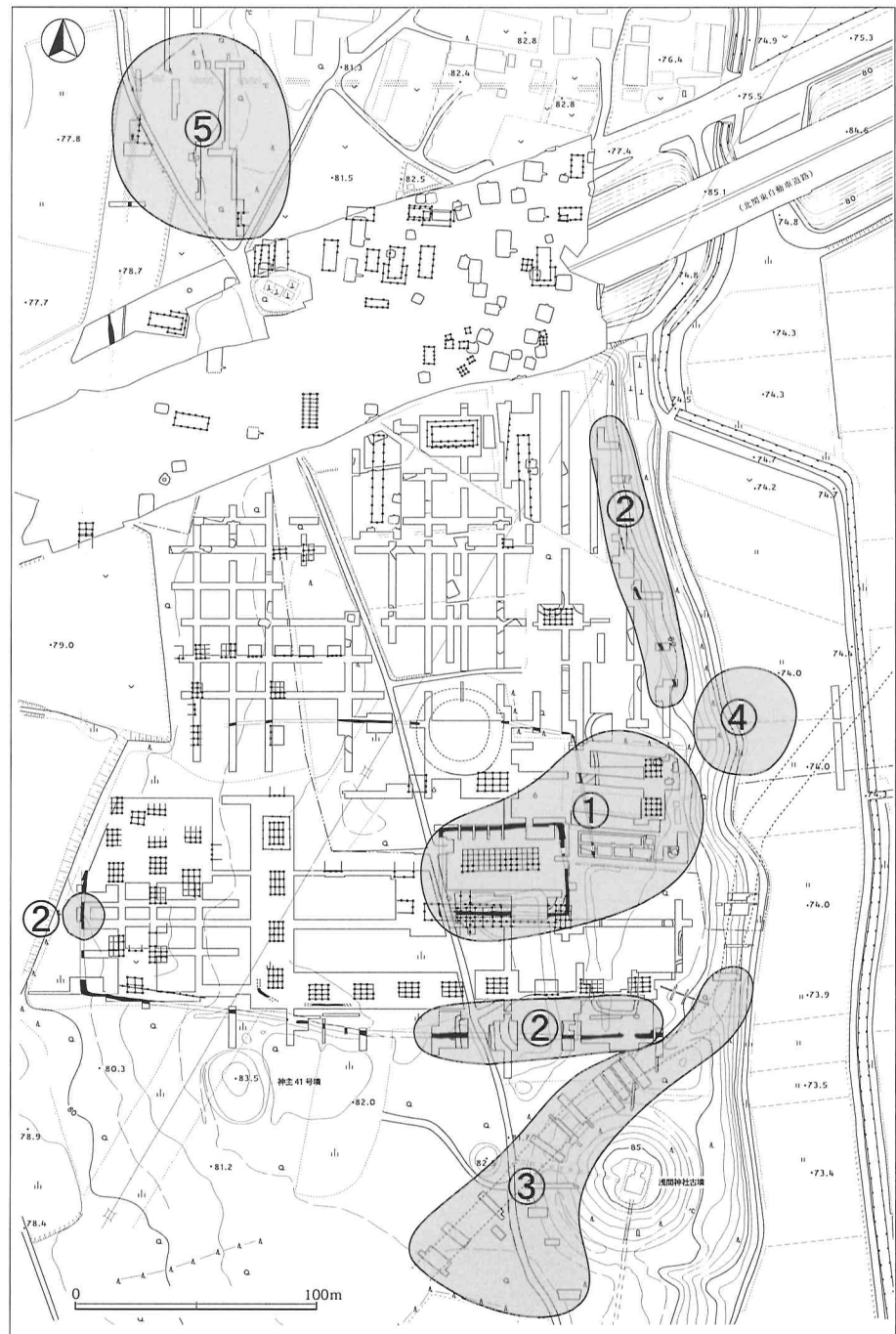
から、遺構の保護につとめ、最小限の掘削にとどめることを大きな方針とした。

2 調査の対象範囲

調査の対象範囲については第4図の通りであり、①大型瓦葺建物跡（SB01）及び周辺遺構の内容確認調査については、SB01本体部分はもちろん、南側についてはこれに先行する建物が存在することが想定されること、また、SB63の全体像を把握する必要があることから、SB01の区画溝であるSD26の南の範囲まで調査対象とした。②区画溝に伴う区画施設と出入口施設確認の調査については、東山道に近接するSD06（南側区画溝）付近を重点的に調査した。③東山道確認のための調査では、遺跡南側における道路の進行方向が問題になっていたことから、東山道が南に向かって進路をとった場合を考慮して、浅間神社の西側部分の調査を行なう一方で、南西方向の可能性も考慮に入れた調査区の設定も行なった。また、道路構造の把握のために、浅間神社古墳の北西の周溝部分の調査も実施した。④文字資料の調査については、人名文字瓦が出土するSB01の周辺部分はもちろんのこと、木簡が出土する可能性がある東側低地部分の調査を実施した。⑤北側区画溝確認のための調査は、史跡指定範囲外の北関東自動車道路北側の山林内を調査した。遺跡範囲西側で確認されている、八脚門であるSB32・33を郡衙西辺の中央と考え、SD06（南側区画溝）からの距離と同距離である200m前後の地点を調査範囲とした。

3 調査区の設定

調査の対象範囲には、旧国土方眼座標（第IX系）に基づき、一辺90mの大グリッドを設定した。さらに、各大グリッドは一辺3mの小グリッドに区画し、北西隅から1～900と称することとした。調査区は全てこのグリッドラインに沿って東西又は南北方



第4図 調査の対象範囲

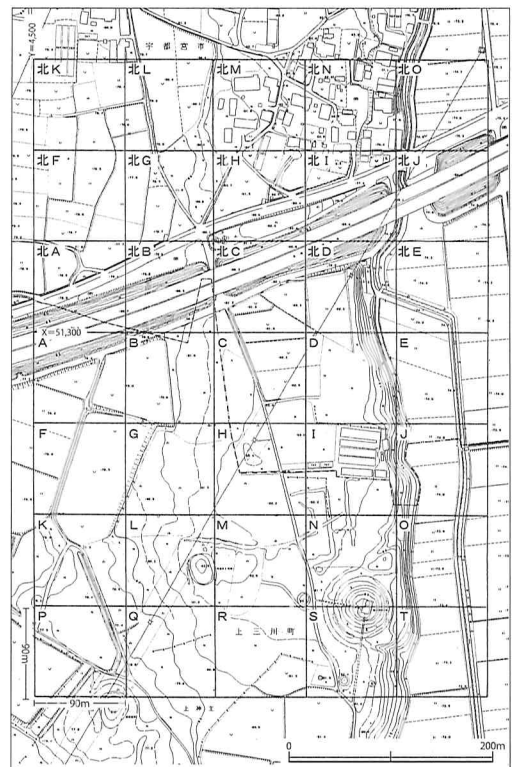
向に設定した。出土遺物については、小グリッドあるいは遺構単位で、層位毎の一括取り上げを原則とし、必要に応じて出土状況の平面実測及び標高測量を行なうこととした。

第4節 調査の経過

ここでは、平成18年～平成25年までの8年間に渡って継続した調査の経過概要を年度毎に説明する。なお、年度毎の調査期間・調査面積等は第1表で示したとおりである。

平成18年度

保存整備を目的とした調査の初年度であるこの年は、上三川町において調査を実施した。初年度は推定東山道の方向と構造を確認することを目的に、浅間神社古墳北側及び北西側の周溝内を調査すると共に、浅間神社古墳のすぐ西にあたる周堤帯上の調査も行い、南下する可能性の有無について調査を行なったが、道路と考えられる硬化面は確認できず、この結果から南西側に向かうとの想定で、更に西に調査区を設定したところ、道路跡が確認された。



第5図 調査区グリッド設定図

平成19年度

前年度に引き続き上三川町側で調査を実施した。上三川町側正倉中心部には大型瓦葺建物（SB01）が存在しており、最終段階において中心建物となる側柱式掘立柱建物跡であるSB63が確認されるなど、正倉全体で見ても特殊な位置であることは明らかであったことから、SB63の北側柱列の確認に主眼を置きながら発掘調査を行なったところ、SB63の北側柱列が確認されたのはもちろん、東西棟の総柱式掘立柱建物であるSB171が確認され、この地域においては中心建物の変遷が複雑になっていることが確認された。

平成20年度

瓦葺建物であるSB01は、本遺跡を特徴付ける建物であり、今後の整備事業に際しても、最も重要な建物になることから、再度全面を詳細に調査することとなった。結果として、遺構の半分に当たる宇都宮市側については、想像以上に開発行為による削平がひどく、全く柱跡を確認することが出来なかった。しかしながら、版築範囲は前回確認された範囲と同様であり、建物規模は前回と同様であることが推定された。

平成21年度

上三川町では引き続き、SB01の調査を実施した。柱位置の詳細、及び建物に附随する施設についての詳細な調査を行い、柱位置については従来推測されたとおりの位置であることが確認されたほか、建物の南面において部分的に礫敷きの遺構が確認された。また基壇の有無についても調査を行なったが、基壇外装と考えられるような施設は確認できなかった。

一方、宇都宮市では、S B 0 1 の北東部分において関連遺構の確認調査を実施した結果、従来遺構が確認されていなかった台地縁辺部において、2棟の総柱式掘立柱建物跡が確認され、正倉域の建物の配置を再考する材料となった。

平成22年度

上三川町では、遺跡南側の東山道に接続する入り口施設の確認調査を実施した。政庁正殿中央部の延長線上では遺構等は確認できず、遺跡の東端の区画溝と東山道が最も近接する箇所において、入り口施設を確認したものの、全体像の把握までには至らなかった。

一方、宇都宮市では、水場の可能性が考えられた低地部分の調査を行なったが、遺構・遺物は確認できなかった。また、東山道が走る東側低地部から東山道へ直接進入することを想定して、政庁東側の台地縁辺部において調査を実施したが、溝の他には遺構は確認されなかった。

平成23年度

上三川町では、前年度に引き続き、東山道入り口部分の調査を行なった。この場所においては、区画溝（S D 0 6）の切れ目が確認されたことに加え、この切れ目に近接する延長線上において、2基の大型遺構が確認され、東山道に近い場所において、官衙施設の威厳を示すような入り口が存在していたことがわかった。

平成24年度

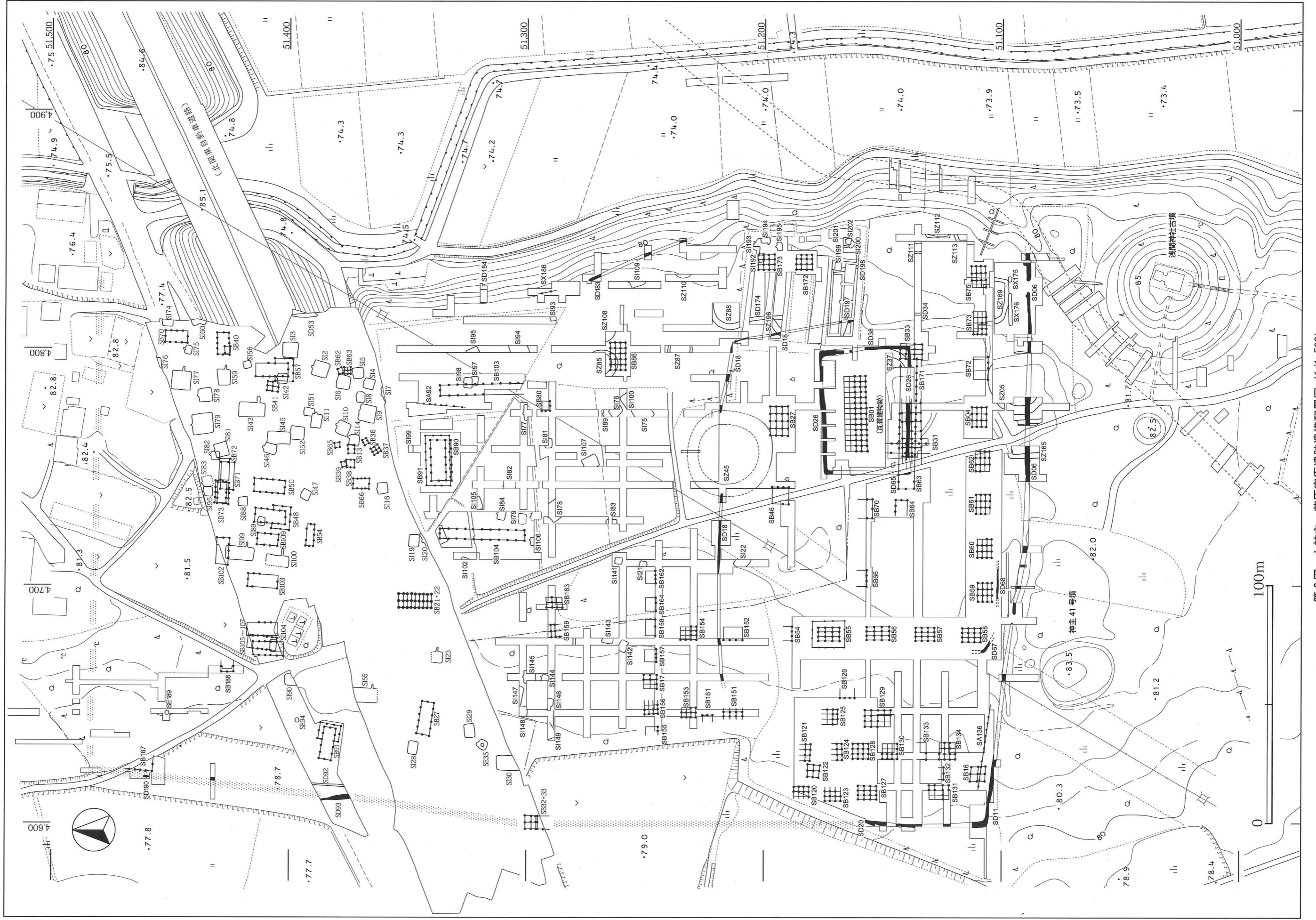
宇都宮市では、遺跡の北限を確認するための発掘調査を実施した。西側区画溝上にある八脚門（S B 3 2・3 3）までの南側区画溝からの距離と同じ距離を北側に置き換え、調査区として設定した。結果としては、溝や柵列といった、明確な区画施設は確認されなかった。

平成25年度

宇都宮市では、前年度に引き続き北側区画溝の調査を実施したが、井戸跡や柱穴は確認されたものの、溝は確認されなかった。しかしながら西側区画溝に近接した箇所から側柱式掘立柱建物が確認され、これまでの調査の中で最も北に位置することから、官衙範囲の広がりを考える上で重要である。

調査年度	調査主体	調査面積（対象）	主な調査成果他
平成18年度	上三川町	300 m ² (300 m ²)	東山道が南西方向に進むことを確認。複雑な道路構造も判明。
平成19年度	上三川町	420 m ² (420 m ²)	瓦葺建物跡南側に新たに建物跡を確認する。
平成20年度	上三川町	468 m ² (468 m ²)	瓦葺建物跡の全体像が把握された。
	宇都宮市	330 m ² (330 m ²)	
平成21年度	上三川町	648 m ² (648 m ²)	瓦葺建物跡に礎敷遺構などがあることがわかる。
	宇都宮市	974 m ² (974 m ²)	瓦葺建物跡北東部において2棟の掘立柱建物跡が確認される。
平成22年度	上三川町	483 m ² (600 m ²)	東山道に近接する箇所において入口施設が確認される。
	宇都宮市	450 m ² (450 m ²)	東側台地縁辺部において溝が確認される。
平成23年度	上三川町	447 m ² (600 m ²)	前年度確認された東山道に近接する入口施設の全容が明らかとなる。
平成24年度	宇都宮市	180 m ² (180 m ²)	北側の遺跡範囲の限界を探すも、区画溝等は確認されなかった。
平成25年度	宇都宮市	288 m ² (288 m ²)	北側の遺跡範囲の限界を探すも、区画溝等は確認されなかった。

第1表 発掘調査の経過



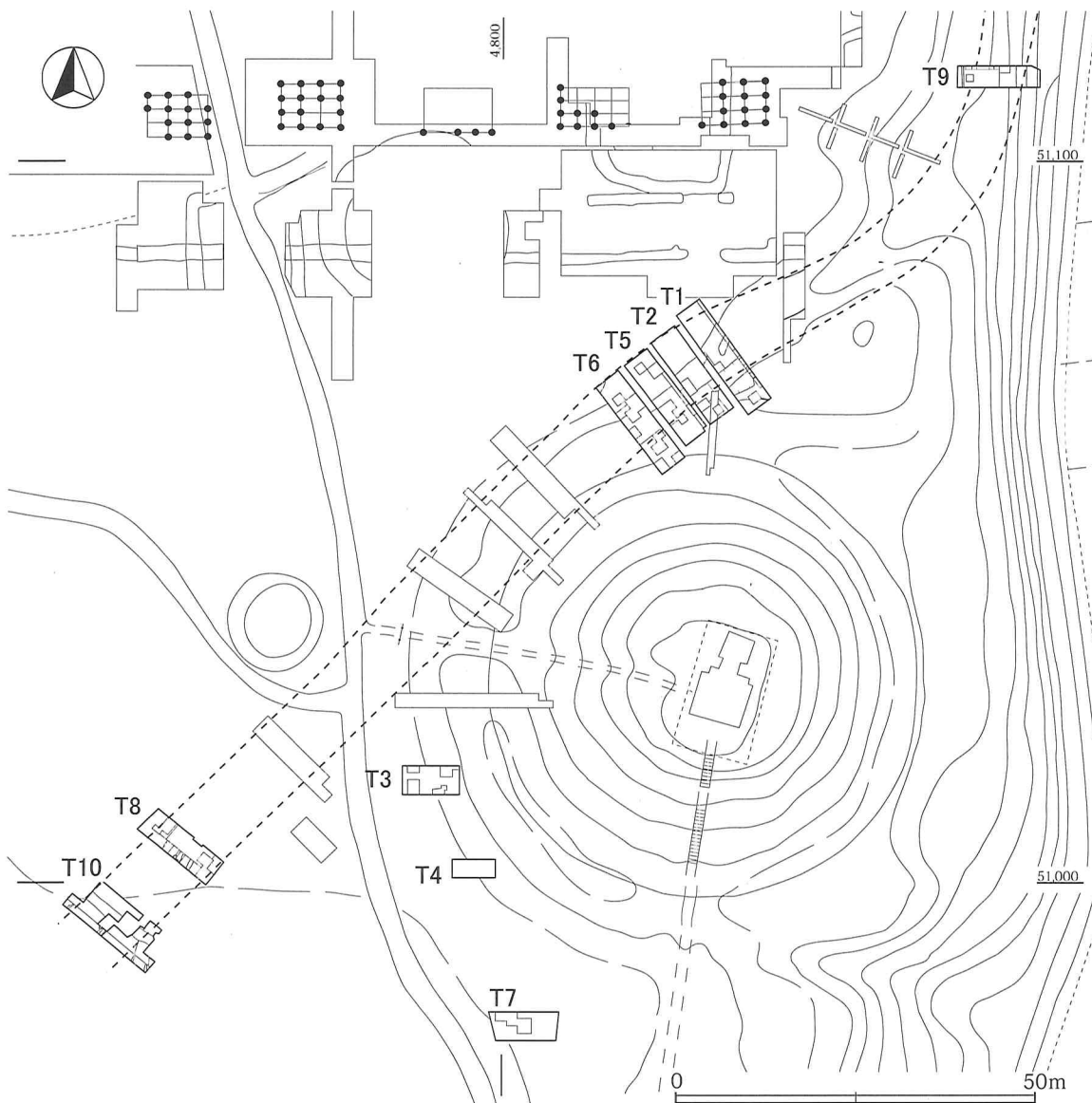
第6图 上神主・茂原官衙遺跡遺構配置図 (1/1,500)

第3章 調査成果

第1節 東山道跡の調査

東山道は、遺跡の南東部分にとりつくように走っていることがわかっている。これについては1947（昭和22）年にアメリカ軍によって撮影された航空写真においても、その痕跡が明確に写っており、また本遺跡の北東約3kmにある杉村遺跡・磯岡北遺跡においては、約1kmの長さに渡って、東山道と考えられる道路跡が確認されたが、その道路の南西側延長線上にあたるのが、上神主・茂原官衙遺跡となる。なお、東山道の推定路線の一部分は、圃場整備事業が行われる前は、宇都宮市と上三川町の行政界であった。

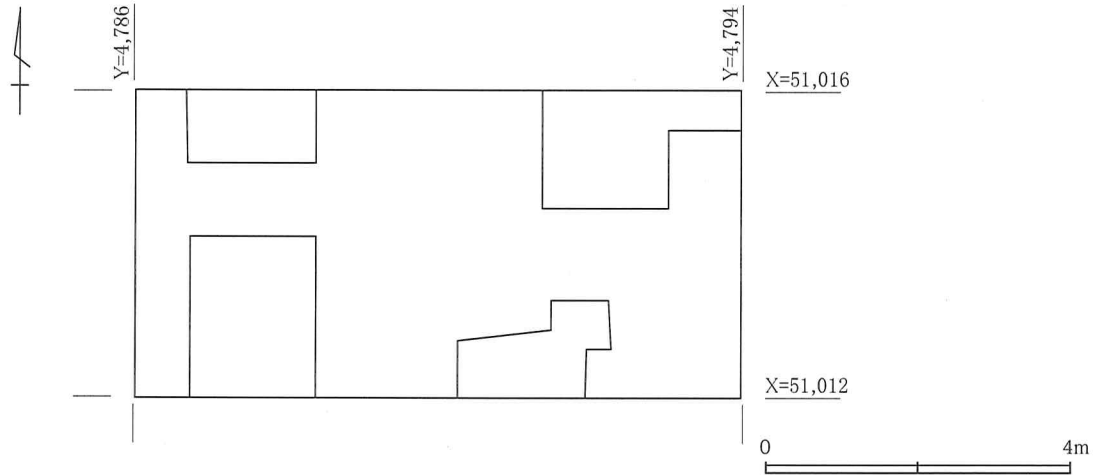
今回の調査は、進路方向の確認と構造の把握の2点に焦点を当て実施した。以下、各地点の調査の概要について説明する。



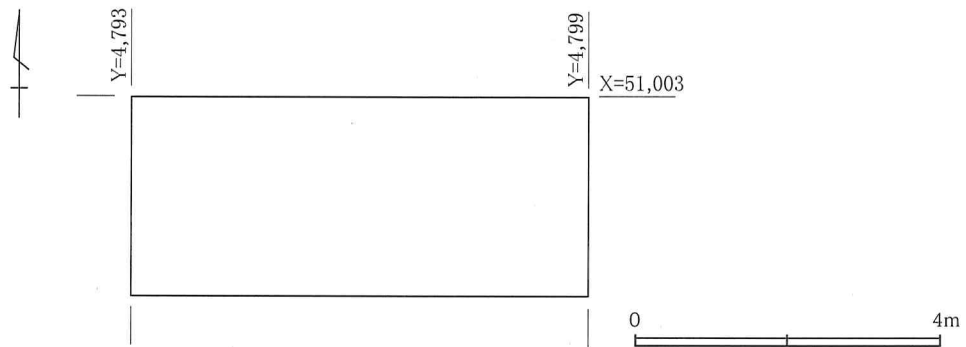
第7図 東山道跡調査区トレンチ配置図

(1) 浅間神社古墳西側の平坦面の調査

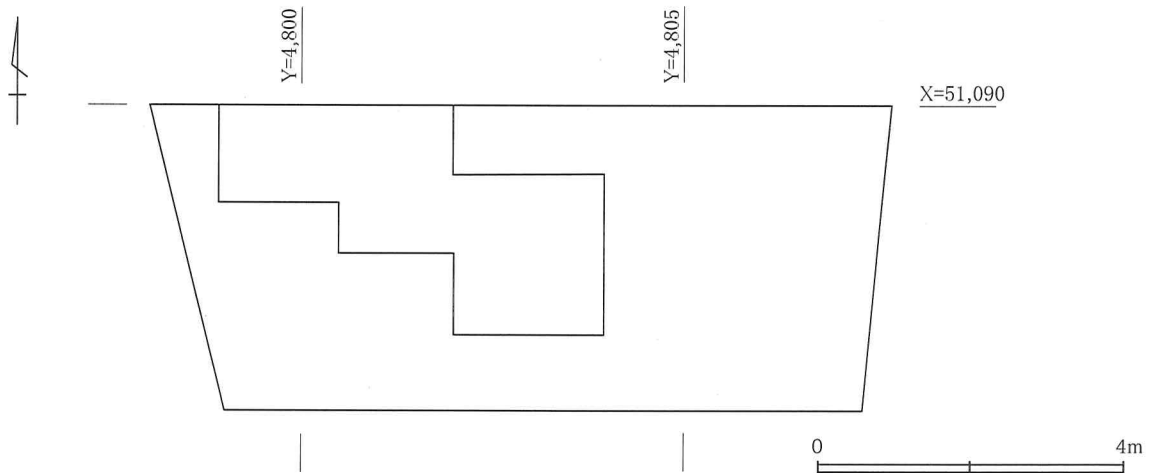
本遺跡の中央には、遺跡を縦断するように現在、道路が通っており、浅間神社古墳西側を南下していることから、北東方向から南西方向に向かって走ってきた東山道が、浅間神社古墳北西部分で、南に下っているものと想定し、T3 (4m×8m)・T4 (6m×2.5m)・T7 (9.7m×4m) を設定し調査を行った。ローム層上面まで掘削を進め、平面及び土層断面での調査を実施したが、結果としては、道路に伴う硬化面や側溝といった痕跡は見つからず、東山道が真南に進む可能性は無くなった。



第8図 東山道跡調査区 T3 平面図



第9図 東山道跡調査区 T4 平面図

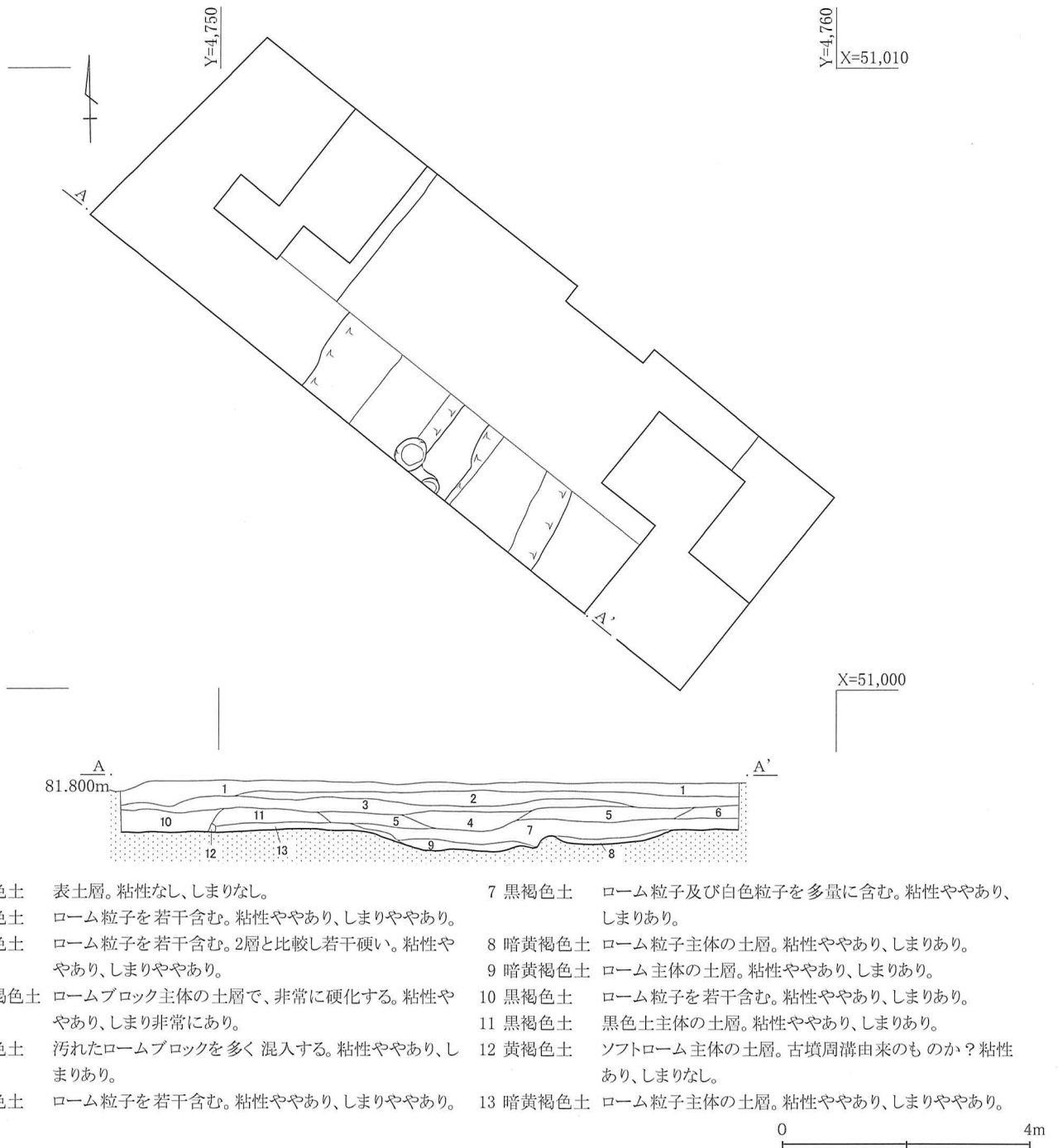


第10図 東山道跡調査区 T7 平面図

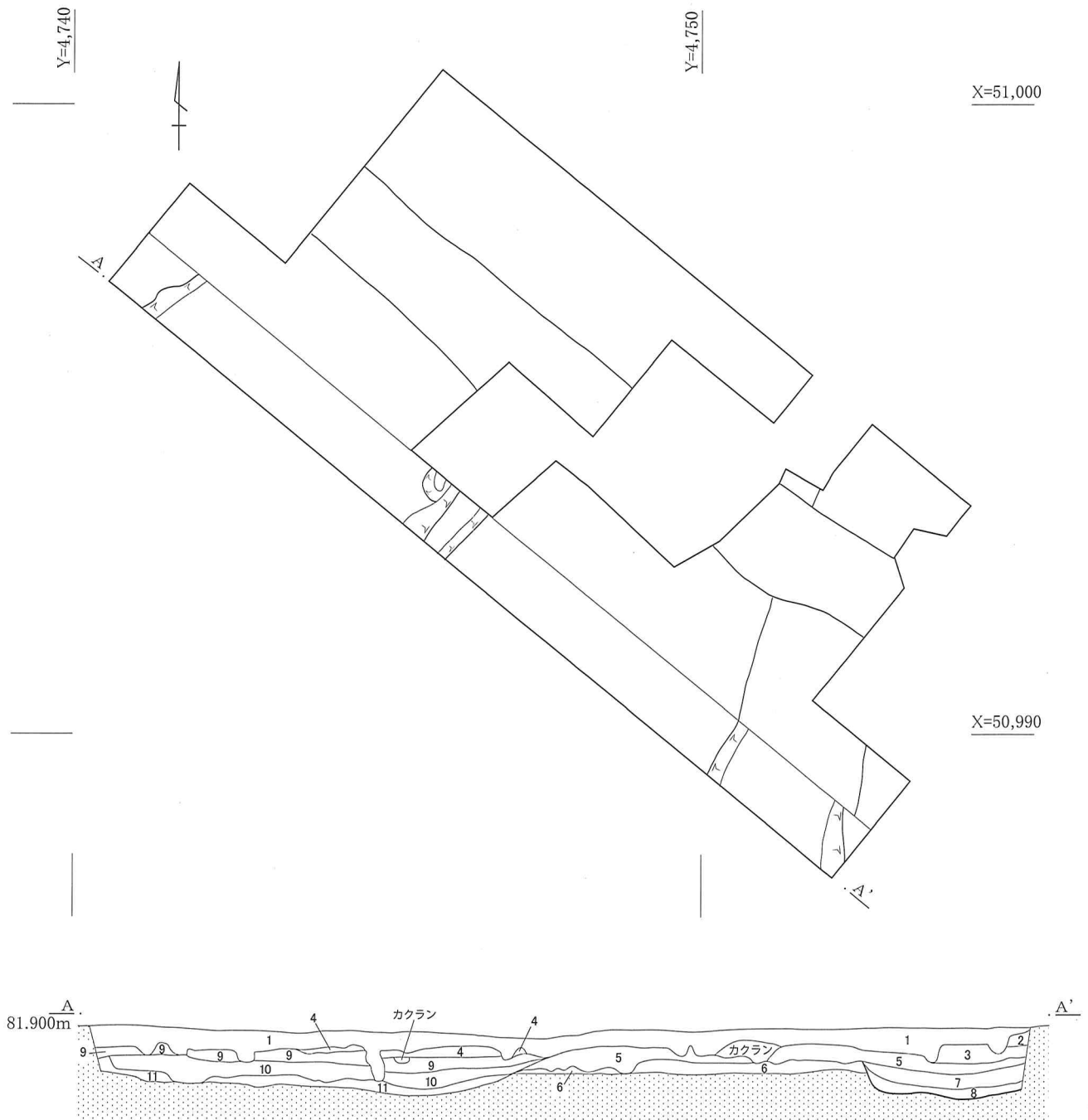
(2) 地境部分の調査

浅間神社西側平坦部分の調査により、真南に進む可能性がなくなったことから、東山道跡が南西方向に進むと想定し調査を実施。史跡境界付近にT8（4m×12.3m）を設定し調査を実施した。この場所については、隣接した部分の土地境界が、北東から南西方向に直線状に伸びていることから、東山道の痕跡として考えられていた箇所でもある。調査の結果、現地表下40cmの場所で、厚さ40cmの硬化箇所が確認されたものの、側溝等は確認されなかった。

T8に隣接する、T10においても調査を実施したところ、硬化面を伴った幅7m・深さ50cmの溝状遺構が確認された。これは、T8と同様の形状である。ただ、ここで確認された硬化面については、当時の地表面より下層にあることから、道路を構築した際に作られた路盤（基礎部分）であると考えられる。



第11図 東山道跡調査区T8平面図・土層断面図



- 1 暗褐色土 表土層。腐植土層で、特筆される含有物は無い。粘性ややあり、しまりなし。
- 2 暗褐色土 微細な赤色粒子を若干含む。粘性ややあり、しまりなし。
- 3 暗黒褐色土 硬化部分を若干含む。古墳周溝内堆積層。粘性ややあり、しまりややあり。
- 4 暗褐色土 黒色土主体で微細な白色粒子・ローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまりなし。
- 5 暗褐色土 黒色土主体の土層でローム粒子・白色粒子を含む。周溝上面部分での硬化が顕著。粘性ややあり、しまりあり。
- 6 暗黄褐色土 ソフトローム主体の土層。黒色土をマール状に含む。粘性あり、しまりあり。
- 7 黒褐色土 黒色土主体の土層。微細なローム粒子・汚れたロームを含む。周溝堆積土。粘性ややあり、しまりややあり。
- 8 暗黄褐色土 黒色土層とソフトロームが同量混入した土層。周溝内堆積土。粘性ややあり、しまりややあり。
- 9 暗黄褐色土 黒色土を主体とし、ローム粒子を多く混入する。硬化部分も多く認められる。路面上層。粘性ややあり、しまりあり。
- 10 暗黒褐色土 黒色土を主体とするが、9層と異なりローム粒子を含まず、径2～3cm大のロームブロックが散在する。道路形成時の路面。粘性ややあり、しまりあり。
- 11 暗黄褐色土 黒色土を主体とするが、ローム粒子・ブロック共に多量に含む。粘性あり、しまりややあり。

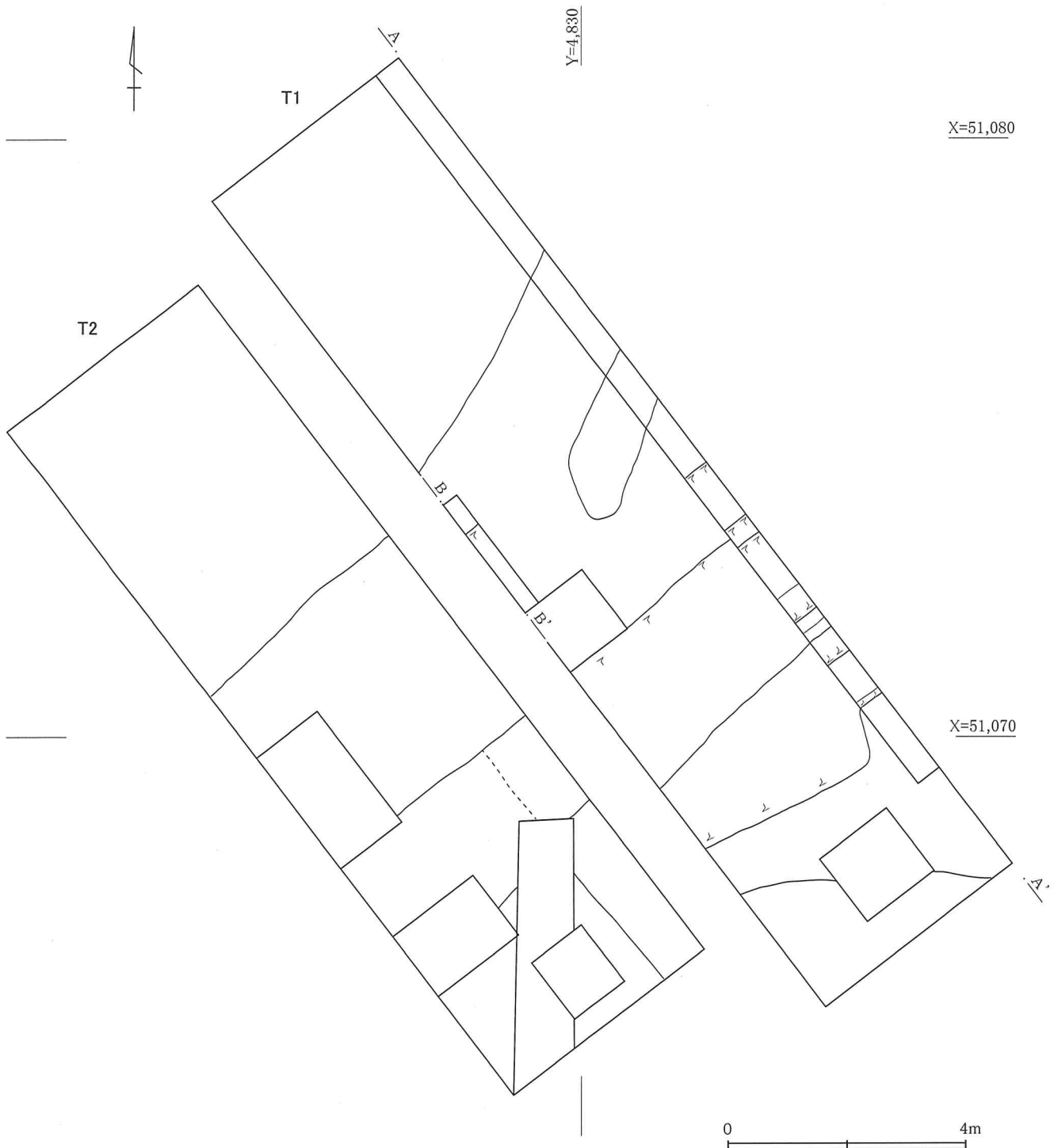
0 4m

第 12 図 東山道跡調査区 T10 平面図・土層断面図

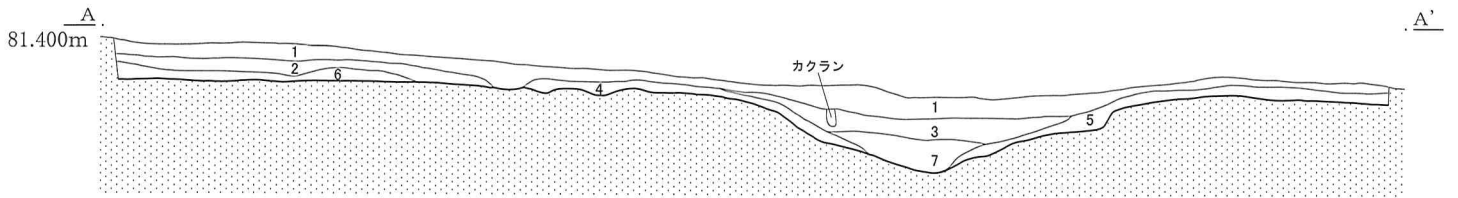
(3) 浅間神社古墳周溝内の調査

浅間神社古墳周溝内では、平成4年度に実施した発掘調査において、古墳北西部周溝内のトレンチ（T5）内で幅約10mの硬化面が確認された。この後行われた本遺跡の発掘調査において東山道跡の検討が行われた中で、周溝内のこの硬化面が注目され、東山道の路面の可能性が指摘されたわけであるが、平成4年度の調査は、あくまで古墳周溝の調査であり、東山道跡の存在を考慮しての調査では無かった。このことから再度、道路跡の存在を考慮に入れて周溝内を再調査した。

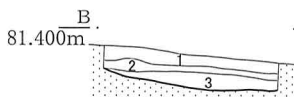
調査は周溝内にトレンチを4箇所（T1・2・5・6）設定し実施したが、地表下25cmの場所において、ローム質の土層による表面に凹凸面がある硬化面が確認された。この硬化面は厚さが30cm、幅が8mあるが、側溝は認められなかった。このような硬化面は、台地下に設定したT9においても確認されている。なお、T1・T2・T5の中央部分には硬化面を掘り込むように、最大幅6m、最大深度1.5mの溝状の遺構が確認されており、後世に道路として利用されたものと考えられる。



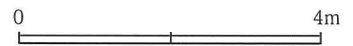
第13図 東山道跡調査区 T1・T2 平面図



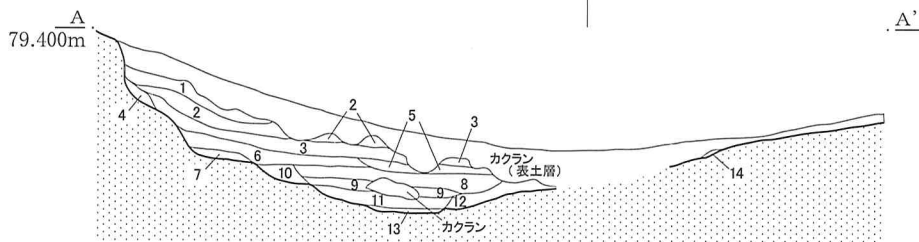
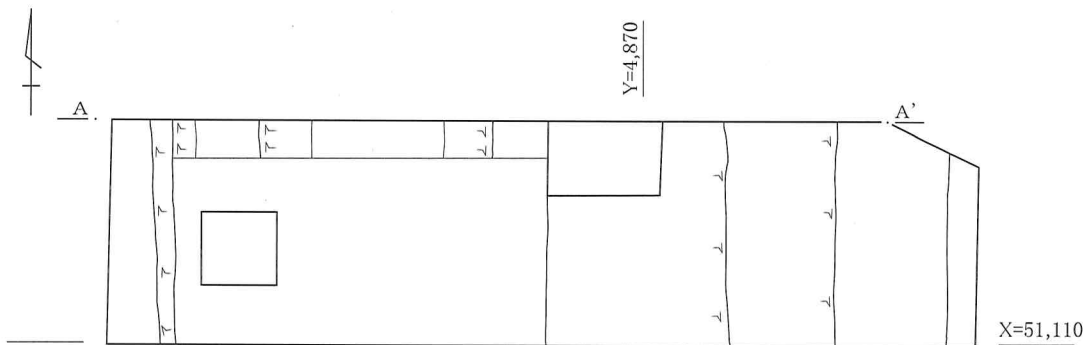
- 1 暗褐色土 表土層。ローム粒子を若干含む。しまりなし、粘性なし。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 3 黒褐色土 ローム粒子を若干含む。溝に伴う 硬化面の上面。しまりあり、粘性あり。
- 4 黄褐色土 ローム粒子主体の土層。ローム硬化面との漸移層。しまりなし、粘性ややあり。
- 5 黄褐色土 ローム粒子主体の土層。ローム硬化面との漸移層、4層と類似。しまりなし、粘性ややあり。
- 6 暗黄褐色土 汚れたローム粒子主体の層。しまりややあり、粘性ややあり。
- 7 黒色土 若干砂質で、礫を多く含む。溝に伴う 硬化面の下面。しまり非常にあり、粘性ややあり。



- 1 暗褐色土 表土層。黒色土主体の土層で、ローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 暗褐色土 径2mm大のロームブロックを含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 3 黒褐色土 ローム粒子及びロームブロックを多量に含む。非常に硬化した黒色土主体の層。粘性ややあり、しまり非常にあり。



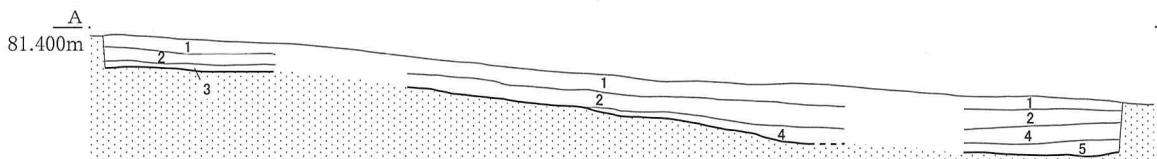
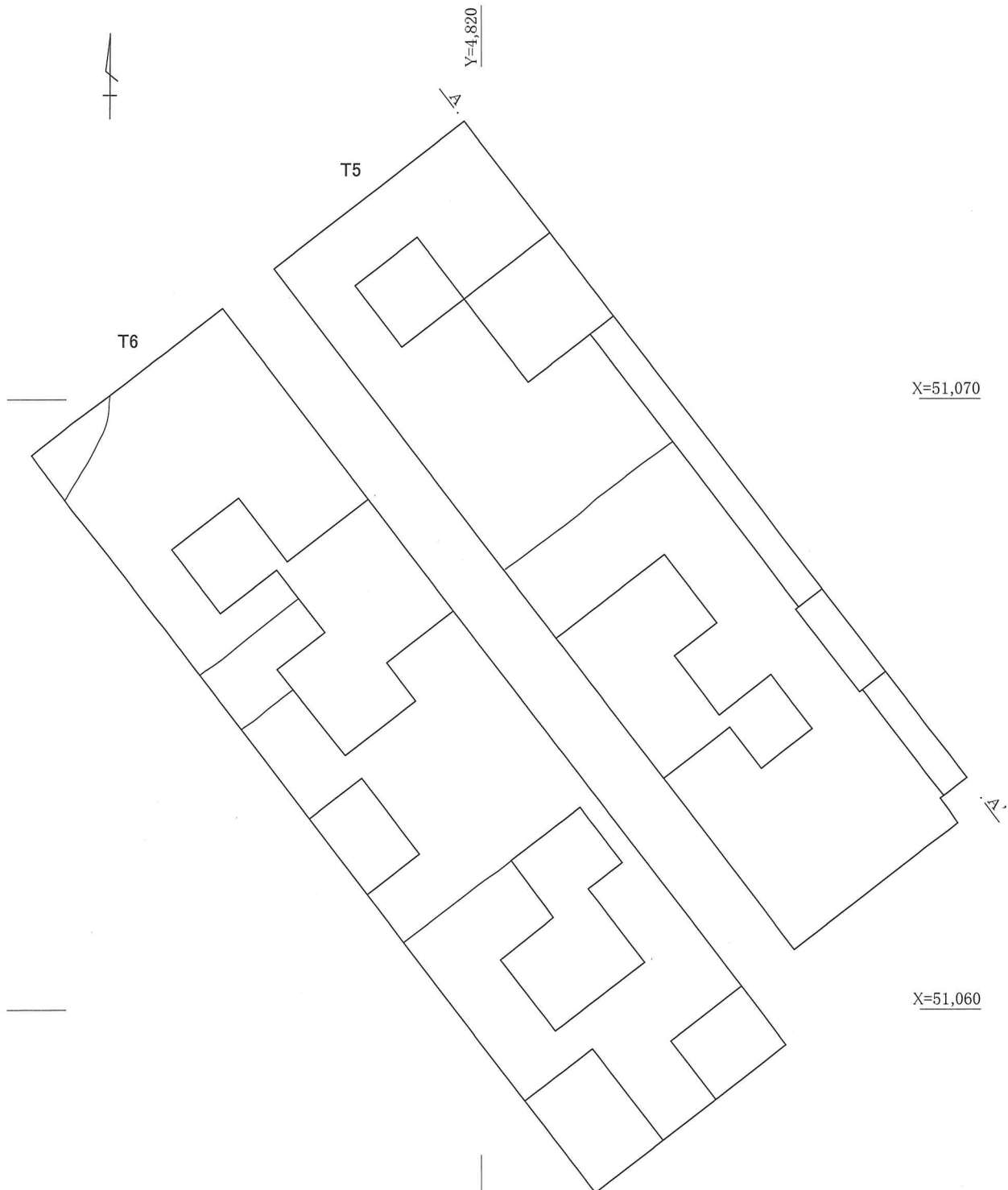
第 14 図 東山道跡調査区 T1 土層断面図



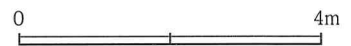
- 1 黒褐色土 黒色土を主体とする土層。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 黒褐色土 黒色土を主体とする土層。ローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 3 暗黄褐色土 黒色土とローム土からなる土層。路面と考えられる。粘性ややあり、しまり非常にあり。
- 4 暗黄褐色土 ローム粒子主体の土層。壁崩落土層か。粘性ややあり、しまりなし。
- 5 暗褐色土 ローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまり非常にあり。
- 6 暗黄褐色土 ローム粒子主体の土層。粘性ややあり、しまり非常にあり。
- 7 黄褐色土 ロームからなる土層。粘性あり、しまりなし。
- 8 暗褐色土 黒色土及びローム土からなる土層。粘性ややあり、しまりややあり。
- 9 暗褐色土 8層に比べロームが多く 色調も明るい。粘性ややあり、しまりややあり。
- 10 暗黄褐色土 ロームからなる土層。粘性ややあり、しまりなし。
- 11 暗褐色土 黒色土を主体とし、ローム粒子を含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 12 暗黄褐色土 ロームを主体とする土層。粘性ややあり、しまりなし。
- 13 暗黄褐色土 ロームを主体とする土層。粘性ややあり、しまりあり。
- 14 暗褐色土 ロームを主体とし、黒色土を多く含む土層。粘性ややあり、しまりなし。



第 15 図 東山道跡調査区 T9 平面図・土層断面図



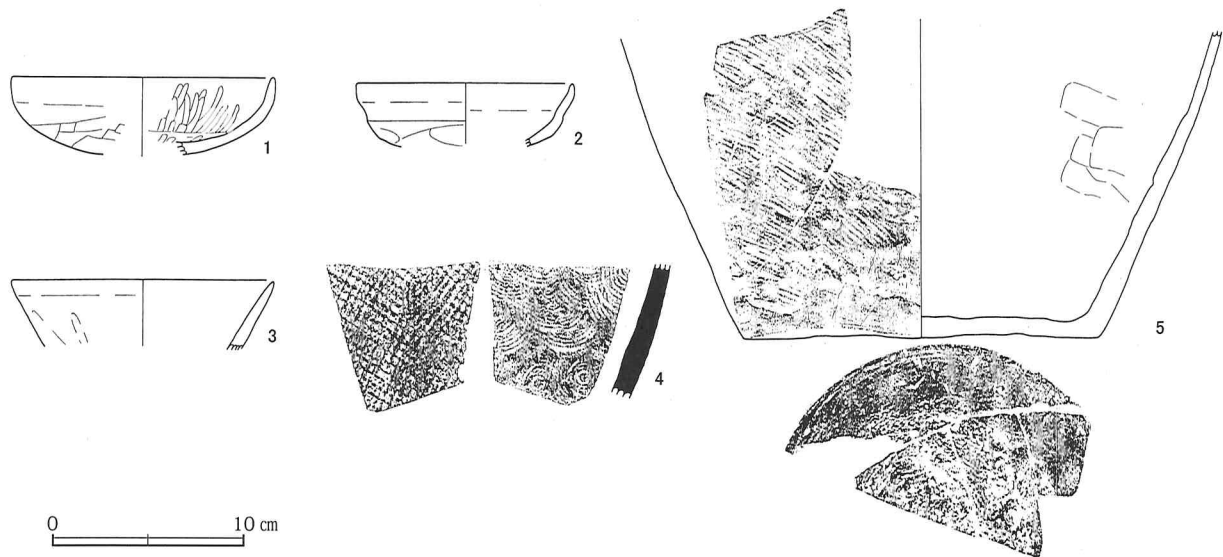
- 1 暗褐色土 表土層。黒色土主体の土層。粘性ややあり、しまりなし。
- 2 暗褐色土 黒色土主体でローム粒子が混じる。粘性ややあり、しまりややあり。
- 3 暗黄褐色土 黒色土主体でローム粒子が多く混じる。道路に伴う硬化面。粘性ややあり、しまりあり。
- 4 暗褐色土 黒色土主体でローム粒子を若干含む。3層同様硬化が認められる。粘性ややあり、しまりあり。
- 5 暗黄褐色土 黒色土主体で鹿沼軽石粒が認められる。粘性ややあり、しまりなし。



第16図 東山道跡調査区 T5・T6 平面図・土層断面図

(4) 出土遺物 (第17図・第2表)

T5から土師器坏・甕、T6から土師器坏、T7から須恵器甕がそれぞれ出土している。



第17図 東山道跡調査区出土遺物実測図

() は推定値

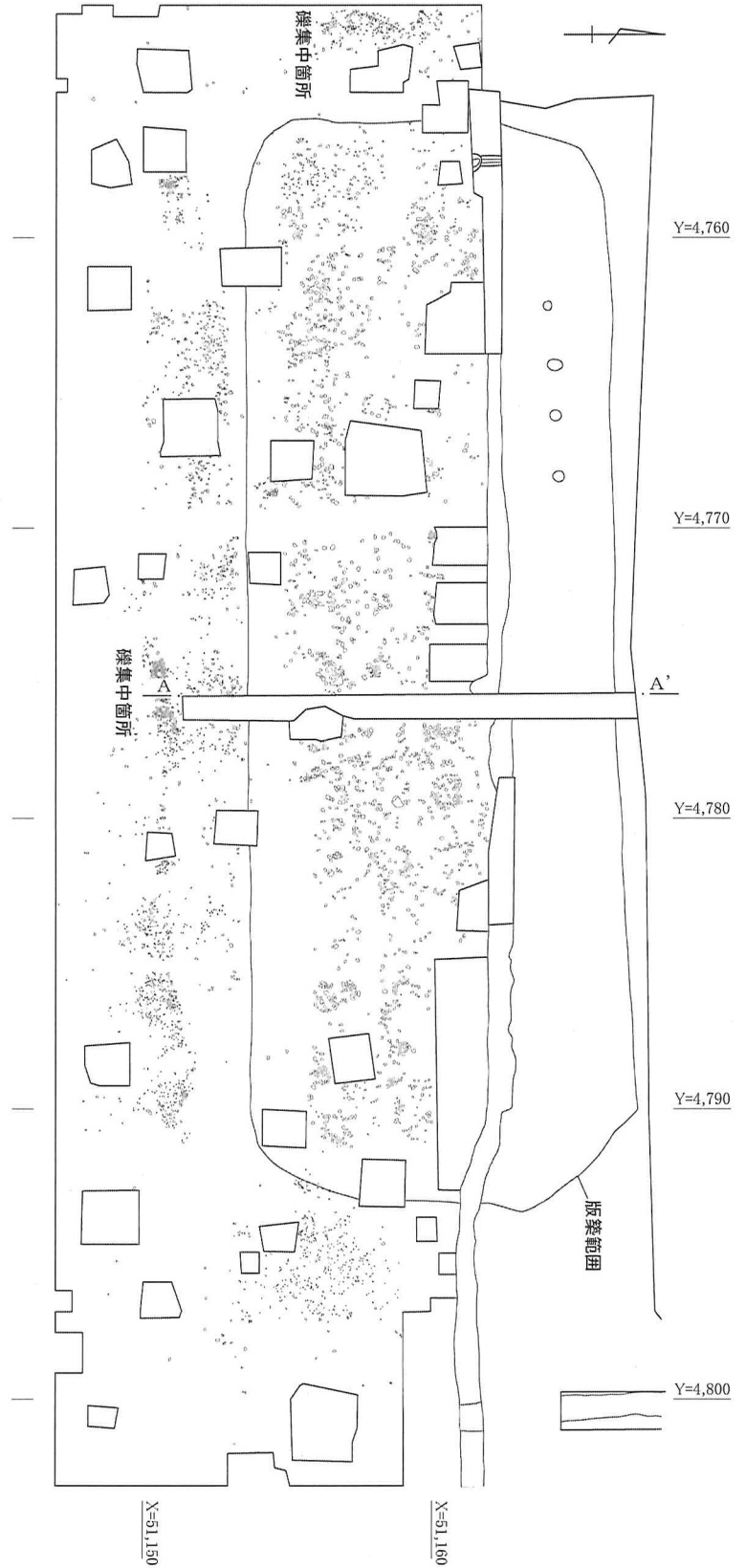
番号	種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
1	土師器坏	(13.8)	(4.2)	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内面：放射状のミガキ	外面：10YR5/3 にぶい黄褐 内面：5YR5/6 明赤褐	白色粒子少量、赤色粒子・雲母・細砂粒微量	T6
2	土師器坏	(11.5)	-	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内面：ヨコナデ	7.5YR7/6 橙	細砂粒・赤色粒子・白色粒子少量	T5 サブトレンチ
3	土師器坏	(13.8)	-	-	外面：ヨコナデ後ミガキ 内面：ナデ	外面：10YR7/4 にぶい黄橙 内面：5YR6/6 橙	雲母・細砂粒少量、赤色粒子・砂粒微量	T5 サブトレンチ
4	須恵器甕	-	-	-	外面：格子叩き 内面：同心円当て具痕	5Y5/2 灰オリーブ	白色粒子・細砂粒少量、砂粒微量	T7
5	土師器甕	-	-	(19.0)	外面：平行叩き 内面：ナデ、当て具痕(同心円?)	5Y7/2 灰白	雲母多量、砂粒・白色粒子微量	T5 サブトレンチ、硬化層

第2表 東山道跡調査区出土遺物観察表

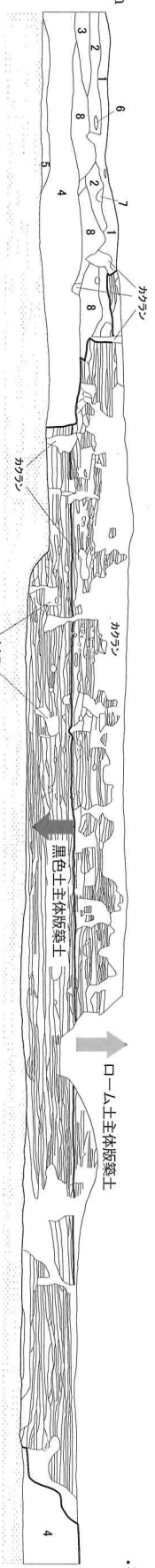
第2節 S B 0 1 (瓦葺礎石建物) の調査 (第18図)

(1) 柱位置の確認

S B 0 1 は掘込地業礎石建物であるが、ほぼ全ての礎石が抜き取られていることから、柱位置を確認するために、礎石を据え付けるための掘り込みの確認、及び根石の分布の詳細確認を実施した。その結果、主に根石の位置から推定した柱位置が、従来推定された柱位置とはほぼ同様であった。しかしながら、本建物については、掘込地業の版築土内に川原石を入れることから、根石との判別が困難であり、柱位置をすべて特定することができなかったものの、正確に確認できる位置関係からは、前回の調査で推定された位置で間違いはないと考えられる。本建物の北側部分については、過去に造成に伴う削平を受けていることはわかっていたものの、以前の調査においては北1列目の柱列に伴う根石が部分的に確認できているとの調査所見があったが、今回の調査では、それについて、地業の版築土内の川原石であることが確認され、北1列目、北2列目については詳細が不明であることが分かった。



A.
82.700m



- 1 暗黄褐色土 ローム粒子主体。粘性ややあり、しまりなし。
 - 2 暗黄褐色土 黒色土主体。粘性ややあり、しまりあり。
 - 3 黄褐色土 ローム土主体、古墳周溝埋土。粘性ややあり、しまりあり。
 - 4 暗黒褐色土 ローム粒を若干含む。粘性ややあり、しまりあり。
 - 5 暗黄褐色土 ローム層漸移層。粘性あり、しまりあり。
 - 6 白色土 漆喰もしくは白色粘土。粘性あり、しまりややあり。
 - 7 暗黄褐色土 ローム粒子若干含む。粘性ややあり、しまりややあり。
 - 8 黒色土 黒色土主体で径1mm大のローム粒子を含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 版築土層
 上層…ローム主体の版築土層
 この中はローム主体の黄褐色土層と、黒色土が主体となる暗黄褐色土層が5cmの厚さで互層になる。
 下層…黒色土主体の版築土層
 この中はロームブロックを含む層と含まない層が5cmの厚さで互層になる。

第 18 図 SB01 調査区平面図・土層断面図

(2) 掘込地業における緻密な版築

掘込地業の土層断面については、平成7年度調査で南北方向に掘削したトレンチと、東西方向に掘られた根切り溝において確認を実施した。版築土層は黒色土主体の下層と、ローム土層主体の上層の2層に大きく分けることができ、更にそれぞれの層は、厚さ1～5cm程度の層に分層することが可能である。非常に丁寧に地業内の版築を行っていたことがわかる。また版築土内には、一定のレベルで川原石が多く入っていることも特徴である。なお、この地業の範囲は東西約37m、南北約12.5mである。

(3) 基壇について

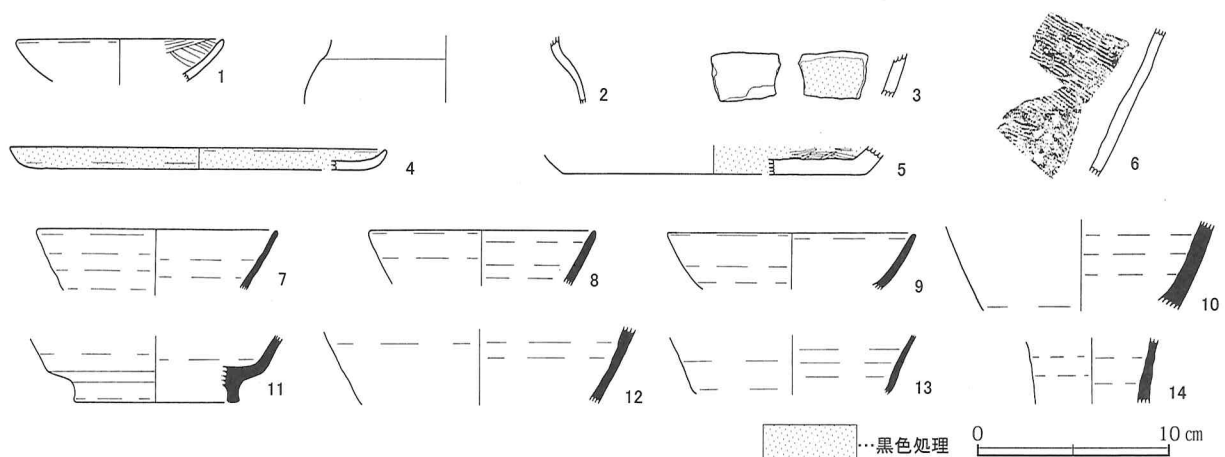
基壇の高さは当時の地表面からは40～50cm程度と考えられ、形状としては亀腹に近いものと想定される。外装については、面的な調査の結果、礫や凝灰岩片が少量確認されたものの、土層断面観察でも化粧石等を設置する痕跡等は確認できなかった。特筆する点としては部分的にはあるが、白色粘土が版築土表面で確認されており、亀腹状の盛り上がりと考えられる版築土外面を覆っていた可能性が考えられる。

(4) 建物周辺の関連遺構について

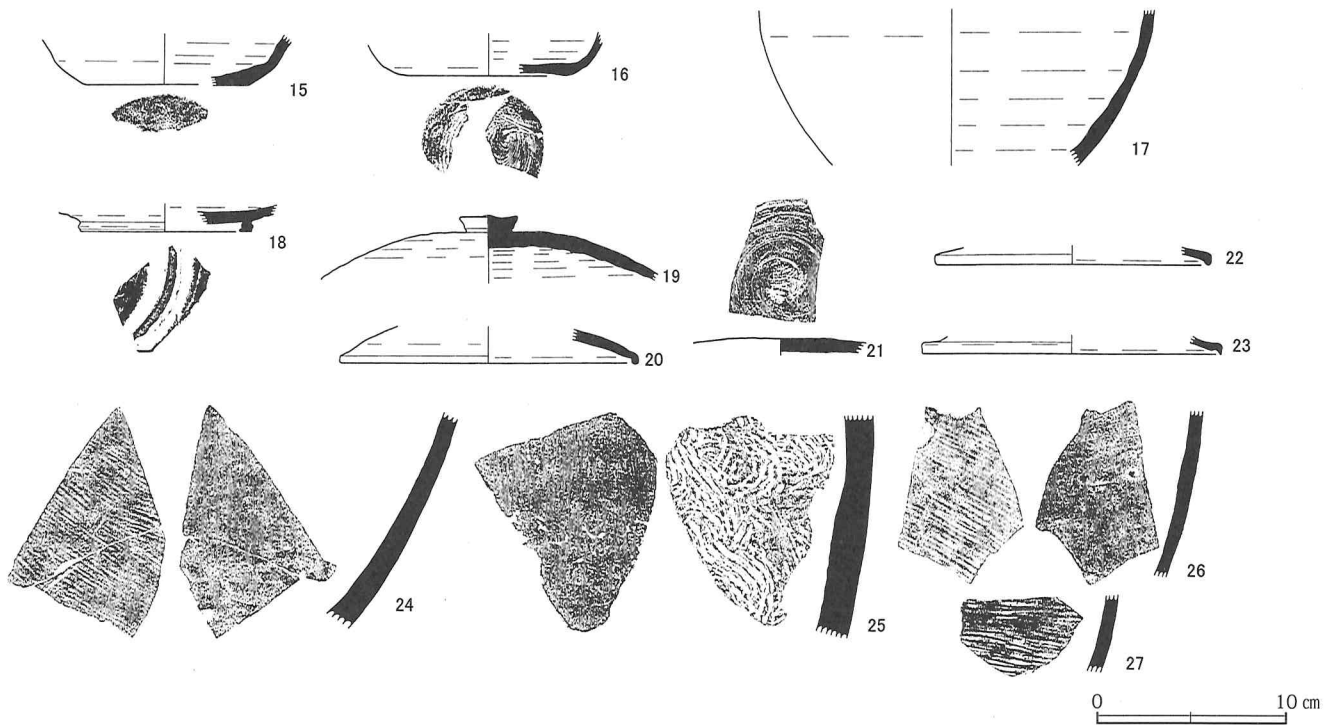
建物南側中央部分及び南西部分において、礫が幅1mで密集している部分が確認されている。中央および南西部分においては、玉石が集中する部分も確認できるが、大部分が爪先大の小礫である。面的に広がるというよりも局所的な感じではあるが、建物の南面に礫敷が広がっていた可能性が考えられる。なお、これらの性格については雨落ち溝に伴うものとも考えられたが、最南端の柱列から6mの距離があることから考えるとこの可能性は低く、SB01に付随する通路に伴うものや建物南面の化粧、排水的な施設などと考えられる。

(5) 出土遺物 (第19～20図・第3～4表)

SB01は瓦葺建物であることから、大量の瓦が出土している。特に建物の南側からは大量の瓦が積み重なり出土している。しかしながら、これらの出土状況には規則性はなく、建物の倒壊に伴う堆積状況というよりは、後世に集積されたものと考えられる。なお、文字瓦を含め瓦の詳細については後に詳述する。このほかに、点数は非常に少数ではあるが、須恵器坏・甕・壺、土師器甕・坏、鉄製釘、鉄滓が出土している。



第19図 SB01 調査区出土遺物実測図 (1)



第 20 図 SB01 調査区出土遺物実測図 (2)

() は推定値

	種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
1	土師器杯	(10.8)	-	-	外面：ヘラケズリ 内面：ヘラミガキ	2.5YR5/6 明赤褐	雲母・細砂粒少量、白色粒子微量	
2	土師器甕	-	-	-	外面：頸部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ 内面：ヨコナデ	5YR5/4 にぶい赤褐	白色粒子少量、雲母微量	
3	土師器杯	-	-	-	外面：ナデ 内面：黒色処理	外面：2.5YR6/6 橙 内面：5Y2/1 黒	白色粒子やや多量、雲母微量	
4	土師器皿	(19.8)	1.1	(17.6)	内外面黒色処理	10YR2/1 黒	赤色粒子・細砂粒微量	
5	土師器甕	-	-	(16.0)	外面：ヘラケズリ 内面：ヘラミガキ、 黒色処理	外面：10YR6/3 にぶい黄橙 内面： N2/0 黒	白色粒子やや多量、赤色粒子少量、粗砂粒微量	
6	土師器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：ナデ	外面：5 Y 2/1 黒 内面：10YR5/3 にぶい黄褐、一部 黒	雲母多量、赤色粒子やや多量白色粒子少量	
7	須恵器杯	(12.6)	-	-	内外面ロクロナデ	5Y4/1 灰	白色粒子少量	
8	須恵器杯	(11.8)	-	-	内外面ロクロナデ、自然釉がわずかにか かる	7.5Y6/1 灰	白色粒子微量	
9	須恵器杯	(13.0)	-	-	内外面ロクロナデ	5Y8/2 灰白	緻密、細砂粒微量	
10	須恵器甕	-	-	-	外面：回転ヘラケズリ 内面：ロクロナ デ	2.5Y6/2 灰黄	緻密、白色粒子微量	
11	須恵器高台付 杯	-	-	(8.8)	内外面ロクロナデ 高台貼り付け	5Y6/2 灰オリーブ	白色粒子・粗砂粒少量	
12	須恵器杯	-	-	-	内外面ロクロナデ、外面に自然釉	2.5Y7/2 灰黄	緻密、白色粒子・砂粒 微量	
13	須恵器杯	-	-	-	内外面ロクロナデ	7.5 Y 4/1 灰	細砂粒少量、白色粒子 微量	
14	須恵器長頸壺	-	-	-	内外面に自然釉	外面：5Y4/1 灰 内面：5Y6/1 灰	緻密	
15	須恵器杯	-	-	(8.6)	内外面ロクロナデ	7.5 Y 5/1 灰	細砂粒少量、白色粒子・ 砂粒微量	
16	須恵器杯	-	-	(8.5)	内外面ロクロナデ、底部外面回転糸切り	5Y7/2 灰白	白色粒子・細砂粒少量	
17	須恵器甕	-	-	-	外面：回転ヘラケズリ 内面：ロクロナ デ	外面：5Y3/1 オ リーブ黒 内面： 5Y5/1 灰	白色粒子・細砂粒少量、 砂粒微量	

第 3 表 SB01 調査区出土遺物観察表 (1)

	種別・器種	寸法 (c m)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
18	須恵器高台付 坏	-	-	(9.0)	外面：回転ヘラケズリ後高台貼り付け 内面：ロクロナデ	10YR5/3 にぶい黄 褐	白色粒子少量	
19	須恵器蓋	-	-	-	内外面ロクロナデ、天井部外面回転ヘラ ケズリ	5Y6/2 灰オリーブ	白色粒子やや多量、砂 粒微量	
20	須恵器蓋	(16.0)	-	-	内外面ロクロナデ	5Y6/1 灰	白色粒子少量	
21	須恵器蓋	-	-	-	外面：回転ヘラケズリ 内面：ロクロナ デ	10YR5/3 にぶい黄 褐	白色粒子・細砂粒少量	
22	須恵器蓋	(14.6)	-	-	内外面ロクロナデ	2.5 Y 5/3 黄褐	白色粒子・細砂粒少量	
23	須恵器蓋	(15.8)	-	-	内外面ロクロナデ	外面：N4/0 灰 内面：10R4/1 暗 赤灰	白色粒子少量	
24	須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き後ナデ 内面：ナデ	5Y6/1 灰	白色粒子・細砂粒やや 多量	
25	須恵器甕	-	-	-	外面：ナデ 内面：同心円当て具痕	N4/ 灰	白色粒子やや多量	
26	須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き後ナデ 内面：ナデ	N4/1 灰	白色粒子・赤色粒子少 量、砂粒微量	
27	須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：ナデ	5Y6/2 灰オリーブ	白色粒子・細砂粒少量	

第4表 SB01 調査区出土遺物観察表 (2)

第3節 SB01 周辺部分の調査

大型瓦葺建物であるSB01周辺は、政庁正殿の南に位置することから、正倉でも重要な地点であると考えられる。このことから、SB01と前後する時期に別の建物が存在する可能性が考えられることから調査を実施した。

(1) SB01 南側部分の調査 (第21・22図)

SB31

SB01の南に位置し、SB63・SB171と重複する。4間以上×1間の側柱式掘立柱建物で南北棟である。桁行は11.8m以上、梁間は4.0mで、柱穴は東西0.5m～1.4m×南北0.5m～1mの楕円形であり、北1東2柱穴、北4東2柱穴において1回の掘り直しが確認されている。

SB63

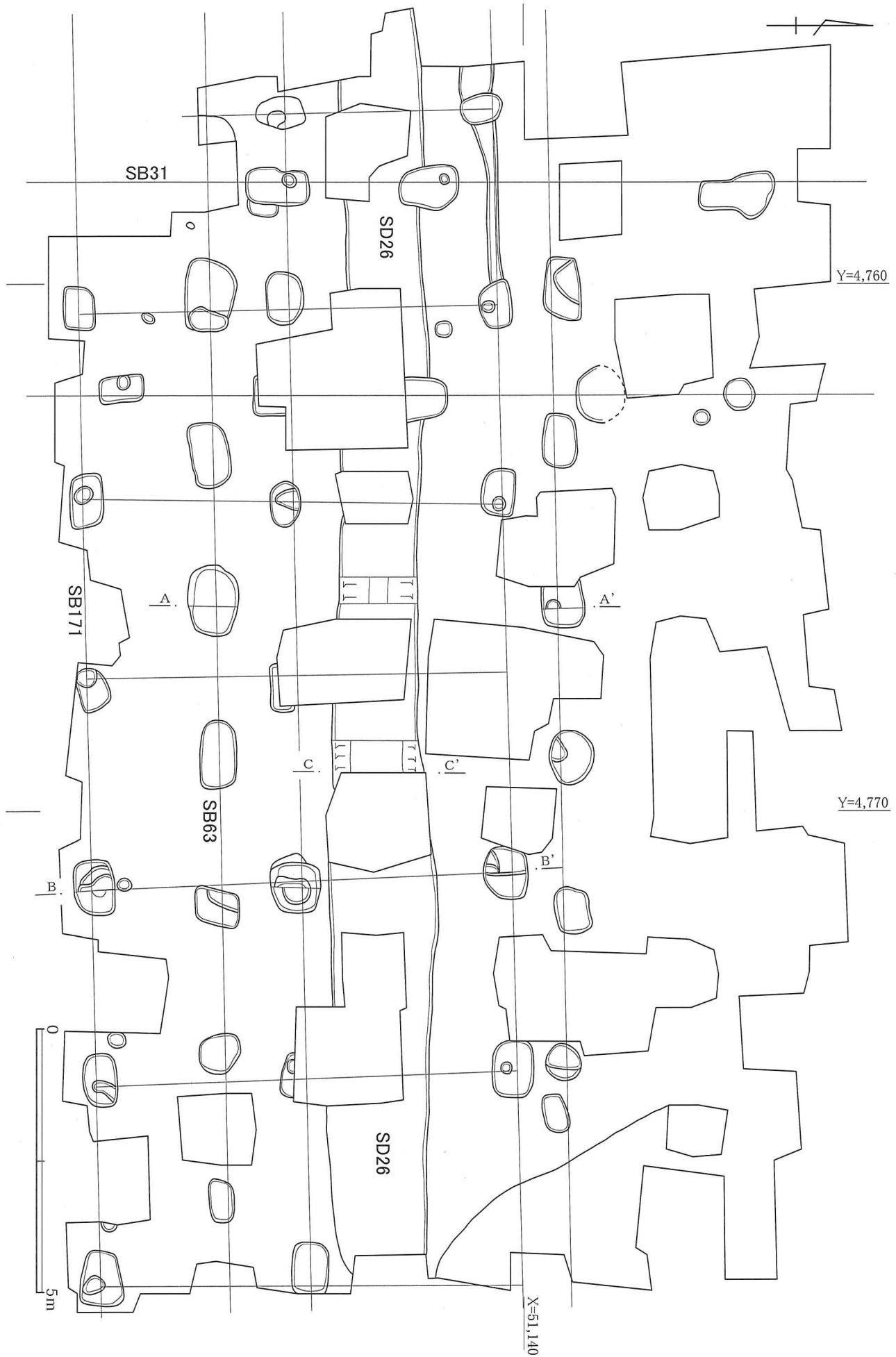
SB01の南に位置し、SB31と重複する。19間以上×2間の側柱式掘立柱建物で東西棟である。桁行は56m以上、梁間は6.8mで、柱穴は東西0.8m～1.5m×南北0.7m～1.3mの楕円形であり、今回の調査では、北柱列の一部が新たに確認されている。二箇所柱穴の半裁を行なったが、深さは確認面より1mである。

SB171

SB01の南に位置しSB31・SB33と重複する。5間以上×2間以上の総柱式掘立柱建物で東西棟である。桁行18m以上、梁間は8mで、柱穴は東西0.6m～1.1m×南北0.5m～1.0mの楕円形である。

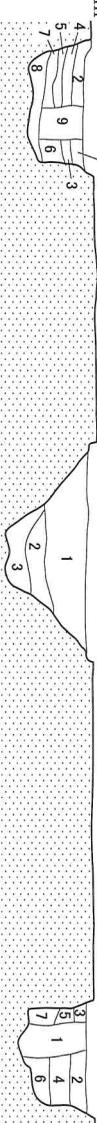
SD26

SB01の周囲を取り囲む溝で、SB01北東側の未確認部分12mと南側で約23.5m確認された。北東部の掘り込みは深さ1.05m、幅は2.1m、南側では深さ1.2m、幅は2.6mに及び、以前の調査と同様、1度の掘り直しが確認され、掘り直し後の土層から瓦が出土している。



第 21 图 SB01 南侧调查区平面图

A. SB63 北1列 SD26 SB63 南1列

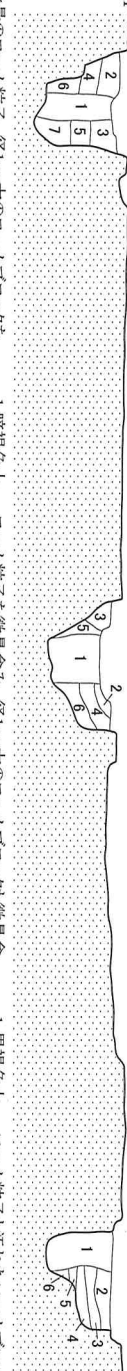


- 1 暗褐色土 径1cm大のローム粒子を微量含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 2 暗黄褐色土 径1cm大のロームフロック及びローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまり非常にあり。
- 3 暗褐色土 径5mm大のローム粒子を若干含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 4 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 5 暗黒褐色土 径5mm大のロームフロックを微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 6 暗褐色土 ローム粒子をまんべんなく含む土層。粘性ややあり、しまりややあり。
- 7 暗黒褐色土 ローム粒子を微量に含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 8 暗黄褐色土 ローム粒子及びロームフロックからなる土層。粘性ややあり、しまりあり。
- 9 暗黄褐色土 ローム粒子及びロームフロックを微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。

- 1 暗黄褐色土 径5mm大のロームフロック及びローム粒子を主体とした層。人為的堆積層と考えられる。粘性ややあり、しまりあり。
- 2 黒褐色土 黒色土を主体とし、ローム粒子を若干含む。自然堆積土層。
- 3 暗黄褐色土 ローム粒子を主体とする土層。初期の流入土か。粘性ややあり、しまりややあり。

- 1 黒褐色土 柱引き抜き痕。径1cm大のロームフロックを若干含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 2 暗褐色土 径1mm大のローム粒子を多量に含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 3 暗褐色土 汚れたロームフロックを多量に含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 4 暗褐色土 径5mm大のロームフロックを含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 5 暗褐色土 汚れたローム粒子主体の土層。粘性ややあり、しまりあり。
- 6 暗黒褐色土 粘土質の土層に径1cm大のロームフロックを含む。粘性あり、しまりあり。
- 7 暗黒褐色土 基本的な土質は6層に準じる。

B. SB171 北1列 SB171 北2列 SB171 北3列

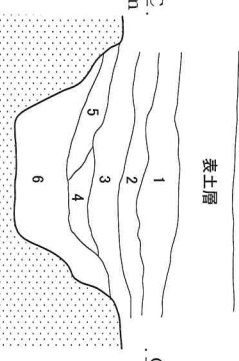


- 1 黒褐色土 黒色土主体で微量のローム粒子、径1cm大のロームフロックを含む。粘性ややあり、しまりなし。
- 2 暗黄褐色土 ローム粒子及び汚れたロームをまんべんなく含む他、径1cm大のロームフロックを微量含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 3 暗褐色土 ローム粒子を微量含む黒色土主体の土層。粘性ややあり、しまりややあり。
- 4 暗黄褐色土 汚れたロームを微量含む他、ローム粒子も微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 5 暗褐色土 径1cm大のロームフロックを若干含む他、ローム粒子はまんべんなく含まれる。粘性ややあり、しまりややあり。
- 6 黒褐色土 黒色土主体の土層でロームフロックが微量みられるが他の混入物はなし。粘性ややあり、しまりややあり。
- 7 黄褐色土 径3~5cm大のロームフロック及びローム粒子主体の土層。黒色土も混入する。粘性ややあり、しまり非常に強い。

- 1 暗褐色土 ローム粒子を微量含む、径1cm大のロームフロックも微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 黒褐色土 ローム粒子・フロックは含まない。粘性ややあり、しまりあり。
- 3 暗黄褐色土 ロームフロック主体の土層に若干の黒色土を含む。粘性あり、しまりあり。
- 4 暗黄褐色土 汚れたローム主体の土層。粘性あり、しまりややあり。
- 5 暗黒褐色土 ローム粒子及び径1cm大のロームフロックを微量含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 6 暗黄褐色土 ロームフロック主体の土層だが黒色土をまんべんなく含む。粘性あり、しまりややあり。

- 1 黒褐色土 ローム粒子と汚れたロームフロックを少量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 暗黄褐色土 汚れたロームフロックを多量に含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 3 暗黒褐色土 ローム粒子・汚れたロームフロックともに若干含む。粘性あり、しまりあり。
- 4 黄褐色土 ロームフロックからなる土層。黒色土は若干。粘性あり、しまりあり。
- 5 黒色土 ロームフロック・粒子ともに全く混入しない。粘性あり、しまりややあり。
- 6 黒褐色土 5層に比べローム粒子を多く含む。粘性あり、しまりややあり。

SD26



- 1 暗褐色土
- 2 暗黄褐色土
- 3 黄褐色土
- 4 黄褐色土

微細なローム粒子をまばらに含む。わずかであるが、ロームフロックも混入する。粘性ややあり、しまりややあり。

- 5 黄褐色土
- 6 黒褐色土

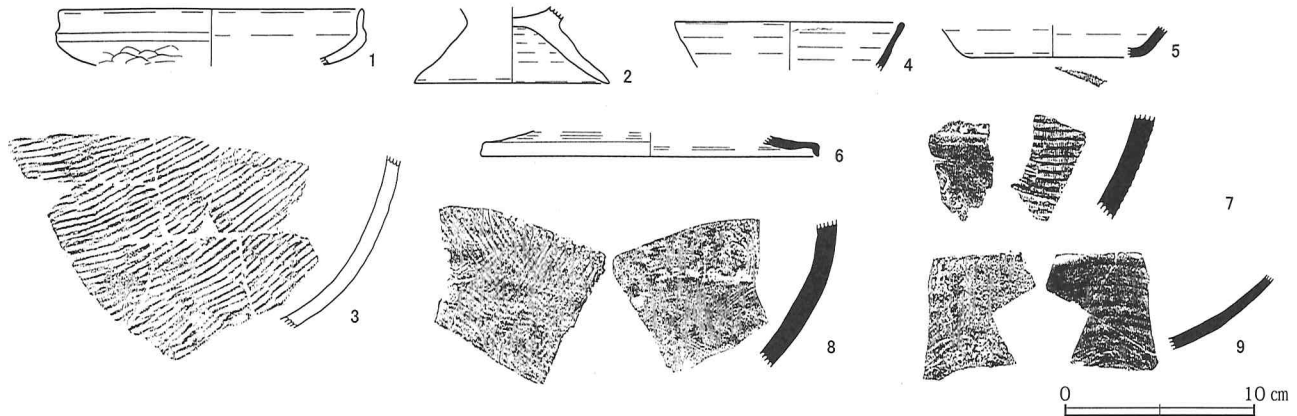
ロームフロックで構成される土層。粘性あり、しまりあり。黒色土主体の土層にロームフロック・粒子が微量混入する。粘性ややあり、しまりややあり。



図 22 土質調査区 土質調査区 土質調査区

出土遺物（第23図・第5表）

本調査区からは、土師器坏・高坏・甕、須恵器坏・蓋・甕が出土しているが、柱穴に伴うものはない。



第23図 SB01 南側調査区出土遺物実測図

() は推定値

種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
	口径	器高	底径				
1 土師器坏	(16.0)	-	-	外面：ヨコナデ、稜の下に浅い沈線 内面：ヨコナデ	5YR6/6 橙	赤色粒子やや多量、雲母微量	
2 土師器高坏	-	-	(10.4)	内外面ロクロナデ	5YR6/6 橙	雲母多量、白色粒子・細砂粒少量	
3 土師器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：ナデ	7.5YR6/6 橙	白色粒子やや多量	
4 須恵器坏	(12.0)	-	-	内外面ロクロナデ	7.5Y6/1 灰	白色粒子多量、雲母微量	
5 須恵器坏	-	-	(9.0)	内外面ロクロナデ、底部外面ヘラケズリ	5Y7/2 灰白	白色粒子・赤色粒子・砂粒微量	
6 須恵器蓋	(18.0)	-	-	内外面ロクロナデ	10YR6/1 灰	白色粒子少量	
7 須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：ナデ	2.5GY6/1 オリーブ灰	白色粒子やや多量、砂粒微量	
8 須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き後ナデ 内面：ナデ	N4/ 灰	白色粒子やや多量、砂粒微量	
9 須恵器甕	-	-	-	内外面ロクロナデ、外面に自然釉	2.5Y7/2 灰黄	緻密、白色粒子・黒色粒子微量	

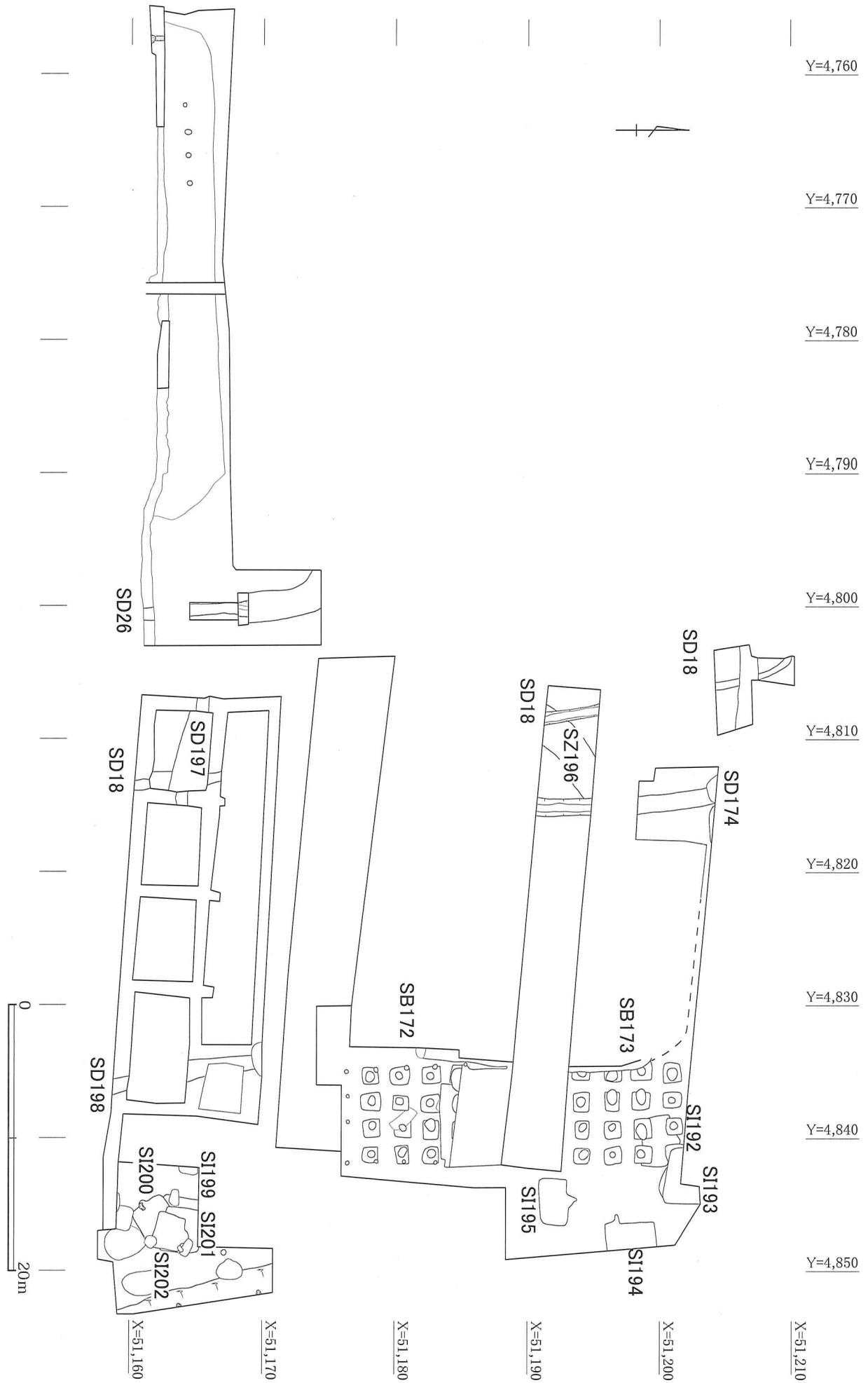
第5表 SB01 南側調査区出土遺物観察表

(2) SB01 北・北東側部分の調査 (第24図)

SB01の北側部分における遺構の広がりを確認するために発掘調査を実施。なお、調査では以下で詳述する遺構の他にも、9世紀前半以降の堅穴建物跡が4軒確認されており、前回の報告にあるとおり、北側部分については官衙廃絶後に一般集落に変わっていることが追認された。

SB172 (第26図)

東正倉域の東に2棟確認された建物の一つで、SB01の北東50mに位置する。3間×3間の総柱式掘立柱建物で南北棟である。桁行は6.9m、梁間は6.3m、柱穴は1.1～1.4m×1.0～1.5mであり、柱は抜き取られている。北に位置するSB173と柱筋が合うことから同時期の建物と考えられる。また、南側正倉域のSB75に柱筋が合うが、SB172とSB75の間に建物は展開しない。なお、柱穴に小柱穴が伴う特徴が見られる。



第 24 图 SB01 北・北東側調査区遺構配置图

SB173 (第27図)

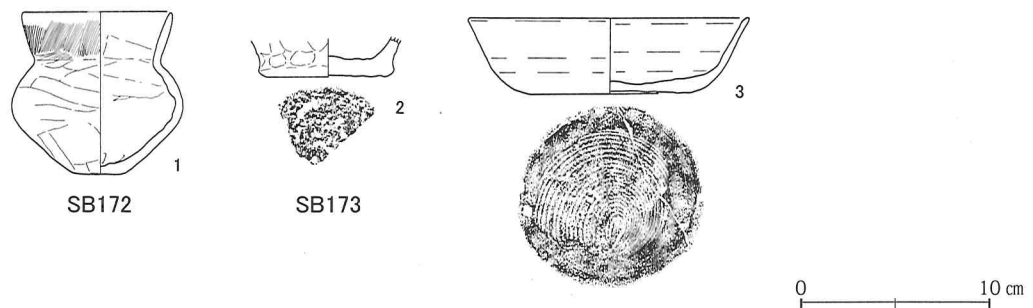
東正倉域の東に2棟確認された建物の一つで、SB172の北に位置する。3間×3間の総柱式掘立柱建物で南北棟である。桁行は6.6m、梁間は6.0m、柱穴は1.0～1.6m×1.2～1.5mであり、柱は抜き取られている。北東側4つの柱穴が竪穴建物跡を切っており、また北東隅の1つの柱穴は別の竪穴建物跡に切られている。さらに、西側4つの柱穴は時期及び性格不明の掘り込みにより削平されている。南に位置するSB172と柱筋が合い同時期の建物と考えられるが、SB173の北、東及び西に建物は展開しない。

SD18 (第28・30図)

第Ⅲ期の区画溝で、前回調査された北東隅から南へ折れ、SB27及びSB01の東側に延びることが確認された。掘り込みは40cm、幅は80～90cmに及ぶ。上三川町側のSD34につながる可能性が考えられる。なお、北東部でSD174に切られ、さらにSB01の東側で時期及び性格不明の掘り込みにより一部削平されている。

出土遺物 (第25図・第6表)

SB172・173の柱穴内から土師器が出土している。

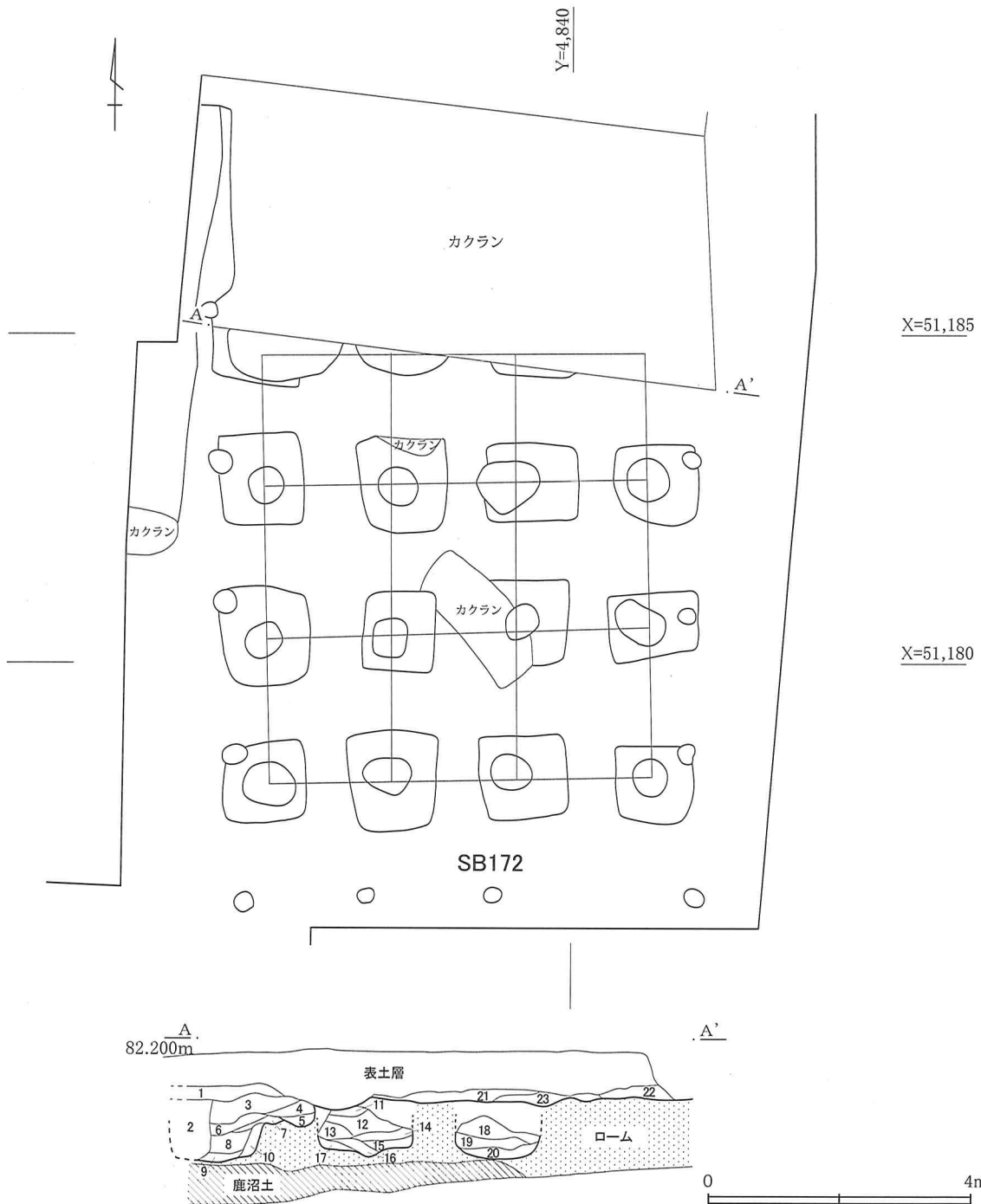


第25図 SB01 北東側調査区出土遺物実測図

() は推定値

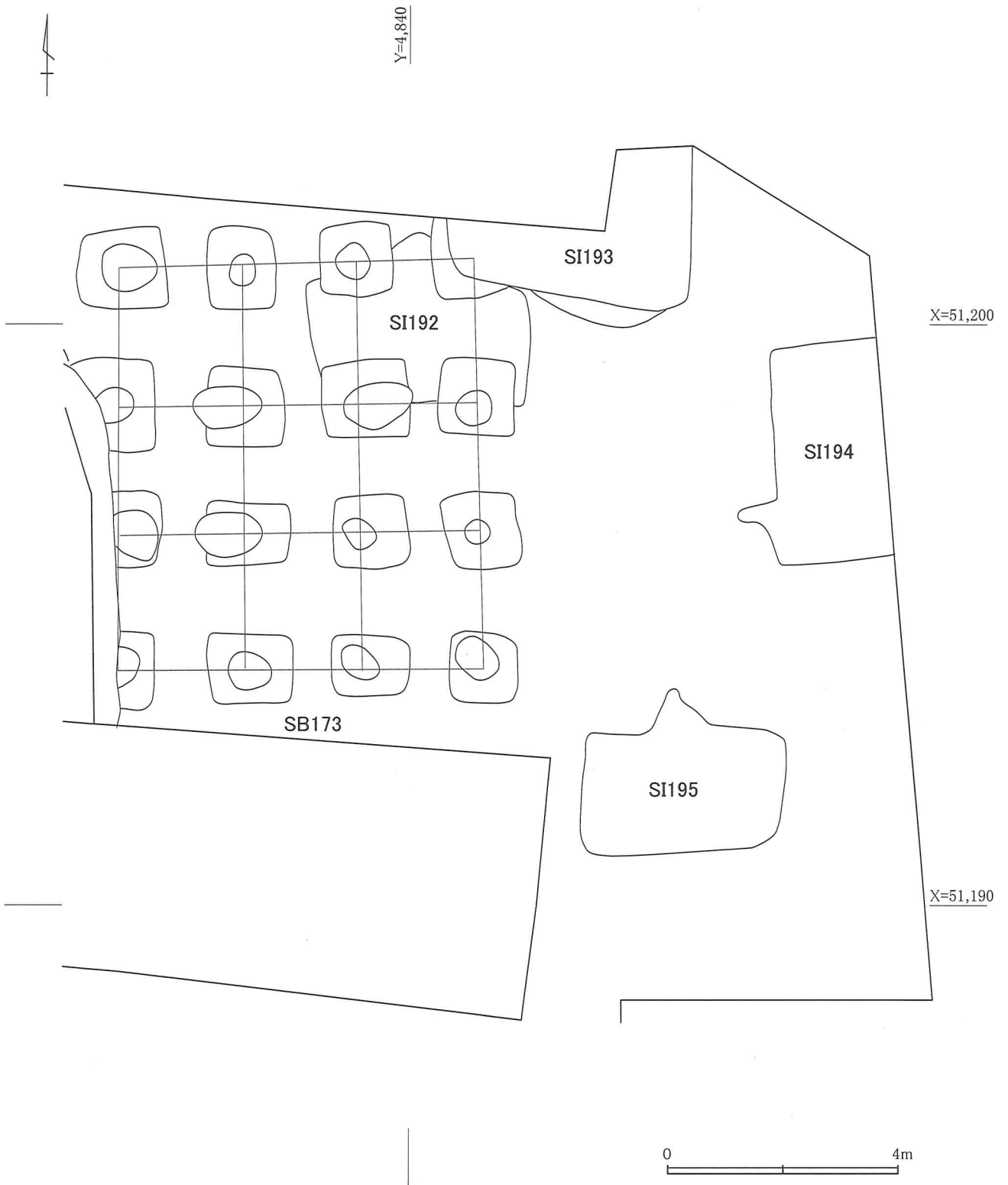
種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
	口径	器高	底径				
1 土師器埴	(8.0)	8.5	2.8	外面：口縁部はヨコナデ後縦位のハケ目、胴部はヘラケズリ 内面：口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ	2.5YR6/8 橙	白色粒子やや多量、砂粒微量	SB172 東1北 1柱穴
2 土師器手捏土器	-	-	(6.4)	胴部と底部の境目に指頭圧痕、底部外面に布目痕	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子少量、赤色粒子・雲母・細砂粒微量	SB173 東2北 2柱穴
3 土師器坏	(14.9)	4.0	8.5	内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後外周をヘラケズリ	外面：10YR4/1 褐灰 内面：10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・細砂粒少量、砂粒微量	

第6表 SB01 北東側調査区出土遺物観察表

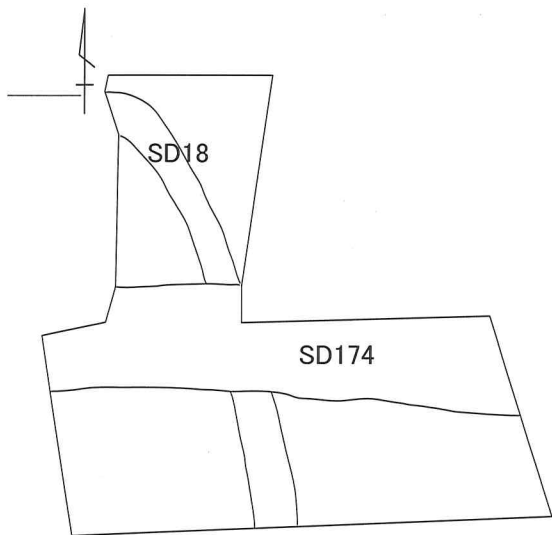


- | | | | |
|----------|--------------------------------------|----------|---|
| 1 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック少 | 14 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微、小ロームブロック微、今市パミス微 |
| 2 暗黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い、小ロームブロック多い | 15 黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い、小ロームブロック少 |
| 3 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロックやや多い | 16 暗黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック少 |
| 4 褐色土 | ローム粒少 | 17 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロックやや多い、小ロームブロック微 |
| 5 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少、小ロームブロック微 | 18 黄褐色土 | ロームブロック中心、ローム粒多い |
| 6 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロックやや多い | 19 暗黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い |
| 7 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少 | 20 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック多い、小ロームブロックやや多い、ロームブロック少 |
| 8 暗黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い、小ロームブロック少、ロームブロック少 | 21 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック微、炭化物粒微 |
| 9 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少 | 22 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微 |
| 10 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック少、小ロームブロック少 | 23 灰褐色土 | ローム粒多い、焼土含む、炭化物粒少 |
| 11 黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い | | |
| 12 褐色土 | ローム粒少、今市パミス微 | | |
| 13 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少、今市パミス微 | | |

第 26 図 SB172 平面図・土層断面図



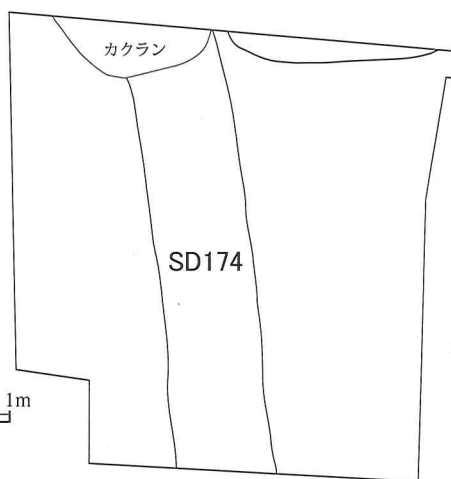
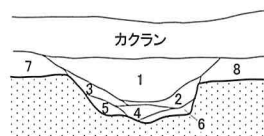
第 27 図 SB173・SI192～195 平面図



Y=4,810

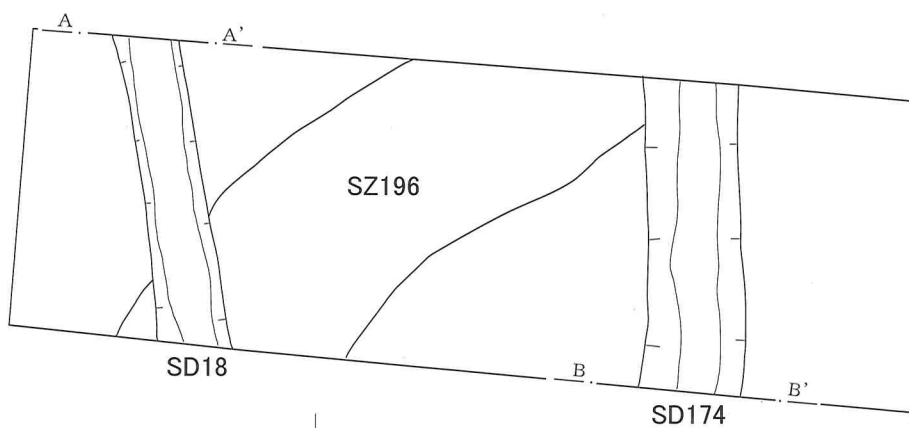
X=51,210

A
82.300m A'



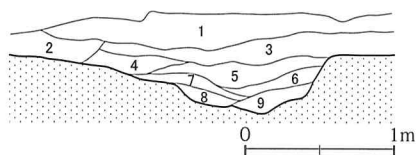
X=51,200

- | | |
|---------|------------------------------|
| 1 褐色土 | ローム粒少 |
| 2 褐色土 | ローム粒やや多い、やややわらかい |
| 3 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック微 |
| 4 褐色土 | ローム粒やや多い、小ロームブロック微、微ロームブロック微 |
| 5 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、やややわらかい |
| 6 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック微、やわらかい |
| 7 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い |
| 8 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い |



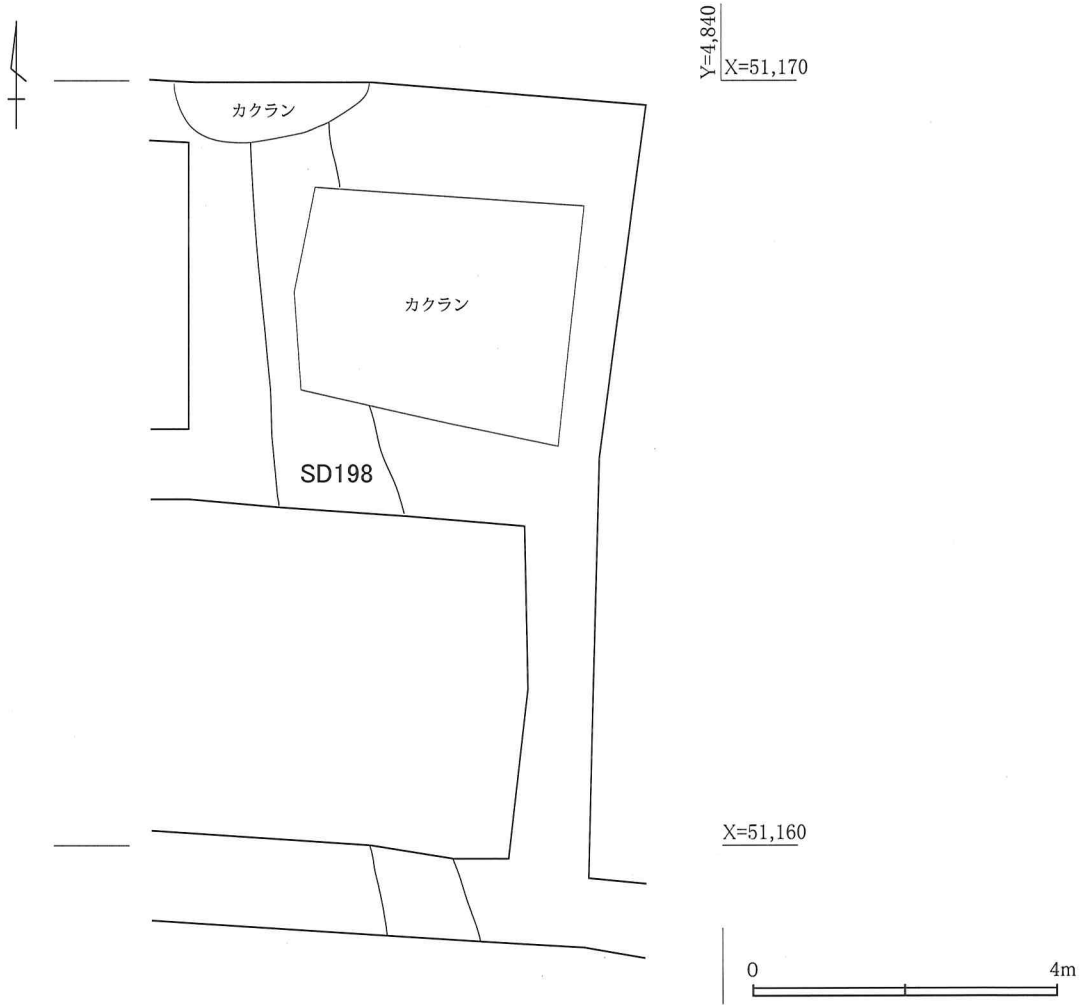
X=51,190

B
82.300m B'

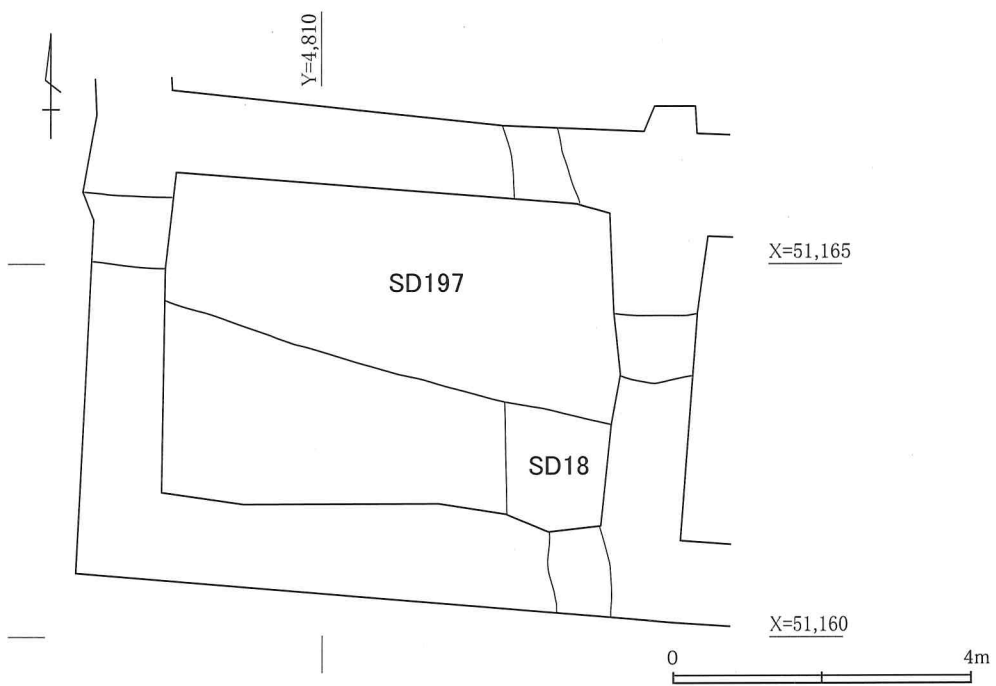


- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微、炭化物粒微、しまりあり |
| 2 褐色土 | ローム粒やや多い |
| 3 褐色土 | ローム粒少、しまりあり |
| 4 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微、やややわらかい |
| 5 茶褐色土 | ローム粒少、やわらかい |
| 6 褐色土 | ローム粒少、とてもやわらかい |
| 7 褐色土 | ローム粒やや多い、やわらかい |
| 8 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少、やわらかい |
| 9 褐色土 | ローム粒少、やわらかい |

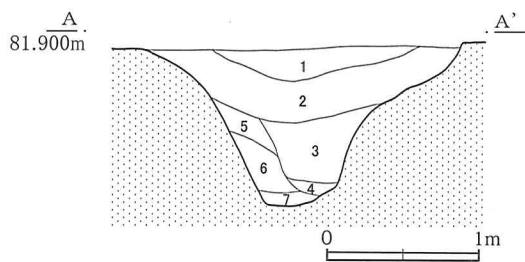
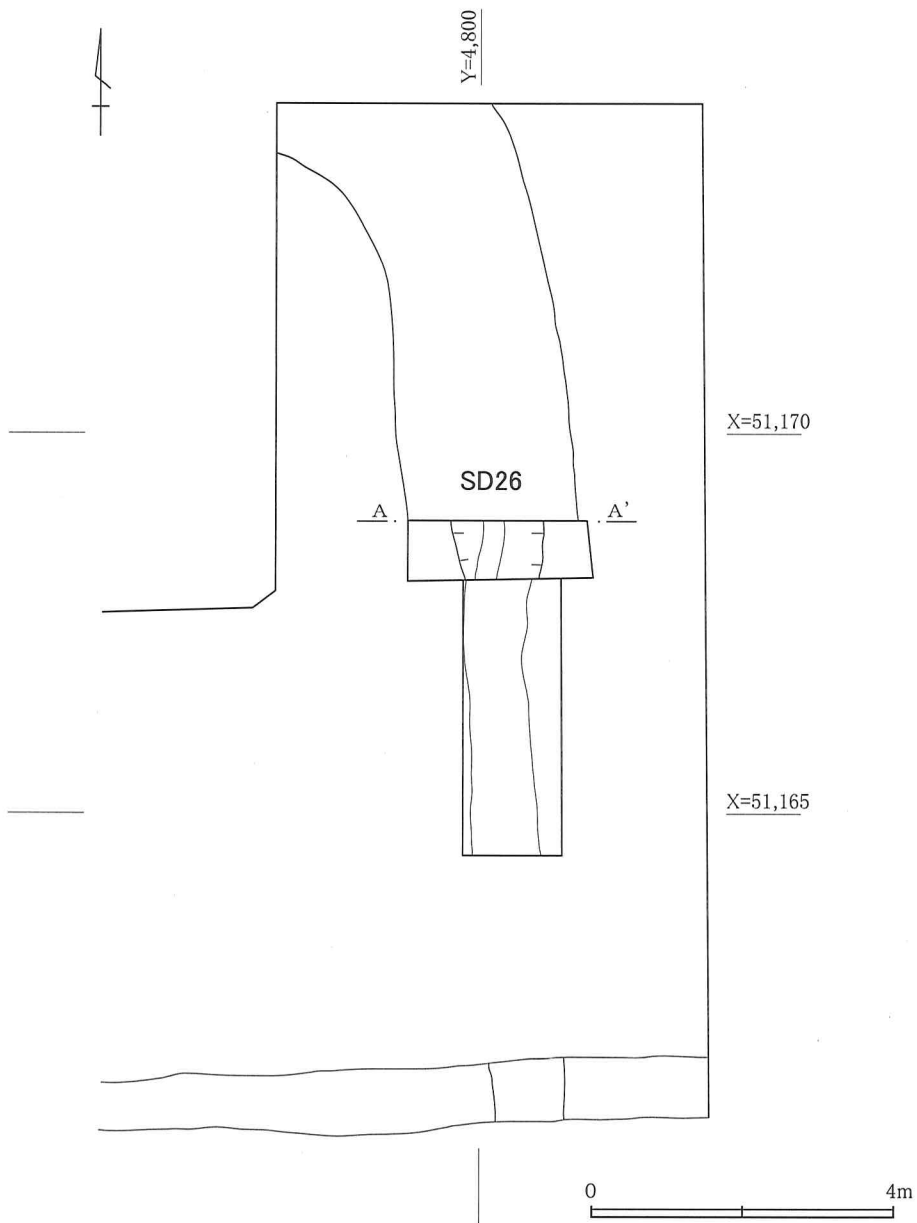
第 28 図 SD18・SD174 平面図・土層断面図



第 29 図 SD198 平面図



第 30 図 SD18・SD197 平面図



- | | |
|---------|----------------------------|
| 1 暗褐色土 | ローム粒微 |
| 2 褐色土 | ローム粒少、やや柔らかい |
| 3 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微、柔らかい |
| 4 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック少、柔らかい、粘性あり |
| 5 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック少、柔らかい、粘性あり |
| 6 褐色土 | ローム粒少、柔らかい、粘性あり |
| 7 暗黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック少、柔らかい、粘性あり |

第 31 図 SD26 平面図・土層断面図



第 32 図 SI199 ~ 202 平面図

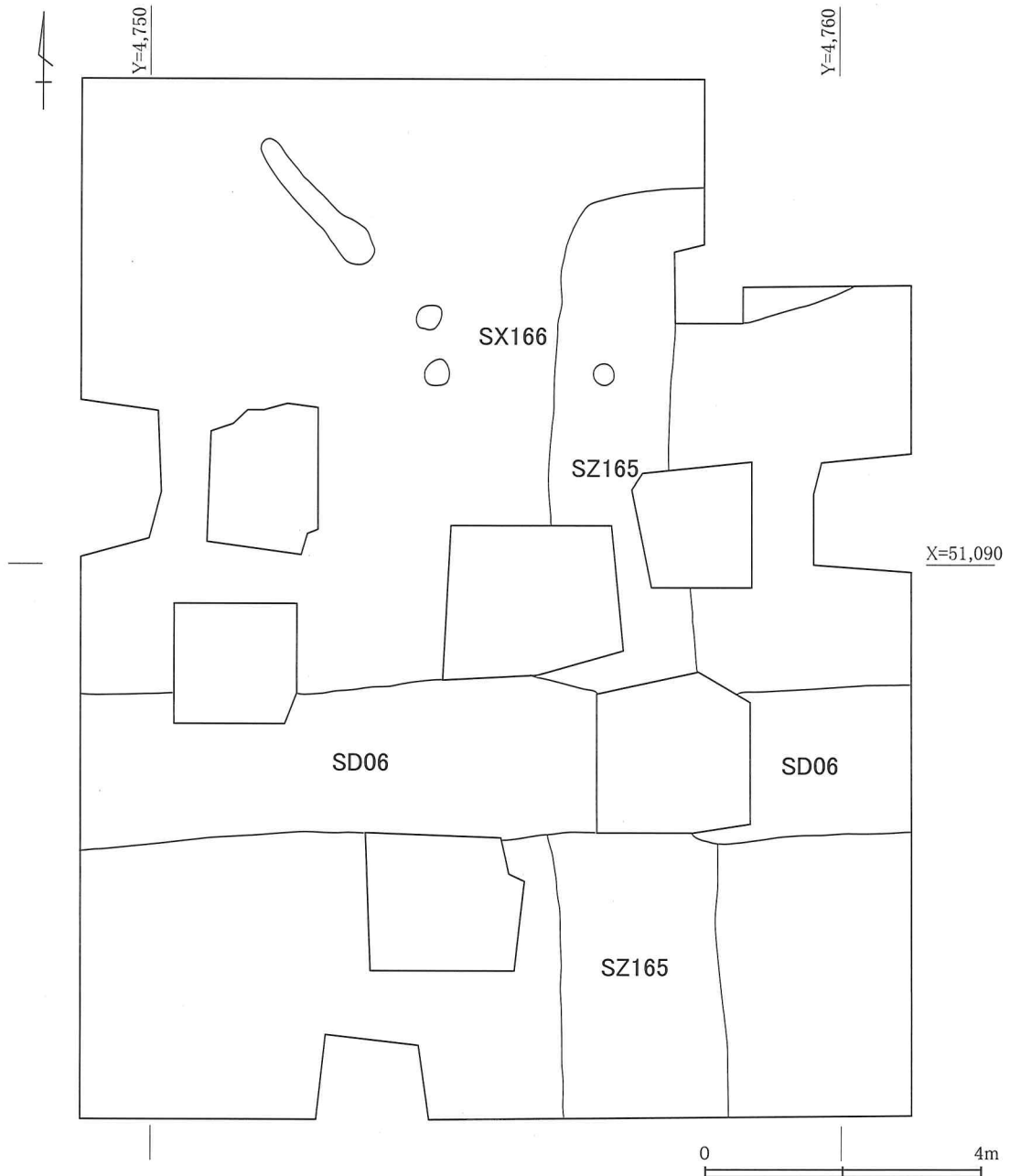
第 4 節 区画施設と出入口施設確認のための調査

本遺跡南側の区画溝の内側では、部分的に柵もしくは掘立塀と考えられる柱列が確認されていることから、面的な調査を実施した。また、政庁が存続した段階における正門と考えられるのは西門（SB 32・33）であるが、東山道に近接した南側については調査を実施しておらず、出入口施設の存在する可能性が高いことから調査を実施した。また、官衙範囲東側については、崖面となっており区画施設の存在は指摘されていなかったが、詳細を確認するための調査を実施した。

（1）政庁正殿中軸線上及びSB01東辺延長線上の調査（第33・34図）

政庁正殿中軸線は、官衙造営に際する基軸線と考えられることから、官衙の重要施設の一つである門は、この延長線上にあると考え、調査を実施した。調査の結果、この線上では東西方向に土坑が確認されたものの（SX166）、直径が20～30cm程度と小さなもので、この土坑間の間隔も2.8mあり、西側の土坑には控柱となるような土坑も確認されたが、その規模から考えても出入口施設になるような柱穴ではないと判断した。また、調査区内で確認された南側区画溝（SD06）では、溝を人為的に埋めたような状況は観察されていない。

一方、SB01の東辺上に設定した調査区においては、いくつかの小土坑が確認されたものの、区画施設や出入口施設は確認されなかった。



第 33 図 政庁正殿中軸線上調査区平面図

(2) 東側東山道近接部分 (第 36・37 図)

南側区画溝 (SD06) 上を、SB90・91 (政庁正殿) の中軸線上から、西側にある出入口部分までの距離と同距離を東側に移動した箇所の調査を実施した。この場所は東山道跡と区画溝が最も近接する場所でもある。調査の結果、ここでも西側と同様、区画溝が幅 4 ~ 4.5 m に渡って途切れていることが確認された。SD06 から北側 6.2 m には、東西に幅 4.8 m あけて並ぶ遺構 (SX175・176) が確認されている。そして、この遺構と区画溝の間には、東西に並行するように南北方向に並ぶ土坑列 (SA182・185) も発見されており、出入口からの通路に伴う柵などの施設の存在が考えられる。

SX175

SD06 で確認された溝の切れ目から、北に 6.2 m に位置する東西 2.1 m × 南北 1.4 m の壺掘状の遺構。深さは 90 cm。土層堆積状況を見ると、本遺跡で確認されている柱穴の埋土のように、固くつき固められている状況は確認できないが、西側部分にはそれに類似するような状況が認められる。なお底面には柱痕等は認められない。

SX176

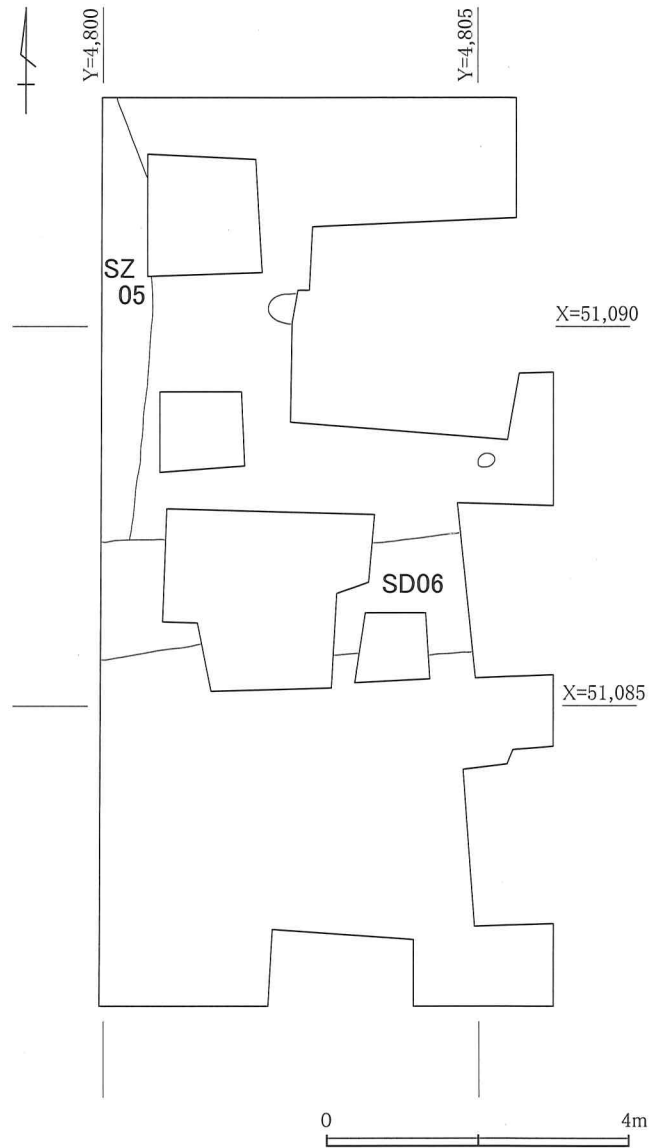
SD06で確認された溝の切れ目から、北に6.2mに位置する、東西13.3m×南北1.3mの布掘状の遺構。深さは東側で75cm、西側で35cmと西に行くに従い浅くなる特徴が認められる。土層の堆積状況を見てみると、SX175と同様、一気に埋められたような状況が認められ、柱等の据付に関わる硬化箇所および埋め土は確認されていない。

SA182・185

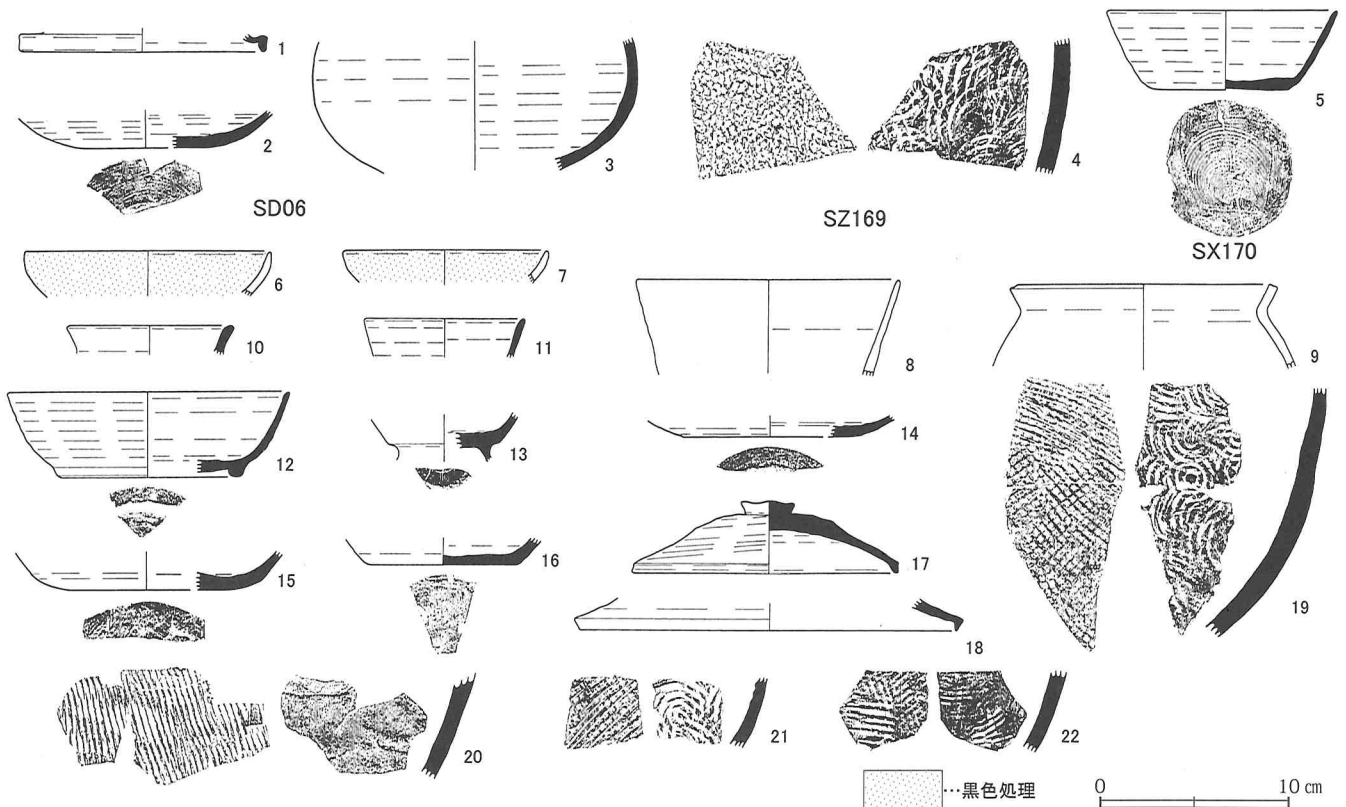
SD06で確認された溝の切れ目からSX175・176に向かって伸びる土坑列。直径20～50cmで・2.4～3.4m間隔で並ぶ。深さは30cmで、柵である可能性が考えられる。

出土遺物（第35図・第7表）

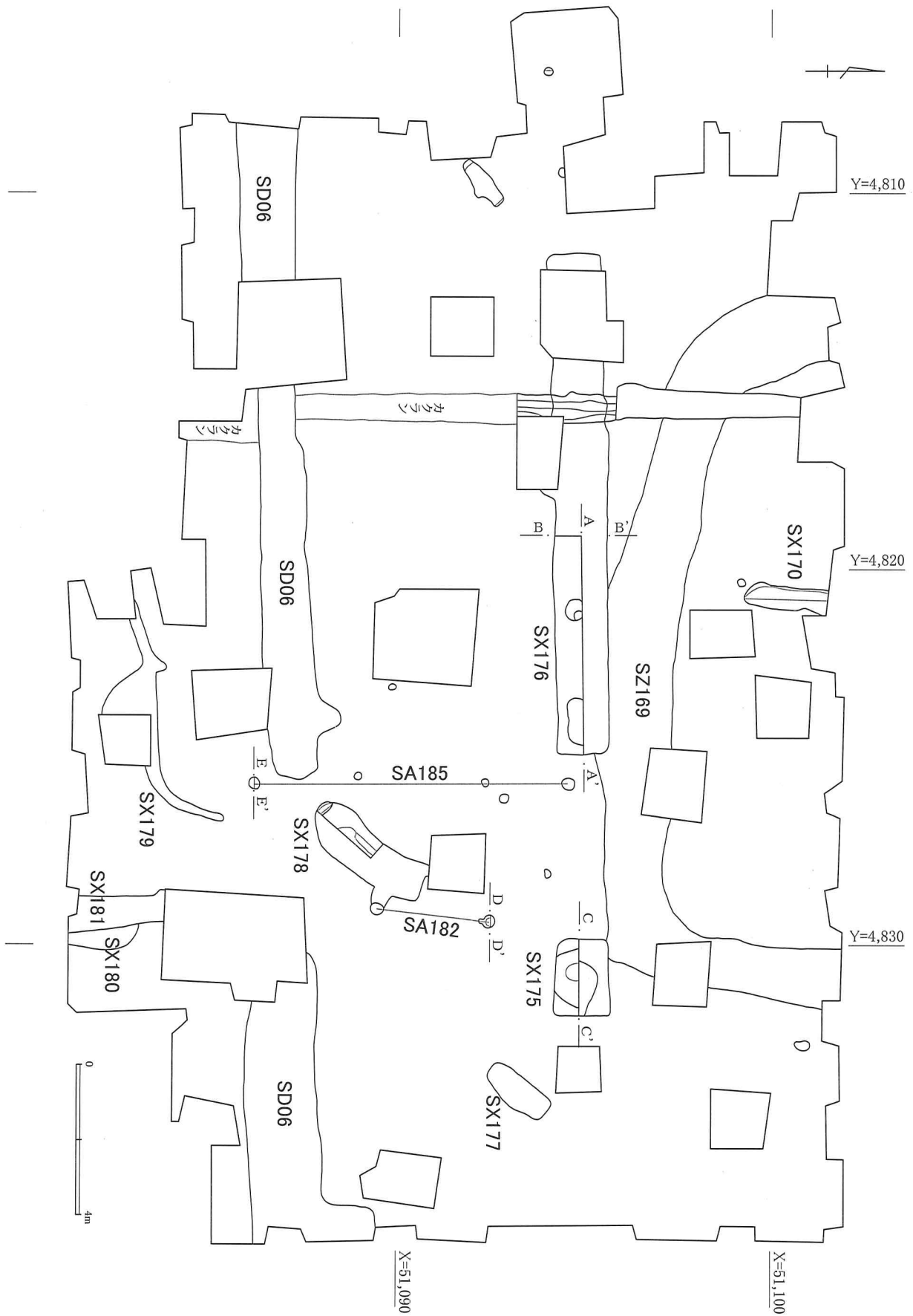
SD06から須恵器蓋・坏・甕、SZ169から須恵器甕、SX170から須恵器坏、調査区内のその他の地点から土師器坏・甕、須恵器坏・高台付坏・蓋・甕が出土している。



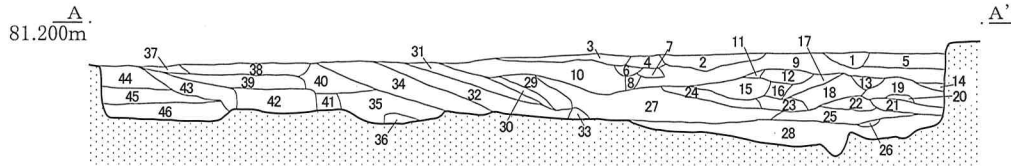
第34図 SB01 東延延長線上調査区平面図



第35図 東側東山道近接部調査区出土遺物実測図



第 36 図 東側東山道近接部調査区平面図 (1/150)



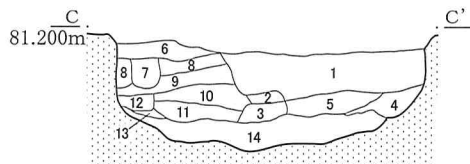
A・B共通

- 1 黒褐色土 黒色土主体の土層にローム粒子を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 2 黒褐色土 黒色土主体の土層にローム粒子並びに径1~2cm大のロームブロックを若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 3 黒褐色土 黒色土主体の土層にローム粒子・ロームブロックをごく少量含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 4 暗黄褐色土 黒色土主体もローム粒子の混入比率は1~3層よりも多い。しまりややあり、粘性ややあり。
- 5 暗黄褐色土 黒色土主体もローム粒子及びロームブロックの混入比率は多い。しまりややあり、粘性ややあり。
- 6 黒色土 黒色土主体の土層にローム粒子・ロームブロックの混入は認められない。しまりあり、粘性ややあり。
- 7 暗黒褐色土 黒色土主体の土層でローム粒子を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 8 暗黒褐色土 黒色土主体の土層で径1mm大のローム粒子を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 9 暗黄褐色土 ローム粒子主体の土層で径1~5cm大のロームブロックを若干含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 10 暗黄褐色土 黒色土主体の土層に径5mm~5cm大のロームブロックをまばらに含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 11 黒褐色土 黒色土主体の土層に微量のローム粒子を含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 12 暗黄褐色土 黒色土と汚れたローム質土からなる。径5mm~1cm大のロームブロックも含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 13 黒色土 黒色土主体の土層でローム土の混入はごく微量。しまりややあり、粘性ややあり。
- 14 黒色土 黒色土主体の土層に径1cm大のロームブロックを若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 15 黄褐色土 ローム粒子及び径1~10cm大のロームブロックからなる土層。黒色土も微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 16 暗黄褐色土 黒色土主体の土層で、径2cm大の汚れたロームブロックを若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 17 黒褐色土 黒色土主体の土層で、ローム土はごく少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 18 暗黄褐色土 汚れたロームブロック主体の土層で、黒色土硬化ブロックやローム粒子を微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 19 暗黄褐色土 汚れたロームブロック主体の土層であるが、ブロックの形状は崩れている。ローム粒子も多量含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 20 黒色土 黒色土主体の土層で、ローム粒子を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 21 暗黄褐色土 汚れたロームブロック主体の層で黒色土をほぼ半量含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 22 黒色土 黒色土主体の土層に若干のロームブロック及びローム粒子を含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 23 暗黄褐色土 ローム粒子と黒色土の比率は同程度であり、ロームブロックが混入する。しまりややあり、粘性ややあり。
- 24 黒褐色土 黒色土主体の土層で径3~5cm大のロームブロックを若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 25 暗黄褐色土 径5cm大のロームブロック及びローム粒子主体の土層で黒色土を含む。しまりややあり、粘性ややあり。



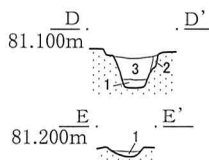
SX176

- 26 黒色土 黒色土主体の土層で若干のローム粒子を含む。しまりあり、粘性ややあり。
- 27 暗黄褐色土 径5~10cmのロームブロックからなる土層でローム粒子と黒色土をまんべんなく含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 28 黄色土 ブロック状のローム土が密に堆積した土層であるが、崩落しやすいといった特徴を持つ。しまりあり、粘性ややあり。
- 29 暗褐色土 黒色土主体ではあるものの、ロームブロック(径1~5cm大)を若干含み、ローム粒子をまんべんなく含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 30 黒褐色土 黒色土主体の土層で、ローム粒子・ブロックの量は29層よりもわずかに、しまりあり、粘性ややあり。
- 31 暗黄褐色土 黒色土主体の土層で、形が崩れたロームブロック(径1~2cm大)やローム粒子をまんべんなく含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 32 黄褐色土 ロームブロック・ローム粒子主体の層で黒色土はわずかに含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 33 黒褐色土 黒色土主体の土層でローム粒子・ブロック共に若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 34 黒褐色土 黒色土主体の土層に径2~5cm大のロームブロックをまばらに含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 35 暗黄褐色土 ローム粒子主体の土層にロームブロック並びに黒色土を若干含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 36 黒色土 黒色土主体の土層にロームブロックを混入する。しまりあり、粘性ややあり。
- 37 暗褐色土 黒色土主体の土層にローム粒子をわずかに含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 38 暗褐色土 基本土層は37層に類似するも、ローム粒子量は若干多い。しまりややあり、粘性ややあり。
- 39 暗褐色土 汚れたローム粒子からなる土層で、径2cm大のロームブロック・黒色土ブロックを含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 40 暗黄褐色土 ローム粒子主体の土層で、径1cm大のローム・黒色土ブロックをわずかに含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 41 暗黄褐色土 40層に類似するも黒色土ブロックの量は多い。しまりややあり、粘性ややあり。
- 42 黄褐色土 径10cm大のロームブロックからなる土層にローム粒・黒色土粒を含む。しまりややあり、粘性ややあり。
- 43 暗黄褐色土 ローム粒子からなる土層に径5cm大のロームブロックを混入する。しまりややあり、粘性ややあり。
- 44 暗褐色土 ローム粒子主体の土層で同量の黒色土を混入。ロームブロックは少量。しまりなし、粘性ややあり。
- 45 黒色土 黒色土主体の土層で径3cm大のロームブロックを少量混入。しまりあり、粘性あり。
- 46 黄色土 ロームブロックからなる土層で少量の黒色土の混入が認められる。しまりややあり、粘性ややあり。



SX175

- 1 暗褐色土 径1cm大のロームブロックを多く含み、黒色土を多量に含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 暗黄褐色土 径5cm大のロームブロックを多量に含み、黒色土を若干含む。粘性あり、しまりややあり。
- 3 黒褐色土 黒色土とローム土を多量に含む。形が崩れた径3cm大のロームブロックを若干含む。ローム粒子を多く含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 4 暗褐色土 黒色土を主体にローム粒子を多量に含み、径2cm大のロームブロックを微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 5 黒褐色土 黒色土主体も黒色土硬化ブロックは少なく、ロームブロックもわずかに、ローム粒子の量も微量。粘性ややあり、しまりあり。
- 6 黒褐色土 黒色土硬化ブロックが最も多く、径1cm大のロームブロックは微量でローム粒子を多く含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 7 暗黄褐色土 ローム粒子主体の層で、ロームブロック・黒色土の混入量はわずかに、粘性ややあり、しまりなし。
- 8 黄褐色土 径1cm大のロームブロックとローム粒子が主体となり、若干の黒色土を含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 9 暗黄褐色土 8層と基本は同一も黒色土硬化ブロックを含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 10 暗黄褐色土 ローム粒子並びに径1cm大のロームブロック主体の層で、黒色土硬化ブロックを若干含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 11 暗黄褐色土 径3~8cm大のロームブロック及びローム粒子主体の層で、黒色土を若干含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 12 黄褐色土 径10cm大のロームブロック主体。隙間はローム粒子と黒色土からなる。粘性ややあり、しまりあり。
- 13 黒色土 硬化した黒色土層からなる土層。粘性ややあり、しまりあり。
- 14 黄褐色土 ロームブロックのみで構成される土層。ボロボロと崩れやすく整地土のような感がある。粘性ややあり、しまりあり。



- 1 暗黄褐色土 ローム粒子主体で黒色土も多量に含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 2 暗黄褐色土 ローム粒子主体で1層よりも多量に含む。粘性ややあり、しまりあり。
- 3 暗褐色土 黒色土主体土にローム粒子を若干含み、ロームブロック(径5mm大)を微量含む。粘性ややあり、しまりややあり。
- 1 黒褐色土 黒色土主体の土層に微量のローム粒子を含む。粘性ややあり、しまりややあり。



第 37 図 東側東山道近接部調査区土層断面図

() は推定値

種別・器種	寸法 (c m)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
	口径	器高	底径				
1 須恵器蓋	(12.4)	-	-	内外面ロクロナデ	5Y5/2 灰オリーブ	白色粒子少量	SD06
2 須恵器坏	-	-	(6.8)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ	2.5Y5/2 暗灰黄	白色粒子少量、砂粒微量	SD06
3 須恵器甕	-	-	-	内外面ロクロナデ	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子・赤色粒子微量	SD06
4 須恵器甕	-	-	-	外面：縄叩き 内面：同心円当て具痕	5GY5/1 オリーブ灰	白色粒子少量、粗砂粒微量	SZ169
5 須恵器坏	12.2	4.2	7.0	内外面ロクロナデ、底部外面回転糸切り後周縁を手持ちヘラケズリ	2.5Y7/2 灰黄	白色粒子、砂粒少量、粗砂粒微量	SX170 ほぼ完形
6 土師器坏	(13.0)	-	-	内外面黒色処理	5Y2/1 黒	白色粒子少量	
7 土師器坏	(10.2)	-	-	内外面黒色処理	5Y2/1 黒	白色粒子微量	
8 土師器坏	(13.8)	-	-	内外面口縁部ヨコナデ、体部ナデ	10YR6/6 明黄褐	黒色粒子少量、白色粒子・透明粒子・赤色粒子微量	
9 土師器甕	(13.4)	-	-	内外面ヨコナデ	2.5YR6/6 橙	透明粒子・細砂粒やや多量	
10 須恵器坏	(8.5)	-	-	内外面ロクロナデ	2.5 Y 5/3 黄褐	緻密	
11 須恵器坏	(8.4)	-	-	内外面ロクロナデ	2.5Y5/2 暗灰黄	緻密、白色粒子微量	
12 須恵器高台付坏	(14.8)	4.5	(9.5)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ後高台貼り付け	2.5Y7/2 灰黄	細砂粒微量	
13 須恵器高台付坏	-	-	-	内外面ロクロナデ 底部外面ヘラケズリ後高台貼り付け、線刻あり	5B5/1 青灰	白色粒子少量、砂粒微量	
14 須恵器坏	-	-	(9.2)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ	5Y5/1 灰	白色粒子少量	
15 須恵器坏	-	-	(8.5)	内外面ロクロナデ、底部外面手持ちヘラケズリ	7.5Y7/1 灰白	白色粒子・黒色粒子少量、砂粒微量	
16 須恵器坏	-	-	(7.8)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラ切り	5Y6/1 灰	細砂粒少量	
17 須恵器蓋	14.0	3.8	7.4	内外面ロクロナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	10B6/1 青灰	白色粒子やや多量、細砂粒少量	
18 須恵器蓋	(19.9)	-	-	内外面ロクロナデ	5G5/1 緑灰	白色粒子少量	
19 須恵器甕	-	-	-	外面：格子叩き後カキ目 内面：同心円当て具痕、一部ナデ	7.5YR5/1 灰	白色粒子少量、砂粒・粗砂粒微量	
20 須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：無文当て具痕	2.5GY5/1 オリーブ灰	白色粒子少量	
21 須恵器甕	-	-	-	外面：格子叩き後カキ目 内面：同心円当て具痕	N5/ 灰	白色粒子微量	
22 須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：同心円当て具痕、ナデ	5Y7/2 灰白	黒色粒子少量、白色粒子・砂粒微量	

第7表 東側東山道近接部調査区出土遺物観察表

(3) 政庁東側崖面付近の調査 (第38・40図)

本遺跡の東側は崖面であることから、区画施設の存在は無いものと考えられていたが、東山道を東側に見下ろすということから考えると、柵等区画施設の存在は十分考えられることから、調査を実施した。

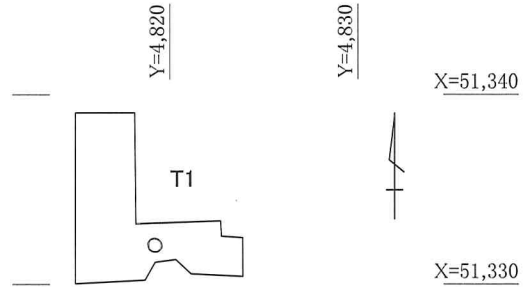
SX186 (第44図)

政庁域の東側に確認された2基の柱穴で、政庁東脇殿SB103の南東に位置する。柱穴は1.2～1.4m×0.9～1.0mで、南北方向に4.2mの間隔で並んでいる。確認面からの深さは30cmで浅い土坑である。

遺構の平面規模に比較すると、深さは僅かであることから、柱穴となる可能性は低いと考えられる。

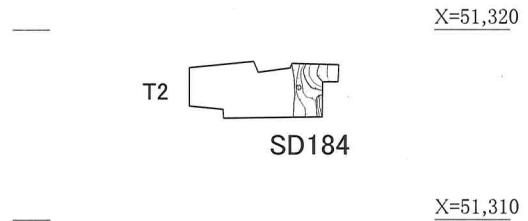
SD183 (第41・45・46図)

政庁域東側に確認された溝で、東崖に沿うように南南東へ延びることが確認された。溝の北端から北16mに2基の柱穴が位置する。掘り込みは60～65cmに及び、確認面の幅1.2m、底面の幅1.1mの箱型である。掘り直しは見られず、底面からはピット等も確認されなかった。



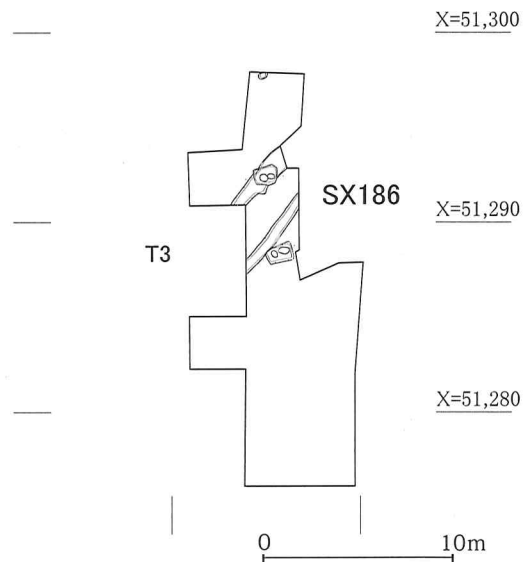
SD184 (第43図)

政庁域東側の崖際に確認された溝で、SB86の北東に位置する。掘り込みは1.1m、幅は2.3m以上に及ぶ。掘り直しが見られ、掘り直し後の土層から土師器が出土している。栃木県埋蔵文化財センターが調査し北方建物群の東端で確認された溝SD53から続く可能性が考えられる。

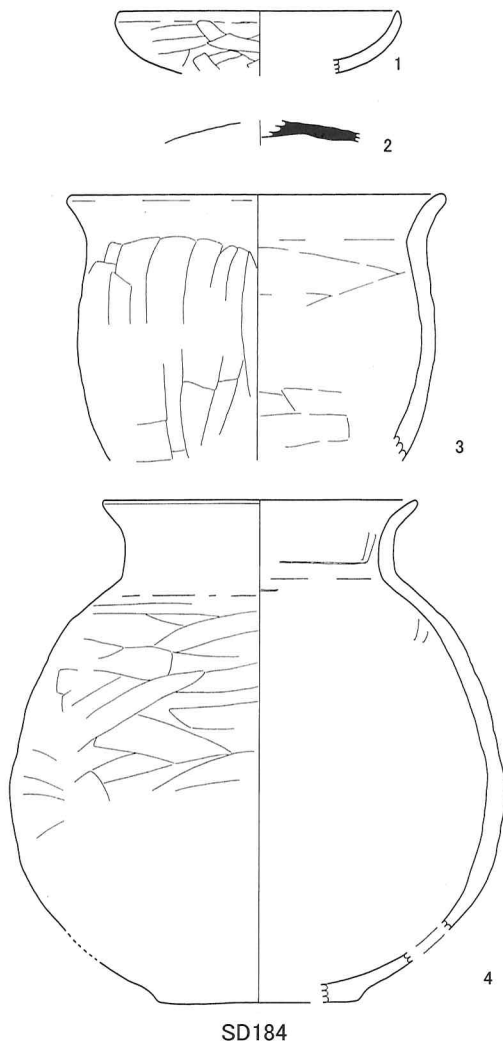


出土遺物 (第39図・第8表)

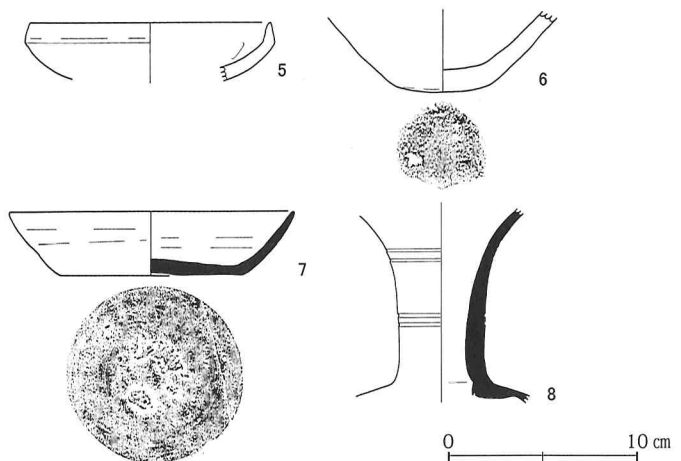
SD184からは土師器坏・甕・壺と須恵器蓋が、調査区内のその他の地点からは土師器坏・甕と須恵器坏・長頸壺がそれぞれ出土している。



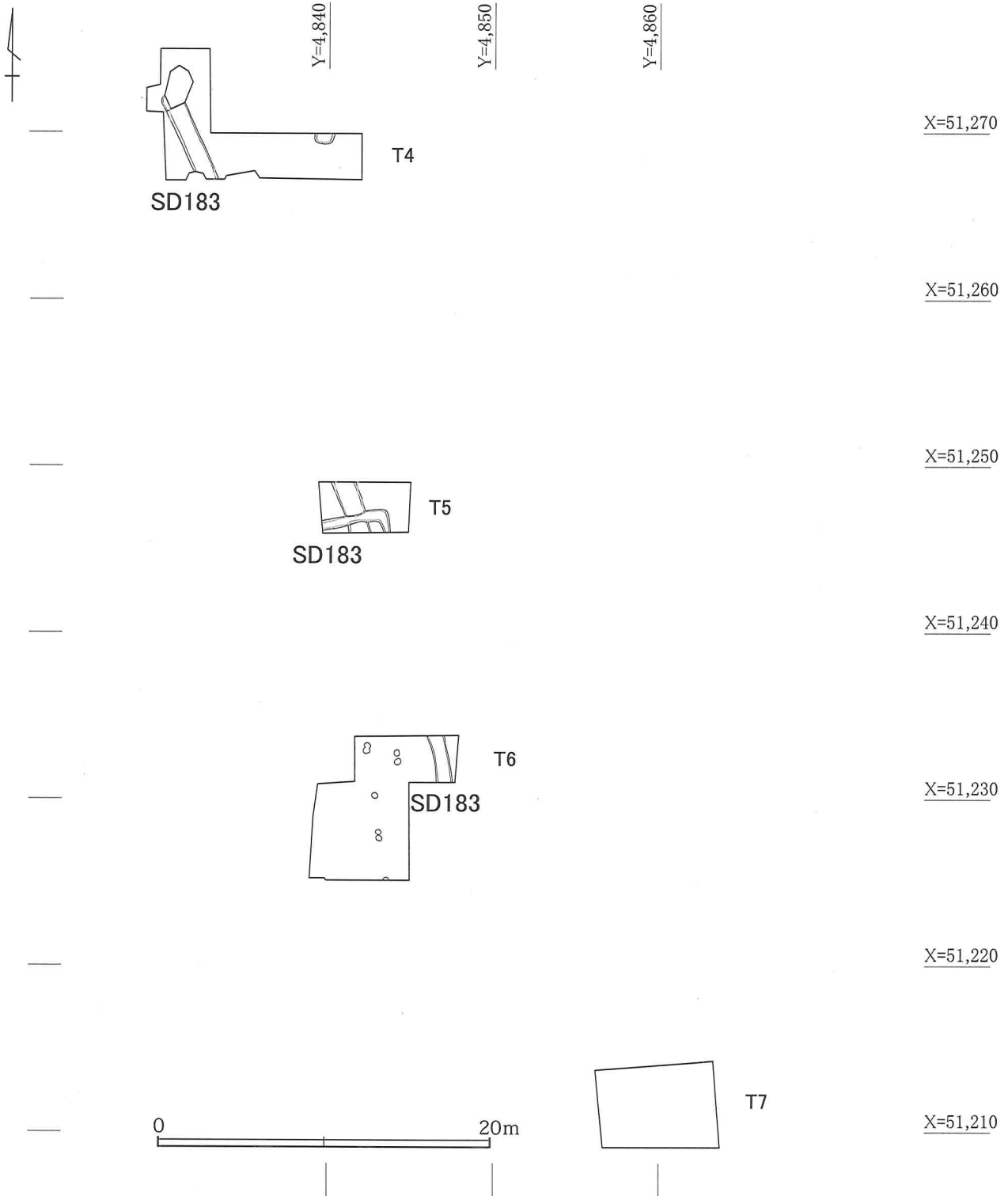
第38図 政庁東側崖面調査区遺構配置図(1)



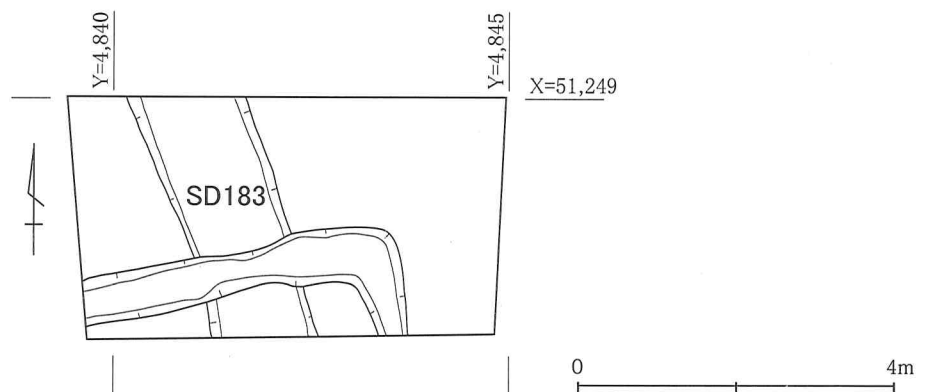
SD184



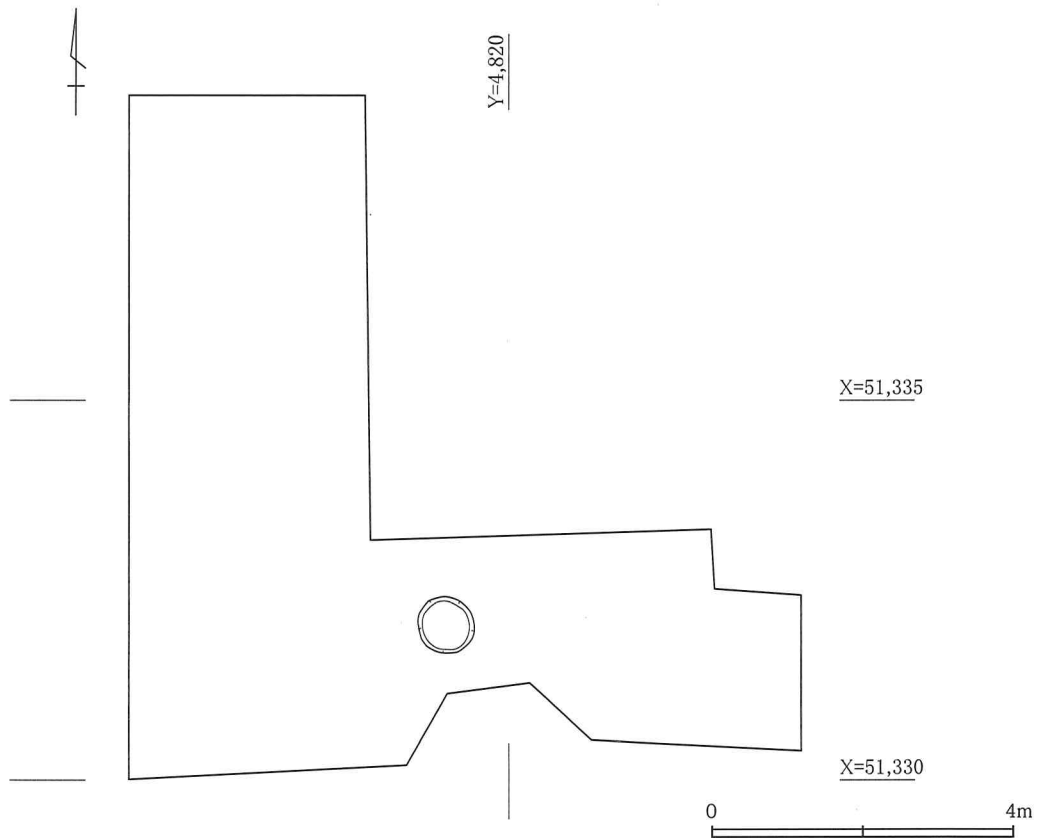
第39図 政庁東側崖面調査区出土遺物実測図



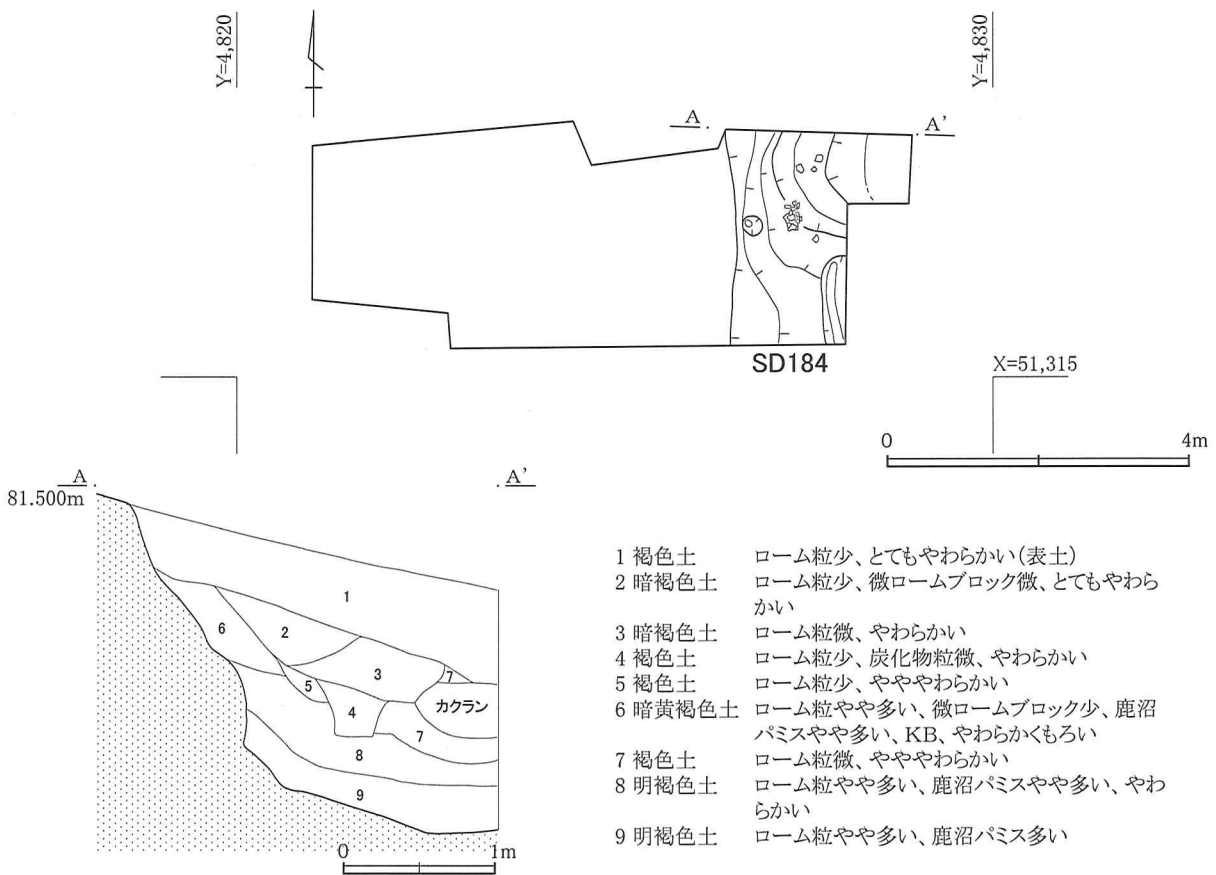
第 40 図 政庁東側崖面調査区遺構配置図 (2)



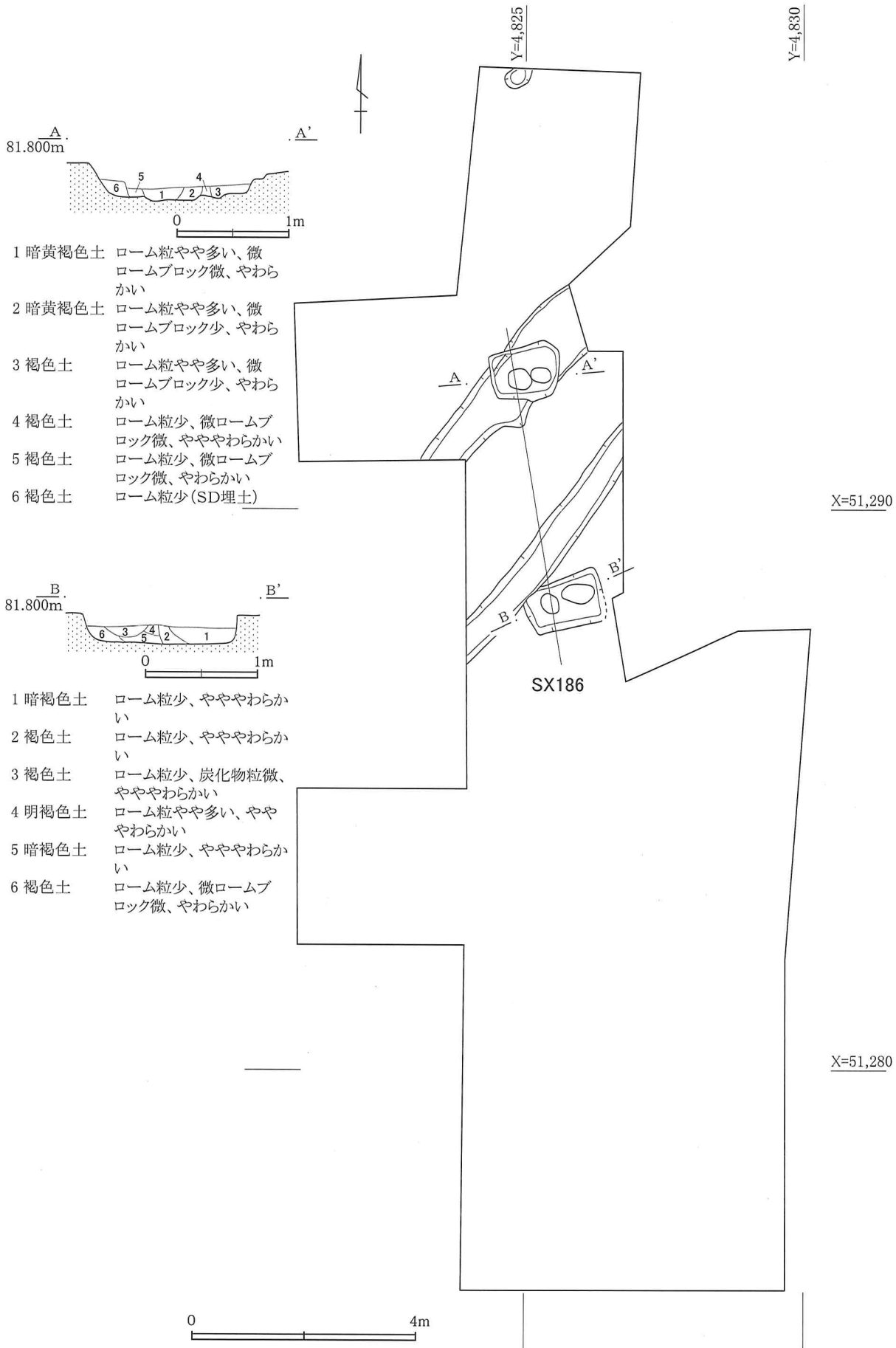
第 41 図 政庁東側崖面調査区 T5 平面図



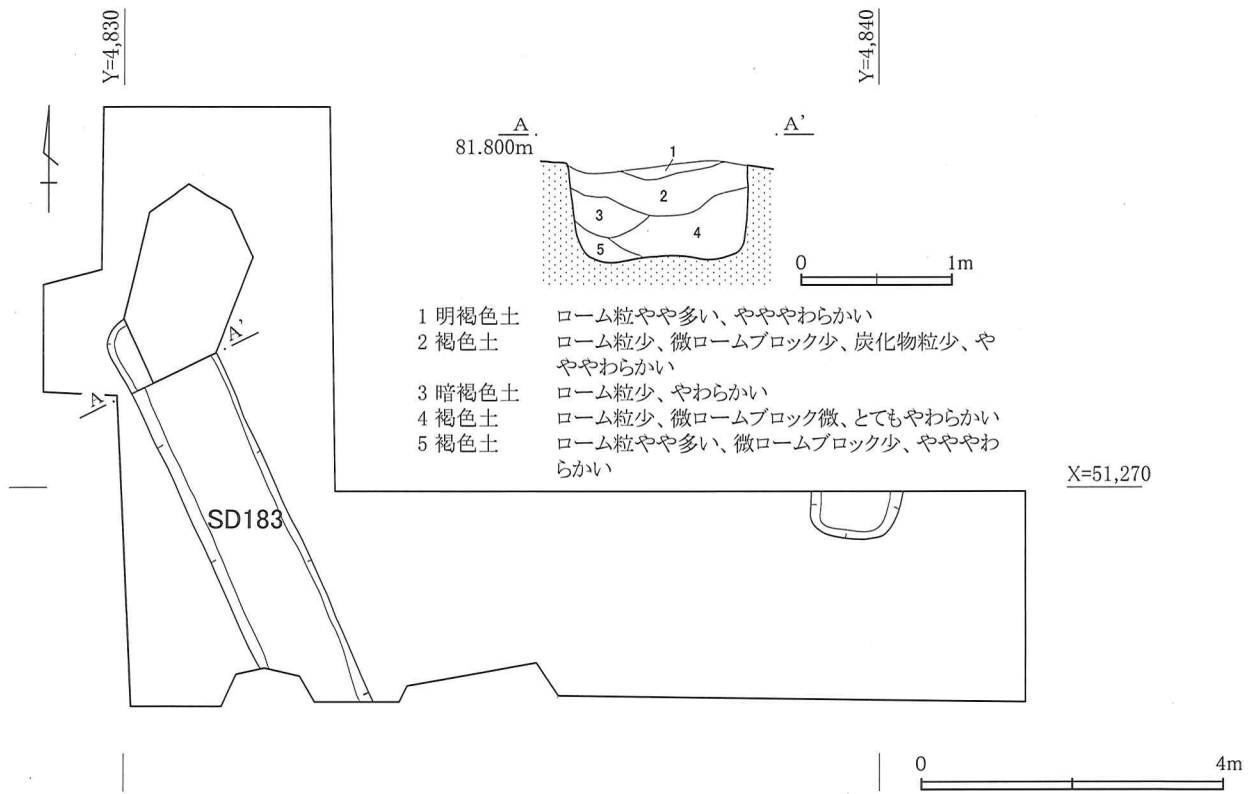
第 42 図 政庁東側崖面調査区 T1 平面図



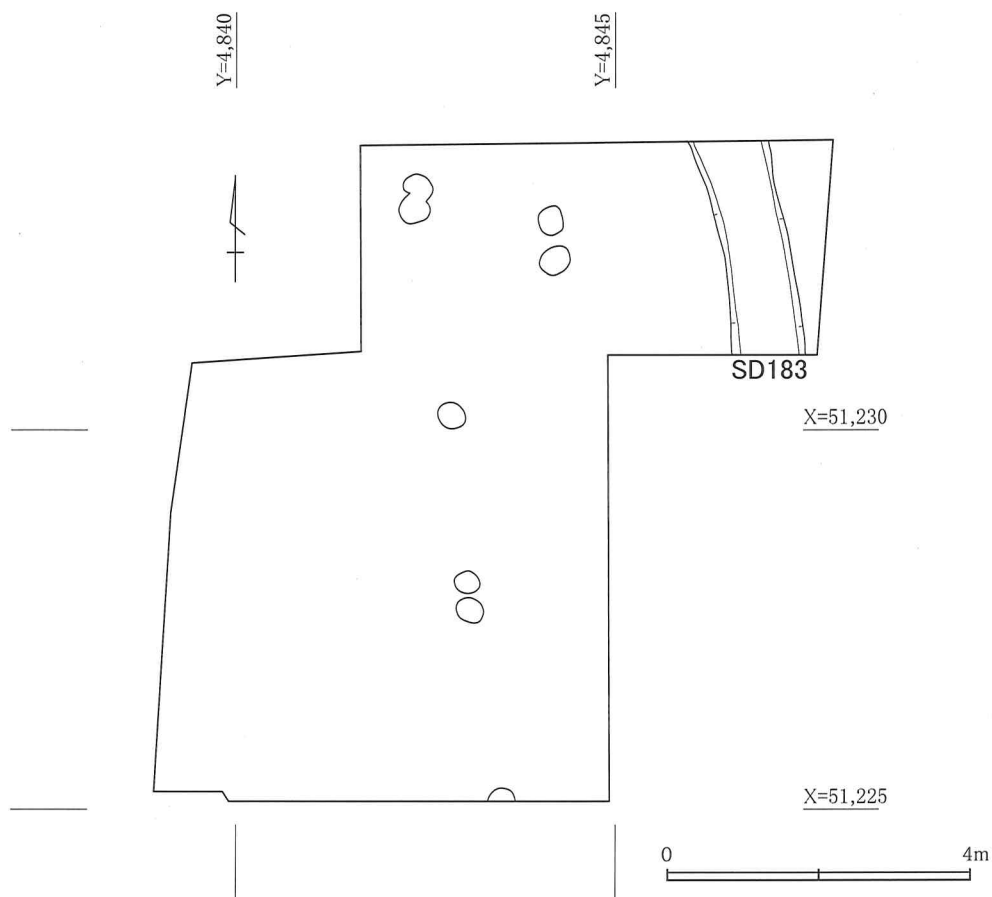
第 43 図 政庁東側崖面調査区 T2 平面図・土層断面図



第 44 図 政庁東側崖面調査区 T3 平面図・土層断面図



第 45 図 政庁東側崖面調査区 T4 平面図・土層断面図



第 46 図 政庁東側崖面調査区 T6 平面図

() は推定値

	種別・器種	寸法 (c m)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
1	土師器杯	(14.6)	(3.5)	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内面：磨滅が激しく調整不明 磨滅しているが内外面黒色処理と思われる	2.5YR7/3 浅黄	白色粒子少量	SD184
2	須恵器蓋	-	-	-	外面：回転ヘラケズリ 内面：ロクロナデ	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・細砂粒微量	SD184
3	土師器甕	(19.5)	-	-	外面：口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ 内面：口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ	2.5Y7/4 浅黄	白色粒子・細砂粒・雲母やや多量	SD184
4	土師器壺	(16.5)	(26.5)	(10.5)	外面：口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ 内面：口縁部ヨコナデ、胴部ヘラナデ	5YR6/8 橙	白色粒子・細砂粒少量、雲母・粗砂粒微量	SD184
5	土師器杯	(12.8)	(3.5)	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ナデ 内面：ヨコナデ後体部ヘラナデ	5YR7/8 橙	細砂粒少量	
6	土師器甕	-	-	4.8	内外面ナデ	10YR7/3 にぶい黄橙	雲母・赤色粒子・細砂粒少量	
7	須恵器杯	(15.0)	3.4	9.7	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ	2.5Y6/2 灰黄	白色粒子やや多量、細砂粒少量、粗砂粒微量	
8	須恵器長頸壺	-	-	-	内外面ロクロナデ、自然釉付着、頸部上位と中位にそれぞれ2条の沈線をめぐらす	5Y6/1 灰	白色粒子・細砂粒やや多量、粗砂粒微量	

第 8 表 政庁東側崖面調査区出土遺物観察表

第 5 節 文字資料確認のための低地部調査 (第 4 図④)

木簡等の文字資料確認のため、東側台地下の低地部分を調査した。調査箇所は周辺住民より、圃場整備事業実施前に池があった等の情報が寄せられ、官衙に付随する水場遺構の可能性が考えられることが指摘されたが、残念ながら調査箇所については土取が行われていた箇所であることが判明したことから、調査は終了した。

第 6 節 北側範囲確認のための調査 (第 4 7 図)

官衙北側の範囲については、南側と同様、区画溝が存在すると想定して、官衙範囲確定のための調査を実施した。

SB187 (第 4 8 ・ 4 9 図)

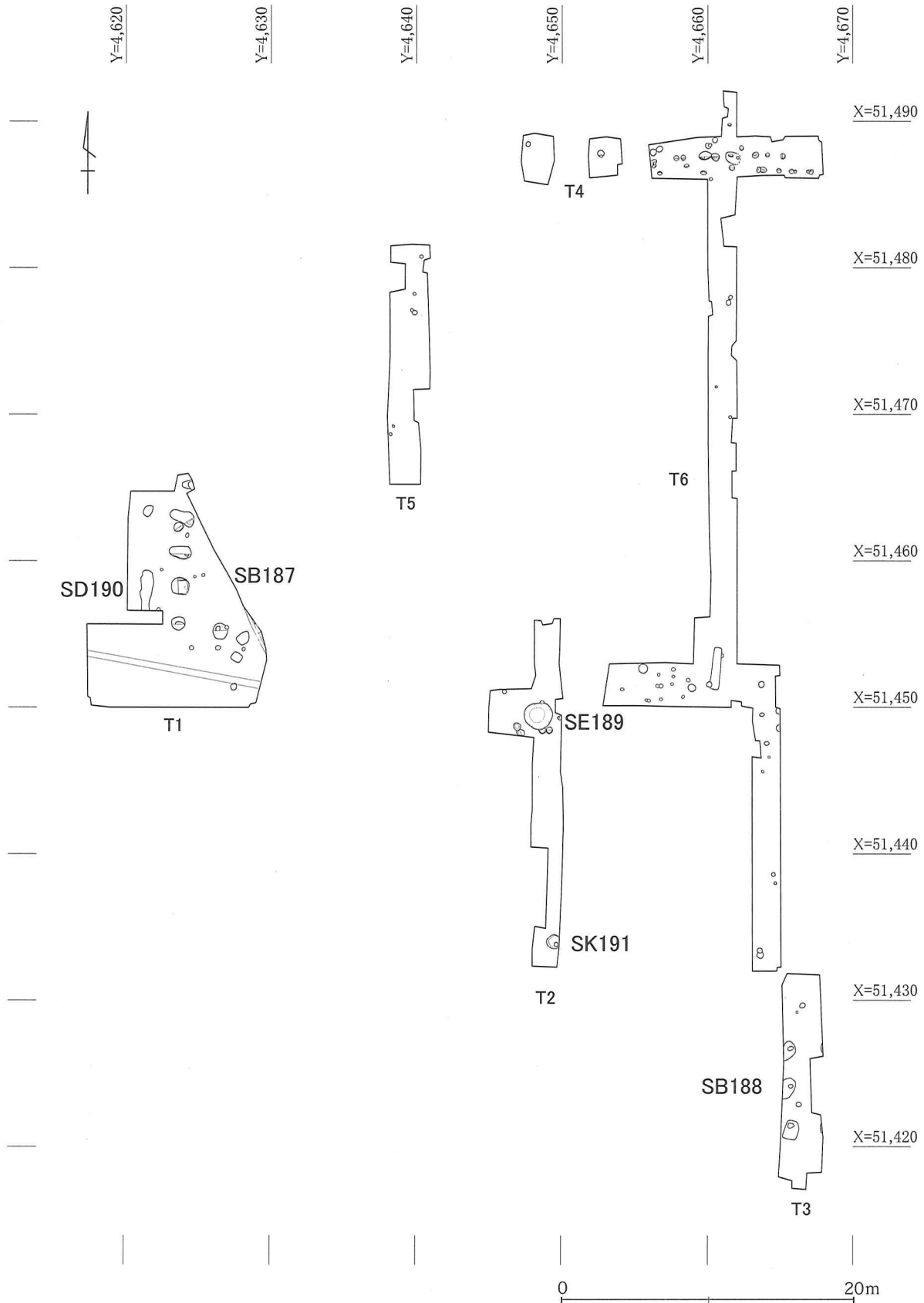
北方建物群の北西側に確認された建物跡で、西側区画溝のSD190の東2mに隣接する。4間×2間の側柱式掘立柱建物で南北棟である。桁行は9.2m、梁間は4.8m、柱穴は0.9m×1.0mの長方形や長径1.3mの楕円形であり、柱は抜き取られている。これまでの調査で一番北側に位置し、北東側のSB70と対称的な位置関係にあるものと考えられる。

SB188 (第 5 3 図)

北方建物群の北西側に確認された建物跡で、SB105・106・107の北西15mに位置する。1間以上×2間の掘立柱建物で、側柱式の東西棟と考えられる。梁間は5.2m、柱穴は長径1.3～1.5mの楕円形であり、柱は抜き取られている。なお、SB188の東に4間×2間の東西棟SB102、SB73、SB40が並んでおり、同様の建物と考えられる。

SD190 (第48図)

西側区画溝と考えられる溝で、北方建物群の北西側で3.4mの長さで確認された。掘り込みは20cm、幅は50~85cmで、北側及び南側が近年の攪乱により削平されていたことから、想定される北側区画溝へのつながりは確認されなかった。



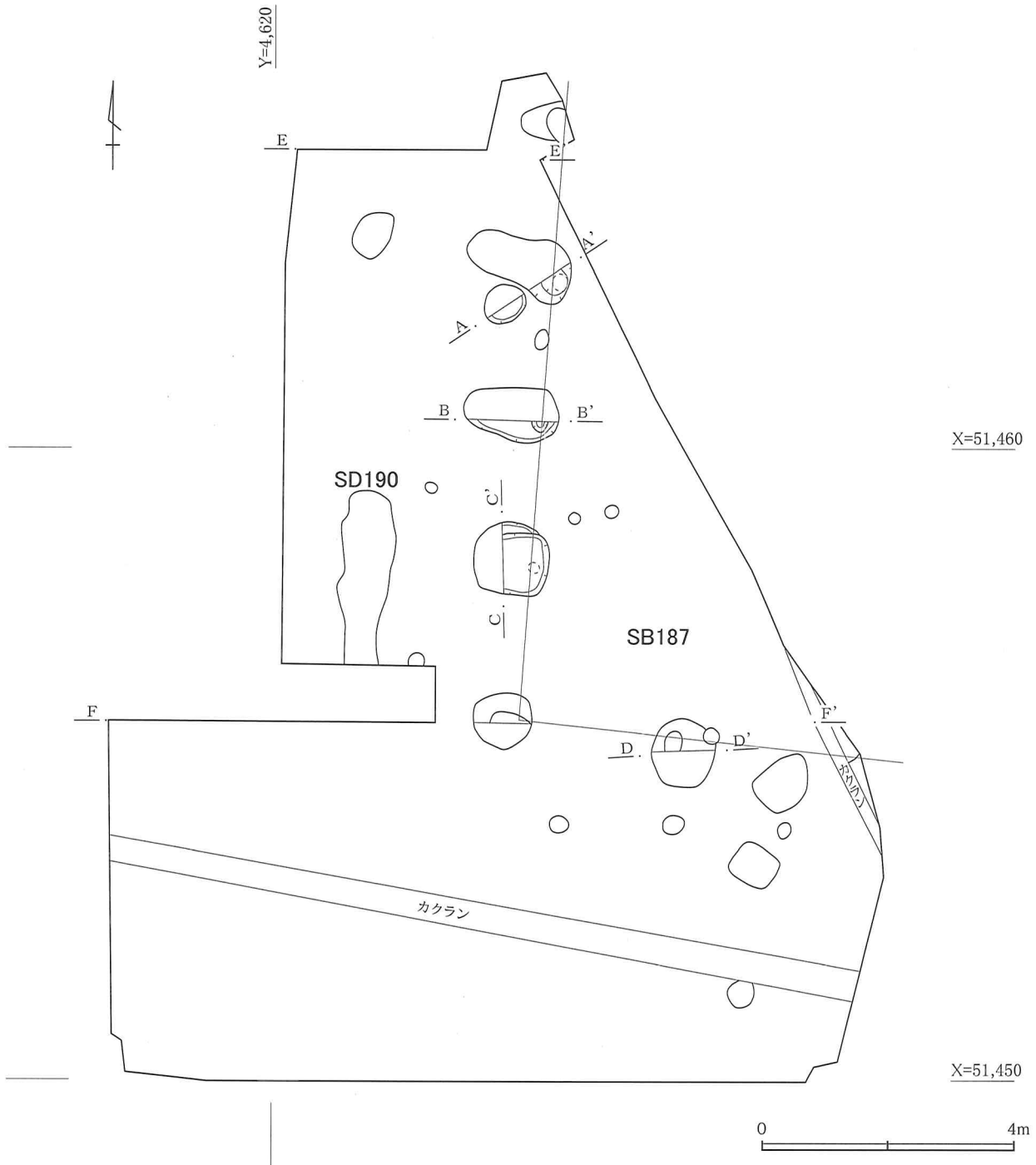
第47図 北側範囲確認調査区遺構配置図

SE189 (第50図)

北方建物群の北西側に確認された井戸跡で、SB187の南東に位置する。確認面での直径は約1.8mであるが、1.1m下で直径約1mに狭まる漏斗状の構造である。瓦片や須恵器片が出土している。

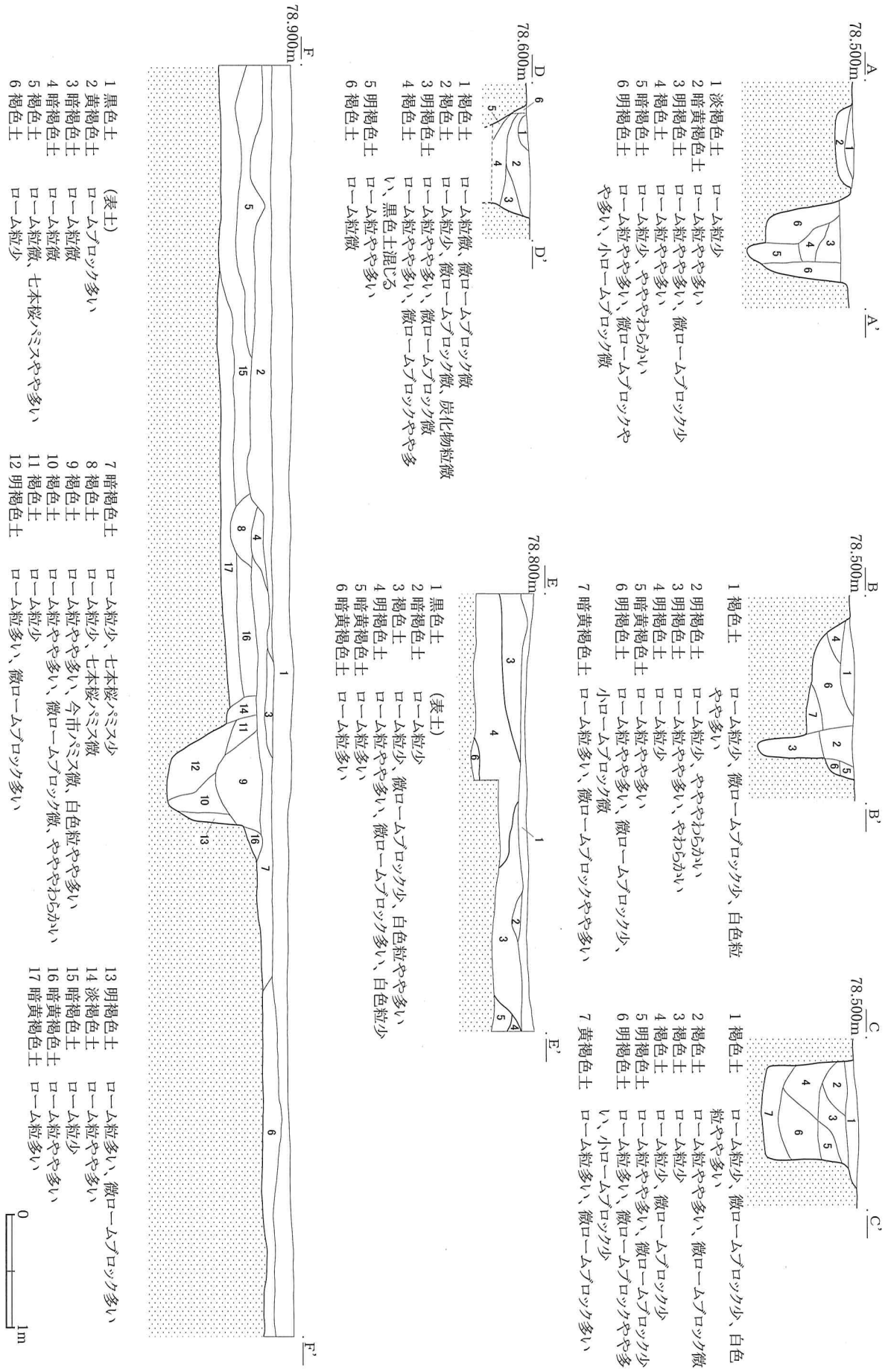
出土遺物 (第57図・第9～10表)

本調査区からは土師器坏、須恵器坏・蓋・甕が出土している。



第48図 北側範囲確認調査区 T1 平面図

図 49 北側断面上区土層構造図



- 1 淡褐色土 ローム粒少
 2 暗黄褐色土 ローム粒や多い
 3 明褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾック少
 4 褐色土 ローム粒や多い
 5 暗褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾックや
 6 明褐色土 ローム粒や多い、小ロームゾック微

- 1 褐色土 ローム粒微、微ロームゾック微
 2 褐色土 ローム粒少、微ロームゾック微、炭化物粒微
 3 明褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾック微
 4 褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾックや多い、黒色土混じる
 5 明褐色土 ローム粒や多い
 6 褐色土 ローム粒微

- 1 褐色土 ローム粒少、微ロームゾック少、白色粒
 や多い
 2 明褐色土 ローム粒少、ややわらかい
 3 明褐色土 ローム粒や多い、やわらかい
 4 明褐色土 ローム粒少
 5 暗黄褐色土 ローム粒や多い
 6 明褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾック少、
 小ロームゾック微
 7 暗黄褐色土 ローム粒多い、微ロームゾックや多い

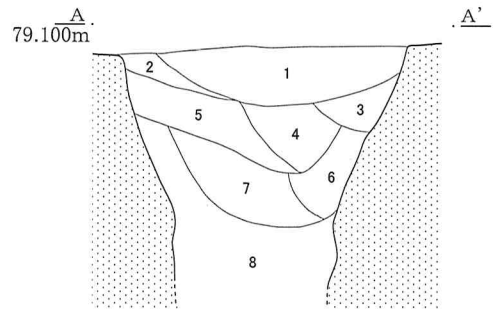
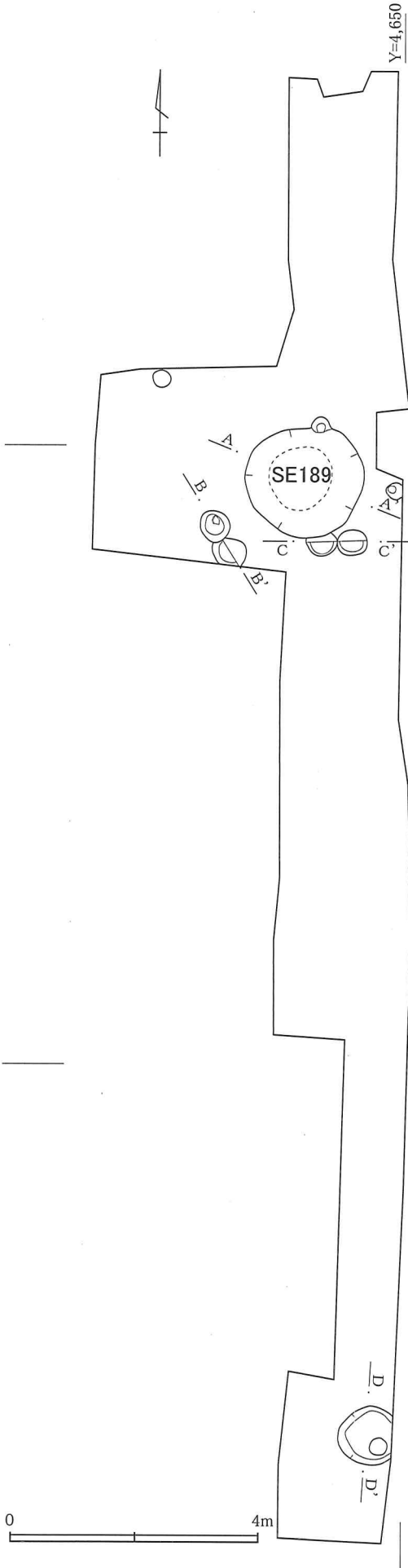
- 1 黒色土 (表土)
 2 暗褐色土 ローム粒少
 3 褐色土 ローム粒少、微ロームゾック少、白色粒や多い
 4 明褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾック多い、白色粒少
 5 暗黄褐色土 ローム粒多い
 6 暗黄褐色土 ローム粒多い

- 1 黒色土 (表土)
 2 黄褐色土 ロームゾック多い
 3 暗褐色土 ローム粒微
 4 暗褐色土 ローム粒微
 5 褐色土 ローム粒微、七本椀パミスや多い
 6 褐色土 ローム粒少

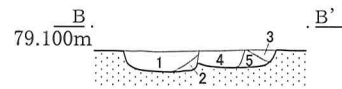
- 7 暗褐色土 ローム粒少、七本椀パミス少
 8 褐色土 ローム粒少、七本椀パミス微
 9 褐色土 ローム粒や多い、今市パミス微、白色粒や多い
 10 褐色土 ローム粒や多い、微ロームゾック微、ややわらかい
 11 褐色土 ローム粒少
 12 明褐色土 ローム粒多い、微ロームゾック多い

- 13 明褐色土 ローム粒多い、微ロームゾック多い
 14 淡褐色土 ローム粒や多い
 15 暗褐色土 ローム粒少
 16 暗黄褐色土 ローム粒や多い
 17 暗黄褐色土 ローム粒多い





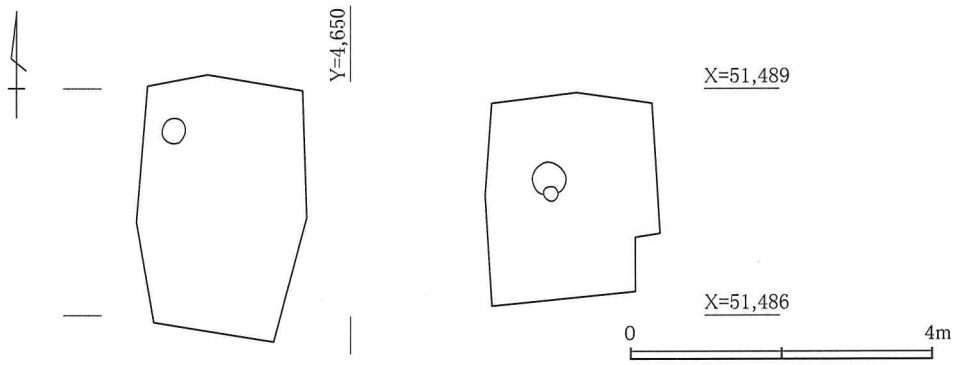
- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 1 褐色土 | ローム粒少、七本桜パミス微、今市パミス微、炭化物粒微、やややわらかい |
| 2 明褐色土 | ローム粒やや多い、七本桜パミス少、炭化物粒微、やややわらかい |
| 3 褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック微、今市パミス微、炭化物粒微、やわらかい |
| 4 褐色土 | ローム粒少、七本桜パミス微、炭化物粒微、やわらかい |
| 5 明褐色土 | ローム粒やや多い、七本桜パミス少、炭化物粒微、やわらかい |
| 6 暗黄褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック少、とてもやわらかい |
| 7 褐色土 | ローム粒やや多い、やわらかくもろい |
| 8 黄褐色土 | ローム粒多い、微ロームブロック多い、やわらかくもろい |



- | | |
|--------|-------------------------|
| 1 褐色土 | ローム粒少 |
| 2 褐色土 | ローム粒やや多い、やややわらかい |
| 3 褐色土 | ローム粒少、やわらかい |
| 4 褐色土 | ローム粒少、微ロームブロック微、やややわらかい |
| 5 明褐色土 | ローム粒やや多い、微ロームブロック微 |



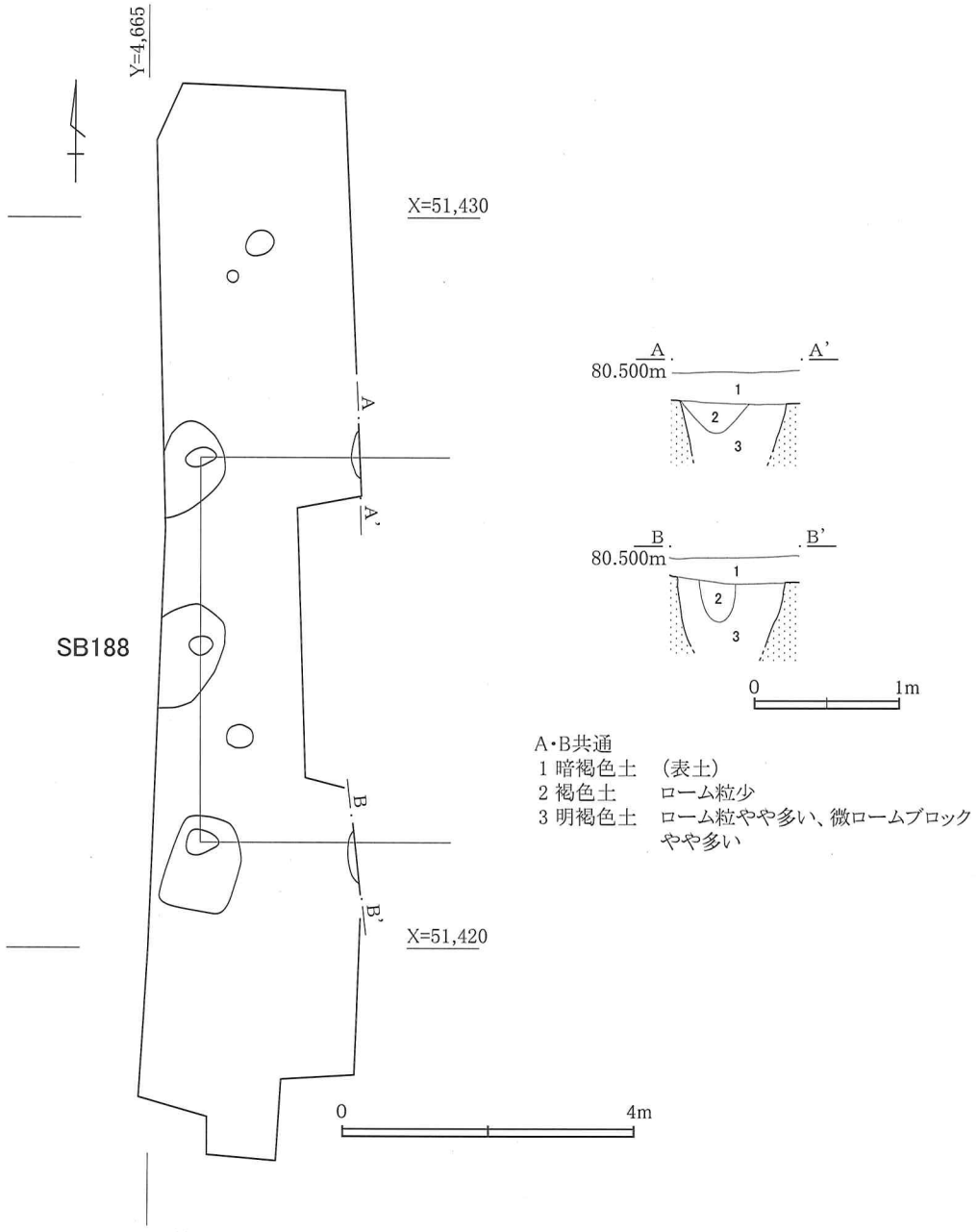
第 50 図 北側範囲確認調査区 T2 平面図・土層断面図



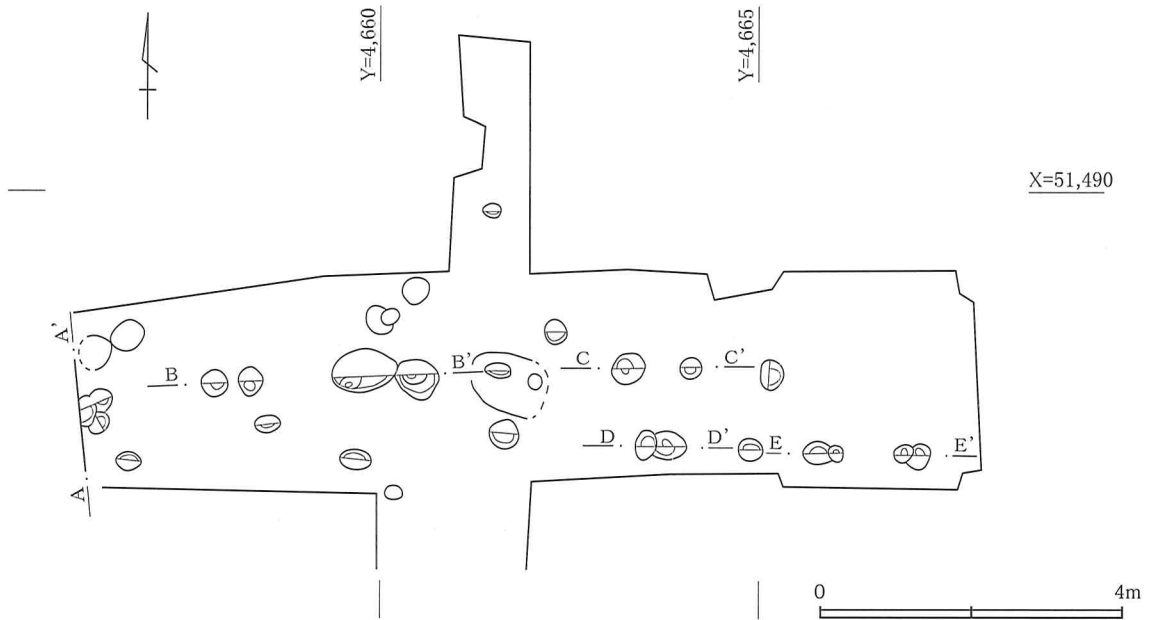
第 51 図 北側範囲確認調査区 T4 平面図



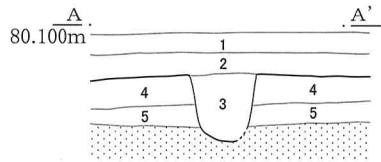
第 52 図 北側範囲確認調査区 T5 平面図



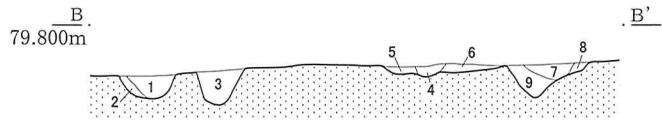
第 53 図 北側範囲確認調査区 T3 平面図・土層断面図



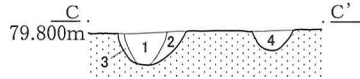
第 54 図 北側範囲確認調査区 T6 (北部) 平面図



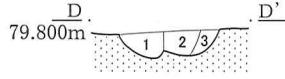
- 1 黒色土
- 2 暗褐色土 ローム粒微
- 3 暗褐色土 ローム粒少
- 4 褐色土 ローム粒少
- 5 淡褐色土 ローム粒やや多い



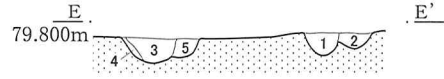
- 1 淡褐色土 ローム粒やや多い
- 2 暗黄褐色土 ローム粒多い
- 3 淡褐色土 ローム粒やや多い
- 4 淡褐色土 ローム粒やや多い
- 5 暗黄褐色土 ローム粒多い
- 6 暗黄褐色土 ローム粒やや多い
- 7 淡褐色土 ローム粒やや多い
- 8 暗黄褐色土 ローム粒やや多い
- 9 暗黄褐色土 ローム粒やや多い



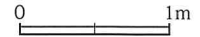
- 1 暗褐色土 ローム粒少
- 2 褐色土 ローム粒やや多い
- 3 褐色土 ローム粒やや多い
- 4 褐色土 ローム粒やや多い



- 1 褐色土 ローム粒やや多い
- 2 暗褐色土 ローム粒少
- 3 褐色土 ローム粒やや多い



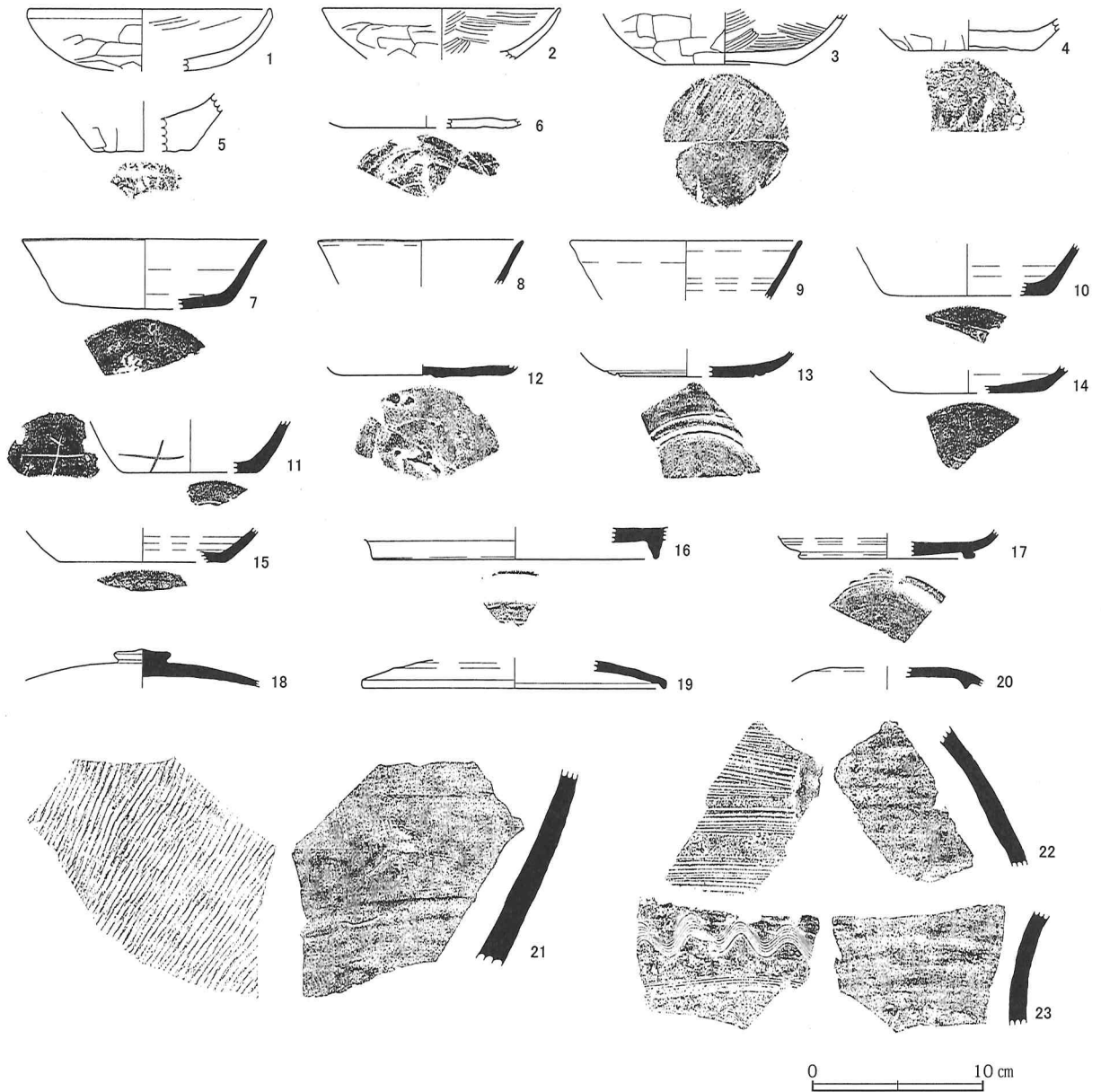
- 1 暗黄褐色土 ローム粒やや多い
- 2 暗黄褐色土 ローム粒多い
- 3 暗黄褐色土 ローム粒やや多い
- 4 暗黄褐色土 ローム粒多い
- 5 暗黄褐色土 ローム粒多い



第 55 図 北側範囲確認調査区 T6 (北部) 土層断面図



第 56 図 北側範囲確認調査区 T6 (中央部) 平面図



第 57 図 北側範囲確認調査区出土遺物実測図

() は推定値

番号	種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
1	土師器杯	(14.2)	(3.6)	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内面：ヘラミガキ	5YR5/6 明赤褐	細砂粒・白色粒子 少量、雲母微量	
2	土師器杯	(14.0)	-	-	外面：口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内面：ヘラミガキ	5YR4/6 赤褐	白色粒子・雲母や や多量、黑色粒子 少量	
3	土師器杯	-	-	7.2	外面：体部、底部ともヘラケズリ 内面： ヘラミガキ	5YR4/8 赤褐	雲母・細砂粒やや 多量、白色粒子少 量	
4	土師器甕	-	-	(7.5)	外面：体部下端ヘラケズリ、底部ナデ後 周縁部ヘラケズリ 内面：ナデ	外面：10YR4/2 灰黄褐 内 面：10YR8/3 浅黄橙	赤色粒子・白色粒 子・細砂粒やや多 量、雲母少量	
5	土師器甕	-	-	(5.5)	外面：ヘラケズリ 内面：ナデ	5YR5/6 明赤褐	白色粒子やや多 量、赤色粒子・雲 母少量	
6	土師器杯	-	-	(10.0)	外面：回転ヘラ切り 内面：ナデ	10YR7/4 にぶ い黄橙	細砂粒少量、粗砂 粒微量	

第 9 表 北側範囲確認調査区出土遺物観察表 (1)

() は推定値

番号	種別・器種	寸法 (cm)			器形・手法の特徴	色調	胎土	備考
		口径	器高	底径				
7	須恵器坏	(14.4)	4.1	(9.5)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラ切り後ナデ	5Y6/1 灰	白色粒子・砂粒微量	内外面の一部に煤付着
8	須恵器坏	(12.0)	-	-	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ後一部縦方向のナデ	5Y8/1 灰白	細砂粒・赤色粒子・黒色粒子微量	
9	須恵器坏	(13.6)	-	-	内外面ロクロナデ	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子やや多量、細砂粒微量	SE189
10	須恵器坏	-	-	(9.0)	内外面ロクロナデ、底部外面ヘラナデ	5Y6/1 灰	白色粒子・砂粒微量	
11	須恵器坏	-	-	(8.0)	外面：体部ロクロナデ、「十」字状のヘラ書き、底部回転ヘラケズリ 内面：ロクロナデ後ヘラナデか	7.5 Y 5/1 灰	白色粒子少量、砂粒微量	
12	須恵器坏	-	-	(9.4)	外面：回転ヘラ切り 内面：ナデ	5Y8/1 灰白	細砂粒少量、砂粒微量	
13	須恵器坏	-	-	(8.0)	内外面ロクロナデ、体部下端～底部に2条の沈線	5Y8/1 灰白	細砂粒やや多量	
14	須恵器坏	-	-	(9.0)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラ切り後周縁部ヘラケズリ	5Y5/1 灰	白色粒子やや多量、砂粒微量	
15	須恵器坏	-	-	(10.0)	内外面ロクロナデ、外面に自然釉	5Y4/1 灰	細砂粒少量	
16	須恵器高台付皿？	-	-	(16.7)	内面・高台部分ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ 内面に灰、高台先端部に自然釉付着	N5/ 灰	白色粒子少量	
17	須恵器高台付坏	-	-	(10.2)	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリ後高台貼り付け	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・細砂粒微量	
18	須恵器蓋	-	-	-	内外面ロクロナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	N5/ 灰	白色粒子多量、砂粒・粗砂粒微量	
19	須恵器蓋	(17.8)	-	-	内外面ロクロナデ、天井部外面回転ヘラケズリ 口縁部内面に約5mm幅で自然釉付着	2.5Y6/1 灰黄	細砂粒少量、砂粒微量	
20	須恵器蓋	-	-	-	内外面ロクロナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	10YR5/3 にぶい黄褐	白色粒子・細砂粒少量	
21	須恵器甕	-	-	-	外面：平行叩き 内面：ナデ、一部にハケ目状工具痕	外面：N5/ 灰 内面：2.5Y5/2 暗灰黄	白色粒子やや多量、砂粒少量	SE189 南西ピット
22	須恵器甕	-	-	-	外面：カキ目、粘土を貼りつけた耳？の一部あり、灰付着 内面：ナデ	外面：7.5Y2/2 オリーブ黒 内面：7.5Y5/1 灰	白色粒子やや多量、粗砂粒少量	
23	須恵器甕	-	-	-	外面：7条1単位の波状文と平行沈線文 内面：ナデ	外面：10YR4/1 褐灰 内面：2.5Y5/3 黄褐	雲母多量、赤色粒子やや多量白色粒子・砂粒少量	

第10表 北側範囲確認調査区出土遺物観察表 (2)

第4章 瓦類の報告

本遺跡で出土した瓦の総量は9,643kgで、これらのほとんどはSB01及びその南側を中心とした周辺で出土したものであり、SD26においても多く出土している。出土している瓦類は鏡瓦・宇瓦・女瓦・男瓦・道具瓦である。

第1節 鏡瓦・宇瓦

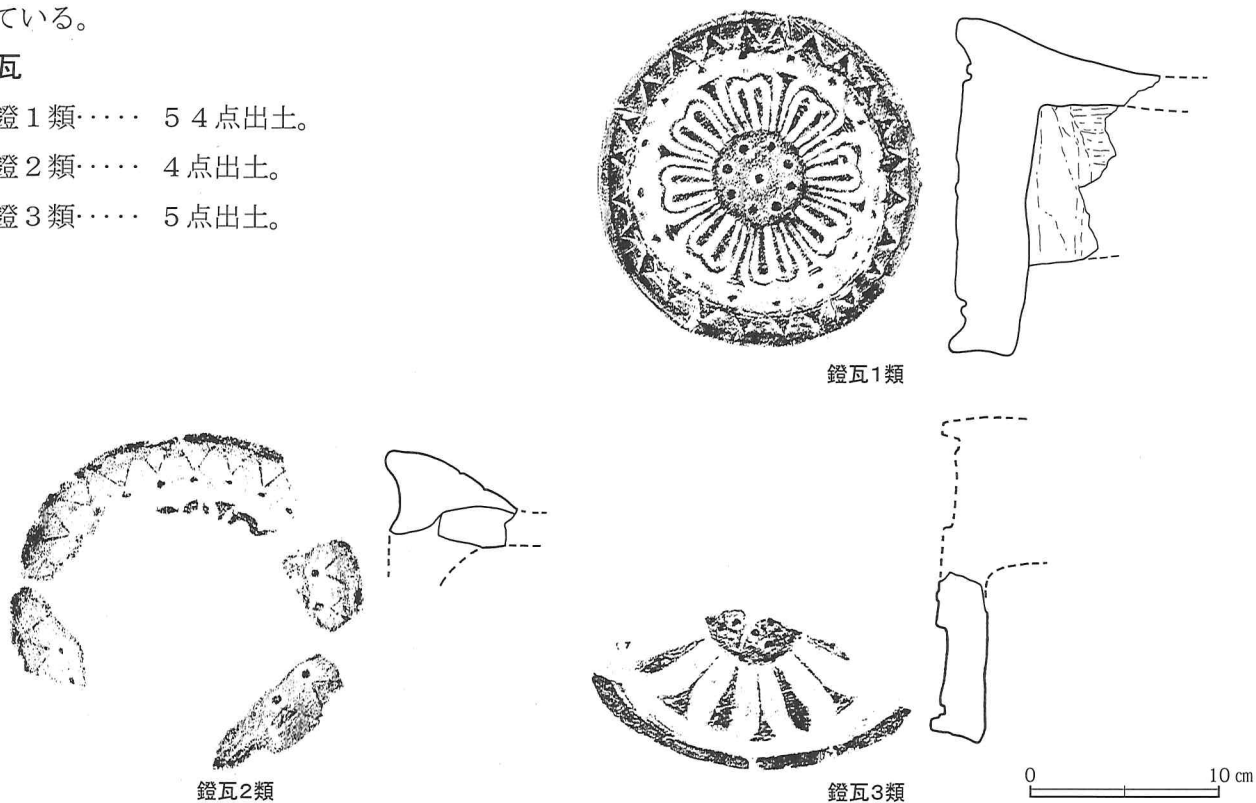
鏡瓦については前回の報告同様3型式が、宇瓦は前回の報告の3型式に加え、新たに1型式が確認されている。

鏡瓦

鏡1類…… 54点出土。

鏡2類…… 4点出土。

鏡3類…… 5点出土。



第58図 鏡瓦実測図

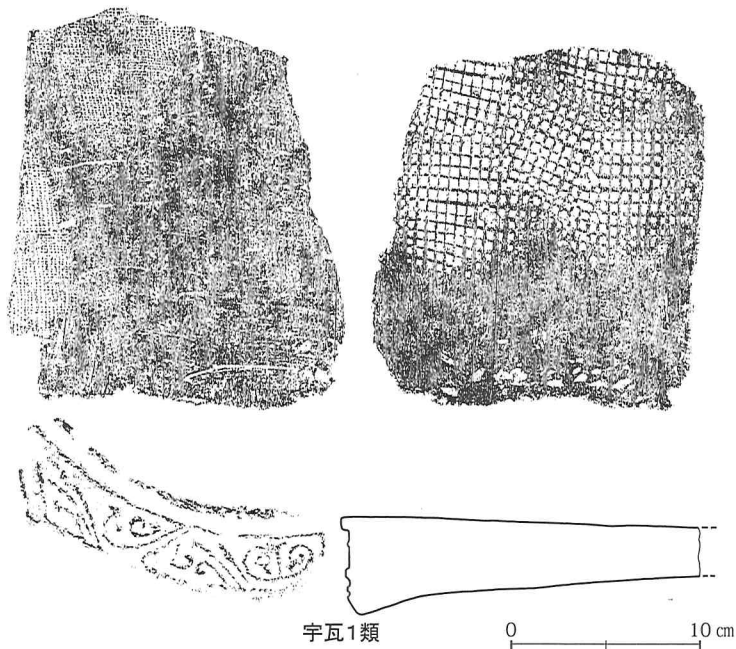
宇瓦

宇1類…… 31点出土。

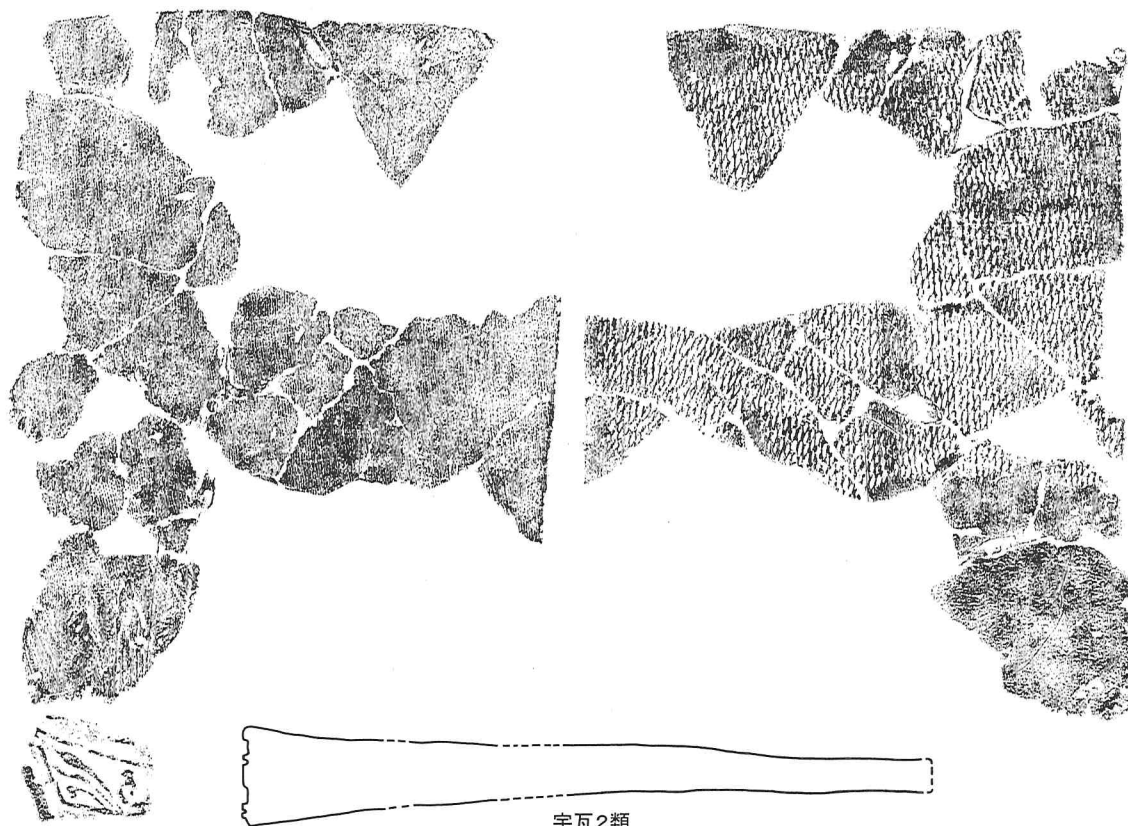
宇2類…… 4点出土。

宇3類…… 5点出土。

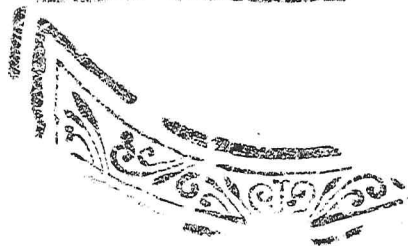
宇4類…… 均等唐草文で1点出土している。前回の報告書刊行後確認されたものである。他遺跡では、下野国分僧寺2類又は3類と同範である。



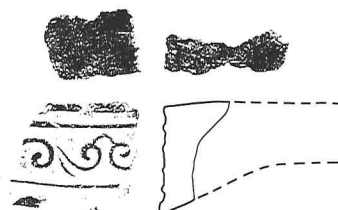
第59図 宇瓦実測図(1)



宇瓦2類



宇瓦3類



宇瓦4類



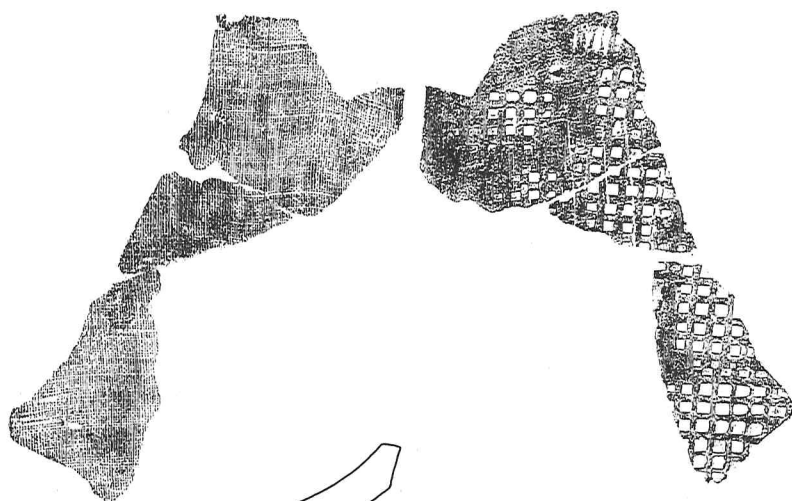
第60図 宇瓦実測図(2)

第2節 女瓦・男瓦

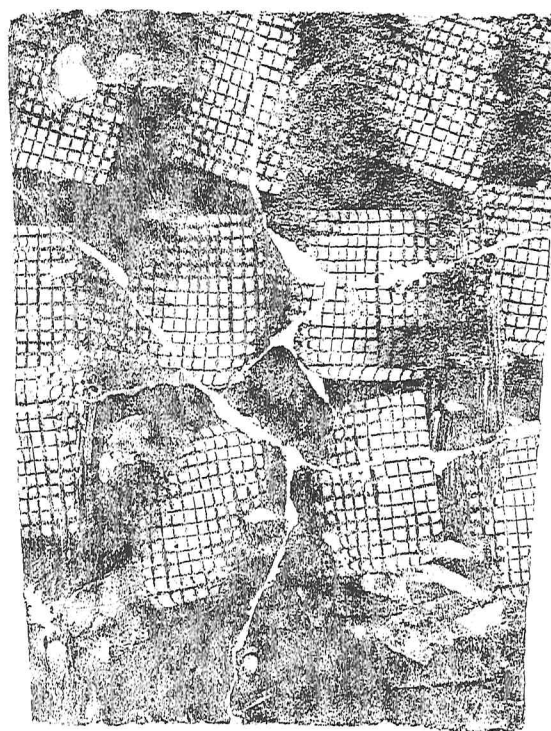
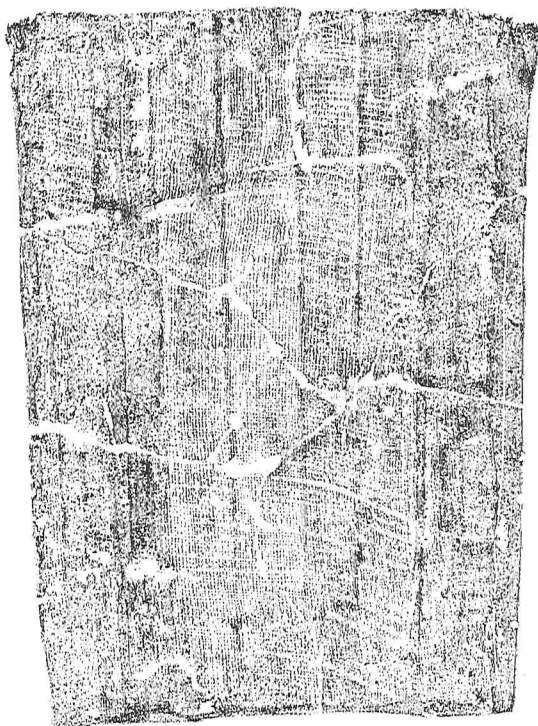
女瓦については新たに確認された型押文はなく、男瓦についても新たに確認されたものはないが、外面を手で叩かれたもの（第67図）が1点出土している。型押文の分類は1,384kgを対象に行なったが、傾向としては過去の所見と大きな変更は無い。文字が刻まれている21B・21C・42の3点で66.4%と大部分を占めている。

型押番号	格子の数	重量 (g)	比率 (%)	備考
20	13 × 13	130,670	9.4	
21A	14 × 18	62,190	4.5	
21B	14 × 18	309,989	22.4	文字瓦
21C	12 × 17	355,384	25.7	文字瓦
22B	15 × (21)	28,374	2.0	
23	17 × 18	52,854	3.8	
37	13 × 16	18,345	1.3	
42	13 × 13	253,657	18.3	文字瓦
45	13 × (14)	136,744	9.9	
53	15 × 13	18,880	1.4	
75	10 × 11	12,456	0.9	
76	11 × (11)	5,172	0.4	
計		1,384,715		

第 11 表 女瓦型押文一覧



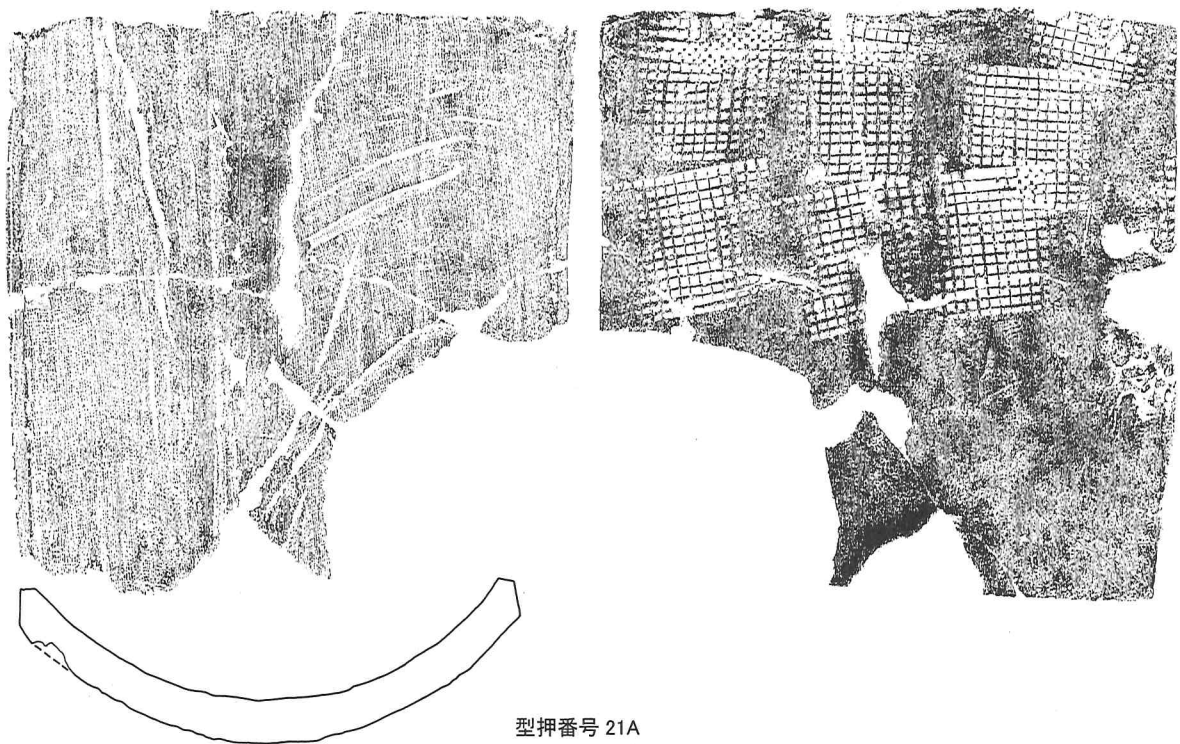
型押番号 16



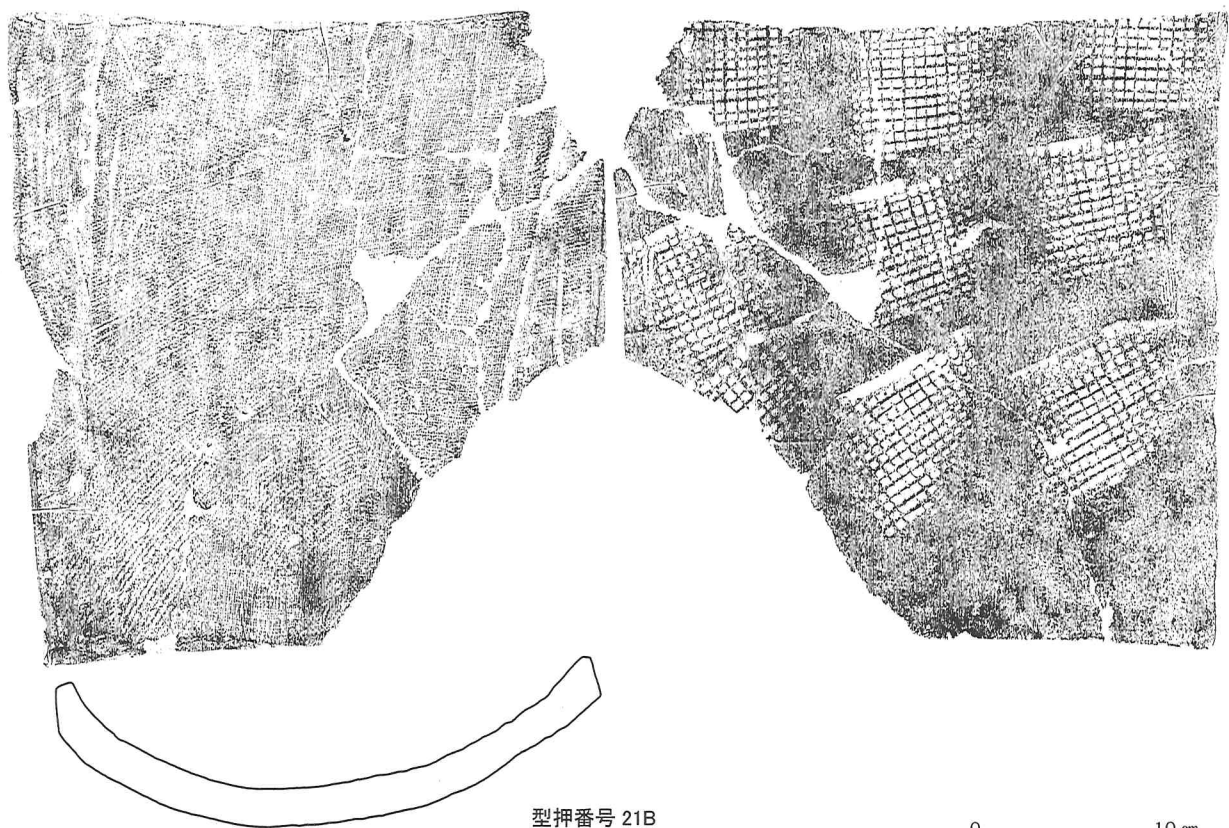
型押番号 20

0 10 cm

第 61 図 女瓦実測図 (1)



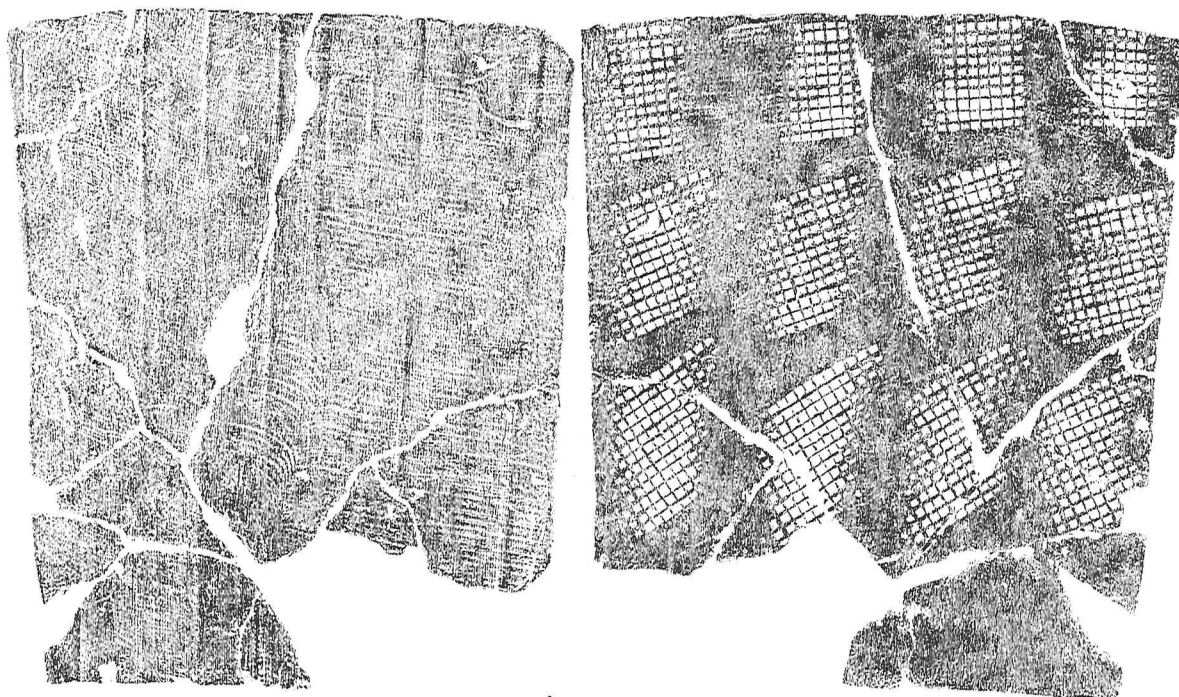
型押番号 21A



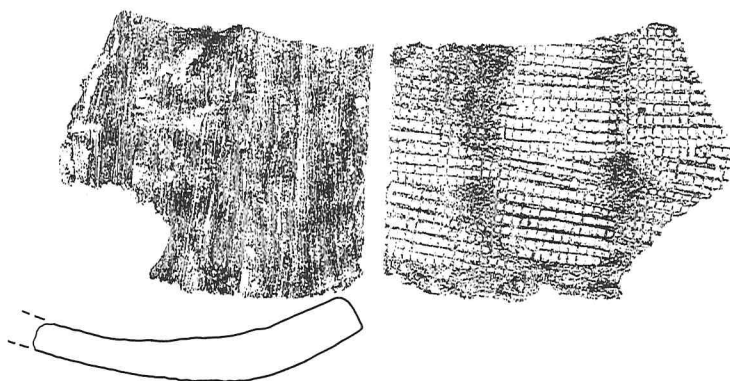
型押番号 21B

0 10 cm

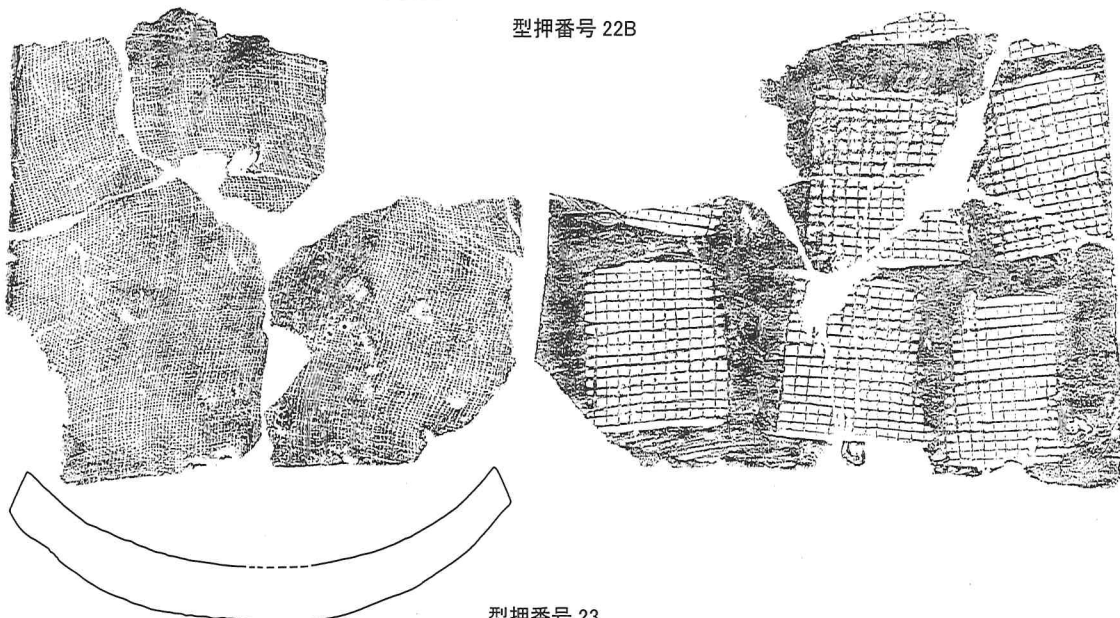
第 62 図 女瓦実測図 (2)



型押番号 21C



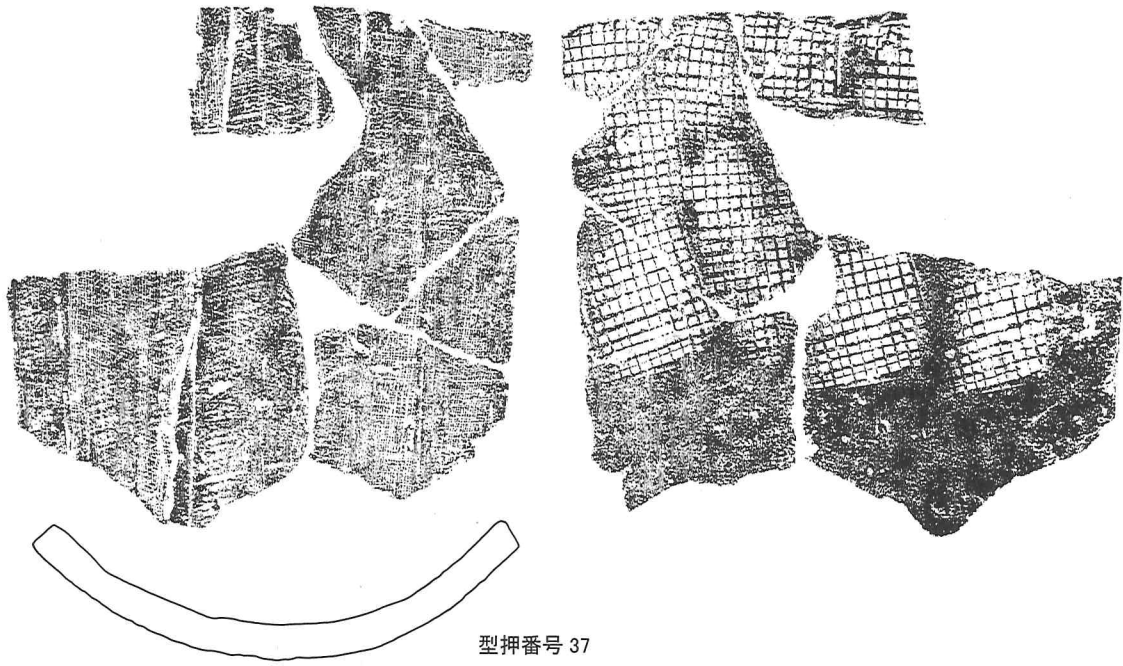
型押番号 22B



型押番号 23



第 63 图 女瓦実測图 (3)



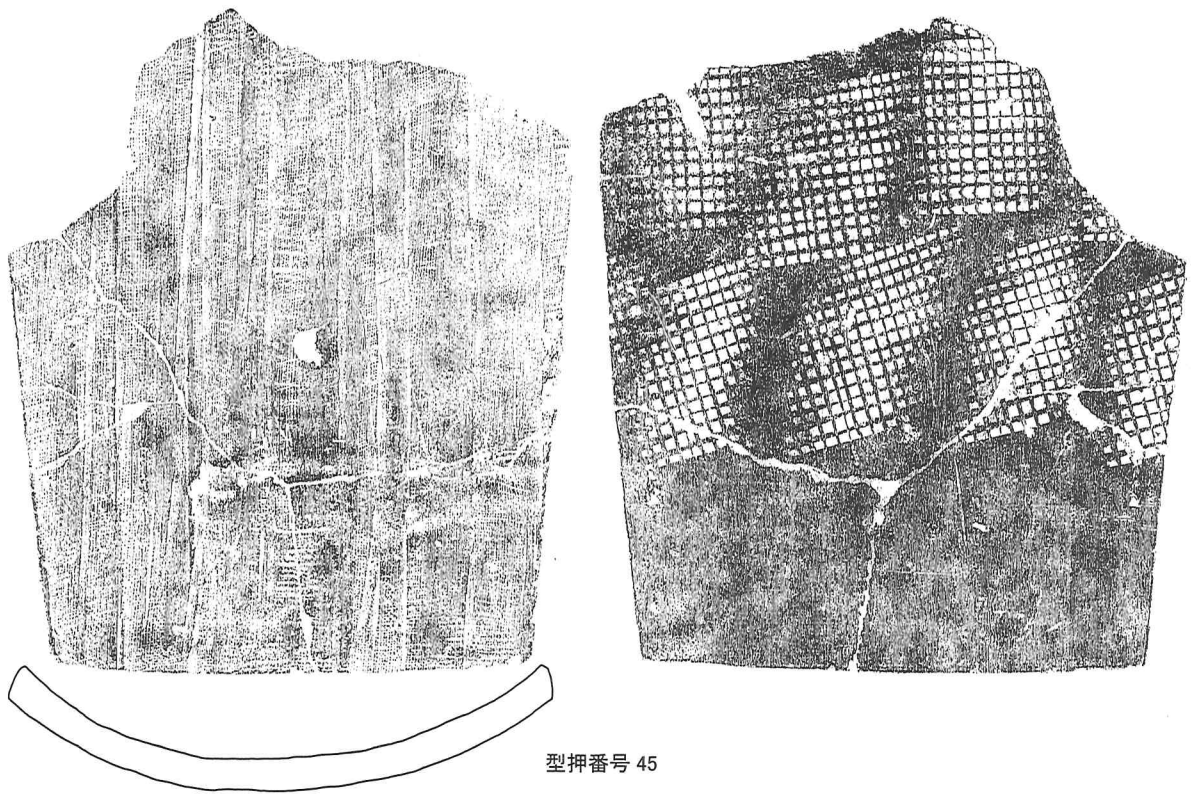
型押番号 37



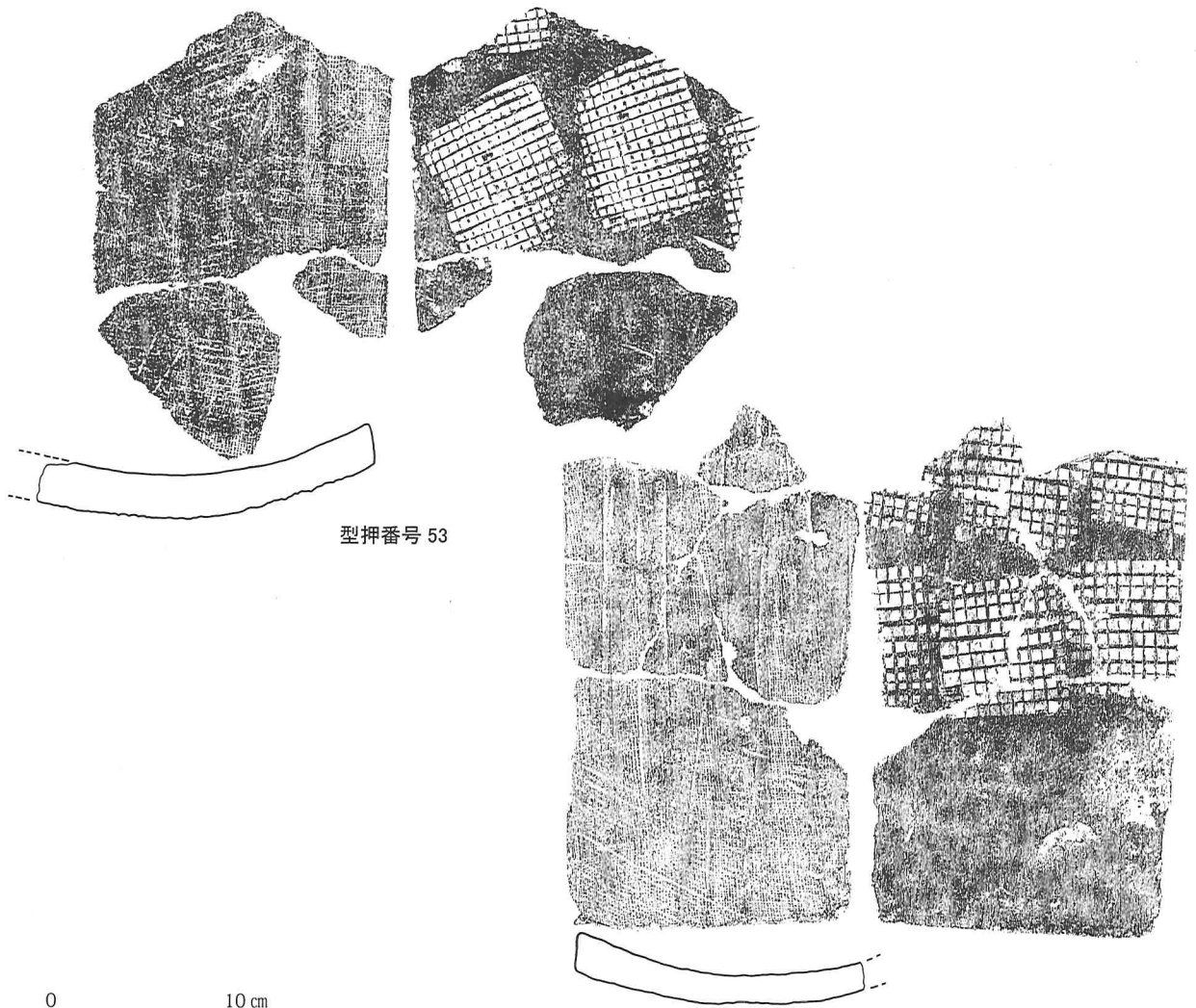
型押番号 42

0 10 cm

第 64 图 女瓦実測图 (4)



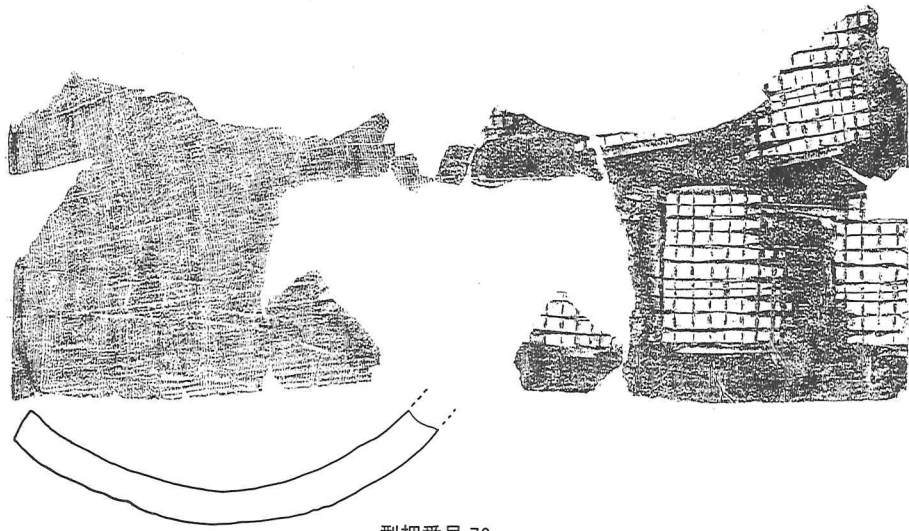
型押番号 45



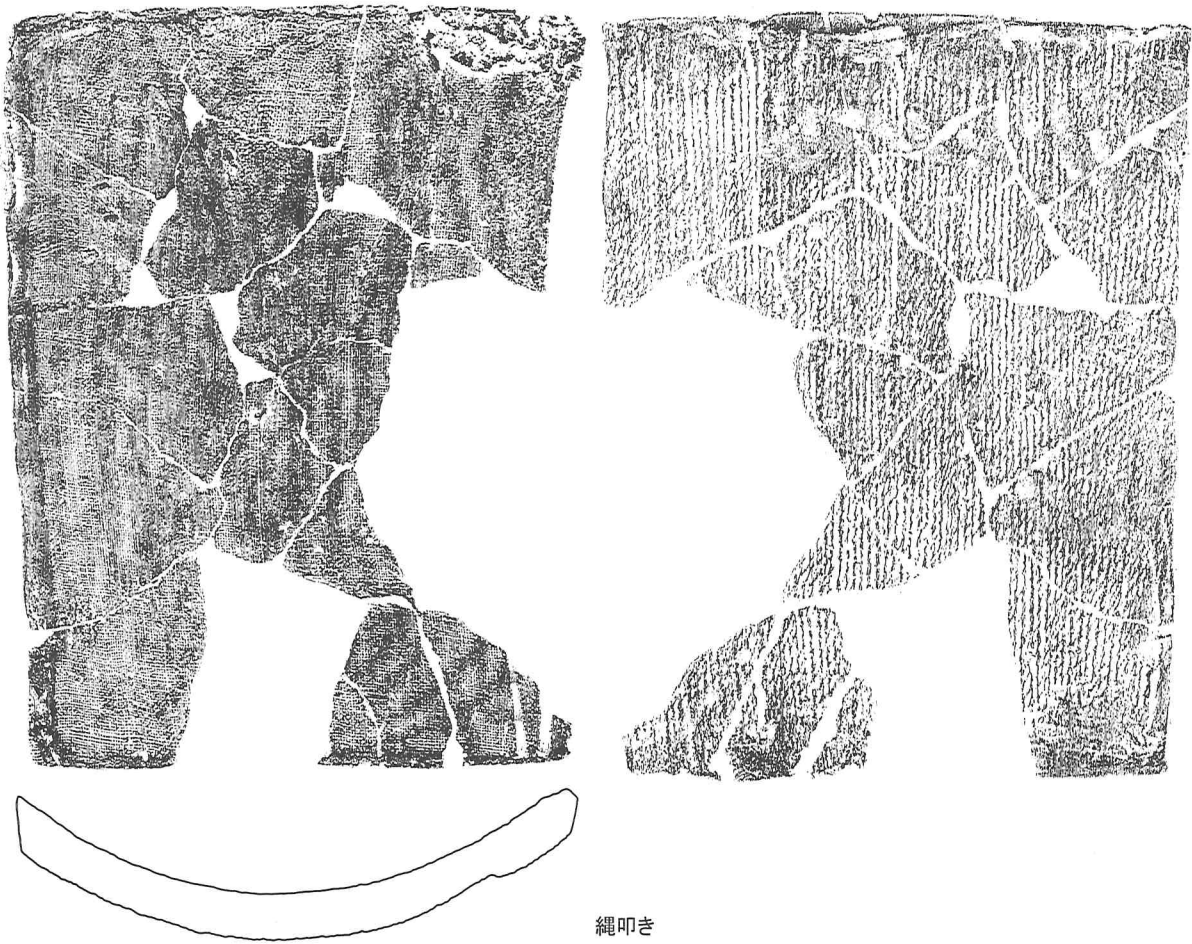
型押番号 53

型押番号 75

第 65 图 女瓦実测图 (5)



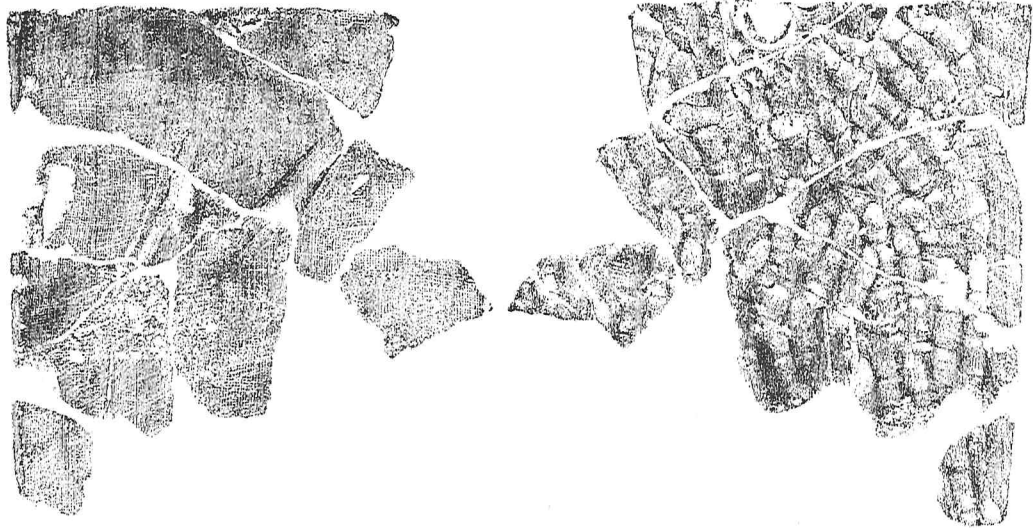
型押番号 76



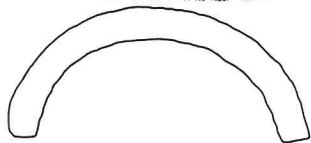
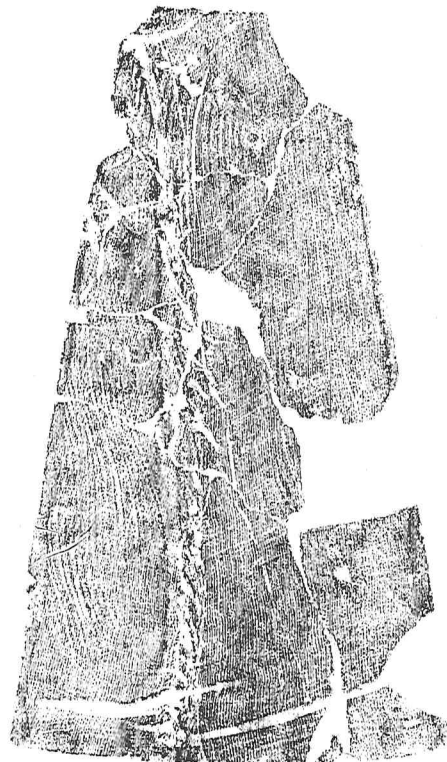
縄叩き

0 10 cm

第 66 図 女瓦実測図 (6)



手叩き



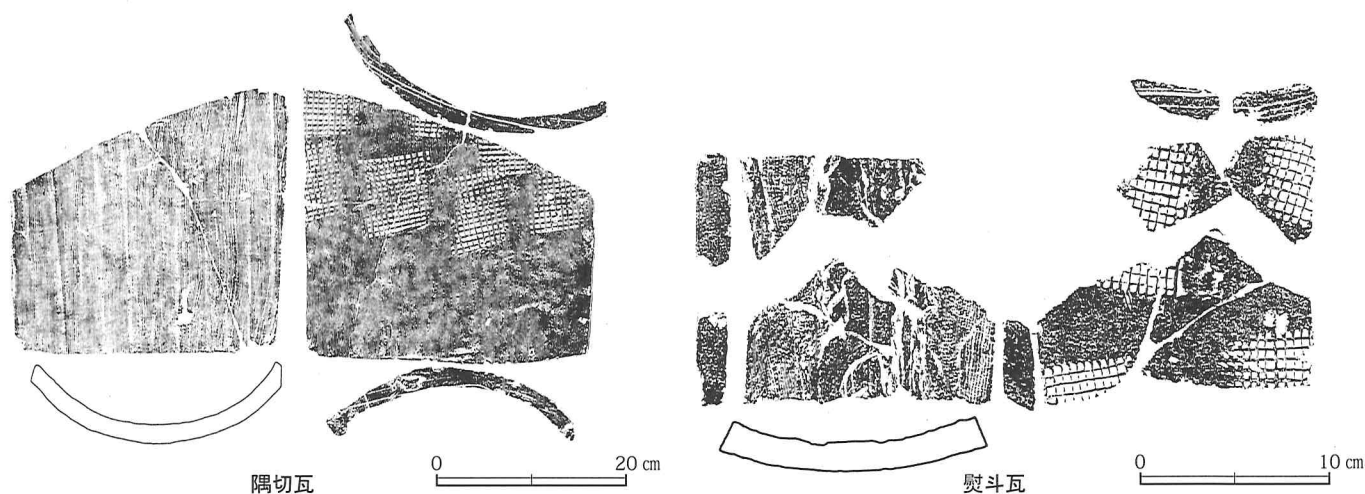
男瓦



第 67 図 女瓦実測図 (7)・男瓦実測図

第3節 道具瓦

前回の報告書刊行以降、隅切瓦が10点、熨斗瓦が1点が出土しているが、他の瓦については確認できなかった。



第68図 道具瓦実測図

第4節 文字瓦

瓦に文字を刻字した文字瓦は、前回の報告以降、新たに1,143点確認されている（巻末の文字瓦一覧参照）。前回の報告分を含め氏が確認できるものは775点あるが、「酒」が34.2%で最も多く、続いて「雀」が17.5%、「白」が10.3%と続いている。今回の発掘調査において新たに確認された文字瓦は、5「氏家□万呂」、22「鏡造鳥」、26「神主マ弟」、44「木マ古万呂」、50「木マ大伴」、66「三枝マ鳥」、90「酒マ小赤男」、97「酒マ若古」、138「白鳥」、150「丈マ万呂」、170「丹鳥万」、181「爲手」の12点である。

氏	出土点数	比率 (%)	氏	出土点数	比率 (%)
氏	14	1.8	酒	265	34.2
宇遅	6	0.8	雀	136	17.5
大伴	1	0.1	白	80	10.3
大麻	43	5.5	財	1	0.1
鏡造	2	0.3	丹人	1	0.1
神主	34	4.4	丈	55	7.1
川和	18	2.3	物	8	1.0
木	60	7.7	矢田	21	2.7
君麻	7	0.9	若麻	4	0.5
君子	11	1.4	卅	1	0.1
三枝	7	0.9	総数	775	

第12表 氏の比率

氏名	点数	氏名	点数	氏名	点数	氏名	点数
1 氏マ 男	5	49 木マ 万	3	100 酒マ	56	150 丈マ 万呂	1
2 氏マ 古牛	1	50 木マ 大伴	1	101 酒	94	151 丈マ	19
3 氏マ	2	51 木マ 大口	1	小計	265	152 丈	18
4 氏	1	52 木マ	15	102 雀マ 足人	2	小計	55
5 氏家 □万呂	1	53 木	12	103 雀 足人	2	153 物マ 真男	3
6 氏家	4	小計	60	104 雀マ 弟和木	1	154 物マ 真	2
小計	14	54 君麻マ 毛人	3	105 雀マ 弟	2	155 物マ	2
7 宇遅マ 男	1	55 君麻マ 毛	1	106 雀マ 乙和木	2	156 物	1
8 宇遅マ 小石村	1	56 君麻 毛人	1	107 雀マ 乙	8	小計	8
9 宇遅	3	57 君麻 毛	1	108 雀マ 牧男	5	157 矢田マ 刀良	2
10 遅マ 男	1	58 君麻	1	109 雀マ 牧	3	158 矢田 刀良	1
小計	6	小計	7	110 雀マ 小酒	5	159 矢田マ 尔万呂	2
11 大伴マ	1	59 君子 古君	6	111 雀 小酒	1	160 矢田マ 尔	2
小計	1	60 君子 古	3	112 雀マ 小	2	161 矢田マ 安万呂	2
12 大麻マ 猪万呂	3	61 君子 刀	1	113 雀マ 称万呂	1	162 矢田マ 安万	1
13 大麻マ 猪	1	62 君子	1	114 雀マ 称万	1	163 矢田 万呂	1
14 大麻マ 古万呂	1	小計	11	115 雀マ 古見	2	164 矢田マ	3
15 大麻 古万呂	7	63 三枝マ 小麻	2	116 雀マ 古万呂	3	165 矢田	5
16 大麻 古	3	64 三枝マ 小	1	117 雀マ 古	3	166 矢	2
17 大麻漬 若古	6	65 三枝マ 万	1	118 雀マ 女万呂	2	小計	21
18 大麻 若古	2	66 三枝マ 鳥	1	119 雀マ 女万	2	167 若麻マ 毛人	2
19 大麻マ 若	1	67 三枝マ	2	120 雀マ 女	1	168 若麻マ 毛	1
20 大麻マ	6	小計	7	121 雀マ 若	1	169 若麻	1
21 大麻	13	68 酒マ 赤万呂	4	122 雀 男	10	小計	4
小計	43	69 酒マ 赤万	2	123 雀マ	29	170 卍 鳥万	1
22 鏡造 鳥	2	70 酒マ 赤	2	124 雀	48	小計	1
小計	2	71 酒マ (ア) 人	1	小計	136	171 足万呂	5
23 神主マ 牛万呂	12	72 酒マ 男諸	7	125 白マ 毛人	6	172 稲人	1
24 神主マ 牛万	4	73 酒マ 金万呂	6	126 白マ 毛	4	173 毛人	2
25 神主マ 牛	1	74 酒マ 金	2	127 白マ 立万呂	1	174 古別	1
26 神主マ 弟	1	75 酒マ 毛人	8	128 白マ 立□呂	1	175 田領	7
27 神主マ	3	76 酒マ 毛	5	129 白マ 立万	1	176 玉支	1
28 神主部	1	77 酒マ 子見	3	130 白マ 立	7	177 手千	5
29 神主 万	1	78 酒マ 真万呂	1	131 白マ 逆	2	178 得足	1
30 神主	10	79 酒マ 真呂	1	132 白マ 小廣	1	179 万呂	1
31 神	1	80 酒マ 真	1	133 白マ 小	1	180 古万呂	1
小計	34	81 酒マ 得足	16	134 白マ 玉支	5	181 爲手	1
32 川和 子万呂	6	82 酒マ 得	2	135 白 玉支万呂	1	小計	26
33 川和 子万	1	83 酒マ 古万呂	1	136 白マ 若万呂	2	182 男	4
34 川和 子	1	84 酒マ 古見	2	137 白マ 若万	1	183 大	7
35 川和 古万呂	2	85 酒マ 古	4	138 白 鳥	2	184 手	1
36 川和	4	86 酒マ 小諸	3	139 白マ	21	185 卍	2
37 川	4	87 酒マ 少諸	1	140 白	24	186 十	1
小計	18	88 酒マ 少赤男	4	小計	80	小計	15
38 木マ 毛人	1	89 酒マ 少赤	1	141 財マ 古見	1	187 郡 ×	2
39 木マ 里万呂	1	90 酒マ 小赤男	1	小計	1	小計	2
40 木マ 里	3	91 酒マ 小足継	3	142 (丹) 人 毛	1	188 鴉 ×	13
41 木マ 小兆	8	92 酒マ 白	2	小計	1	小計	13
42 木マ 小	1	93 酒マ 見	1	143 丈マ 忍万呂	2	189 線刻	2
43 木マ 兆	3	94 酒マ 連工	11	144 丈マ 忍	4	190 押印	2
44 木マ 古万呂	1	95 酒マ 連	3	145 丈マ 臣	7	191 昭和三十	1
45 木マ 古万	1	96 酒マ 若子	2	146 丈マ 田万	1	小計	5
46 木マ 古宅	1	97 酒マ 若古	1	147 丈マ 田	1	氏名等判読可能総数	836
47 木マ 古	7	98 酒マ 万呂	13	148 丈マ 足	1	出土文字瓦総数	2,302
48 木マ 万呂	1	99 酒マ 万	1	149 丈マ 刀	1		

第13表 氏・名の種類

第5章 まとめ

第1節 遺構の時期と変遷

前回の報告においては、政庁建物変遷及びSB01（瓦葺建物跡）周辺における大型建物の変遷から、4時期に区分した。その区分内容としては以下のとおりである。

官衙Ⅰ期……官衙創設期。正倉域では倉庫の建築が開始され、比較的大型のものから建築されている。政庁については正殿SB90と西脇殿SB104Aの2棟で建築が開始される。出土遺物から7世紀後葉段階と考えられる

官衙Ⅱ期……官衙としての発展・充実期と捉えられる時期。官衙全体の規模はⅠ期と同様であり、引き続き西門が正門であった。正倉域については、倉庫建設が敷地の全域に及ぶ。政庁については正殿が四面庇建物SB91に建て替えられ、脇殿については東脇殿（SB103）が成立し、コの字状の建物配置になる。時期については8世紀前半を中心とした時期と考えられる。

官衙Ⅲ期……正倉域に大型瓦葺建物（SB01）が成立し、政庁及び北方建物群が消滅し、官衙の機能が正倉のみに縮小した時期。時期はSB01出土の瓦の年代から、8世紀後半を中心とした時期と考えられる。

官衙Ⅳ期……正倉としての官衙の衰退期。中心建物については、長大な側柱式掘立柱建物（SB63）となる。時期については政庁跡及び北方建物群において確認された竪穴住居出土遺物から、9世紀前半頃と考えられる。

このように4時期の変遷を想定していたが、今回の一連の調査でSB01の南側において、複数の建物が重複し存在していることが確認されている。Ⅲ期の中心建物であるSB01の区画溝であるSD26、Ⅳ期の中心建物であるSB63と、東西棟の総柱式掘立柱建物であるSB171、南北棟の側柱式建物のSB31である。SB171とSB31ともに、他遺構との切り合い関係が無いことや柱穴内からの出土遺物も無いことから、この両者の位置づけについては周辺の状況からの想定となるが、Ⅰ・Ⅱ期の官衙が最も発展していた段階の正倉の中心建物については、周辺の倉庫建物の充実状況から鑑みて、SB171が妥当であるものと考えられる。これ以降Ⅳ期のSB63まで、東西棟の大型建物が中心建物となった後、最終段階に南北棟の建物（SB31）が出現するものと想定する。しかし、SB63が位置するⅣ期については、同時存続する正倉建物の数も不明であることから、新たにこれに後続するⅤ期を設定せずに、Ⅳa・Ⅳb期との時期設定をおこなった。

中心建物の変遷

Ⅰ期（7世紀後葉）…………… SB171

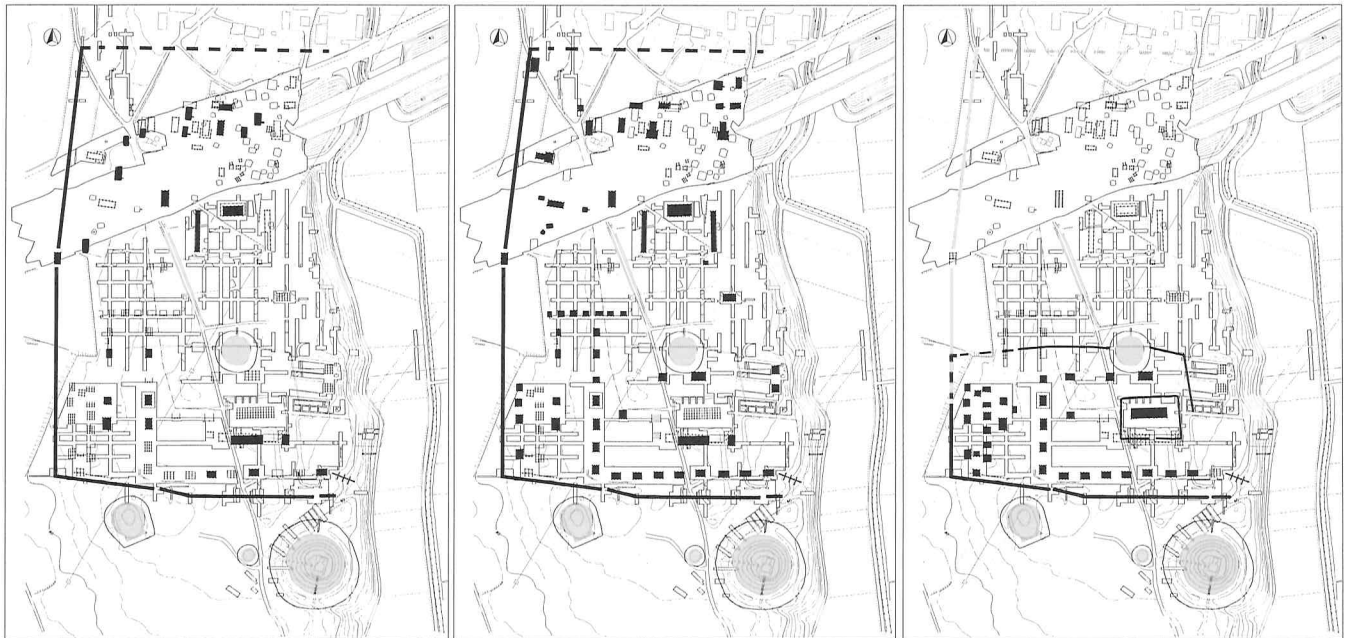
Ⅱ期（8世紀前葉）…………… SB171

Ⅲ期（8世紀中葉～後葉）… SB01

Ⅳ期（9世紀前葉）

Ⅳa期…… SB63

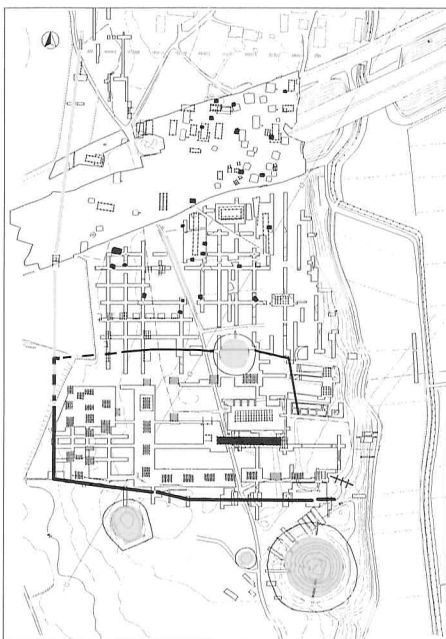
Ⅳb期…… SB31



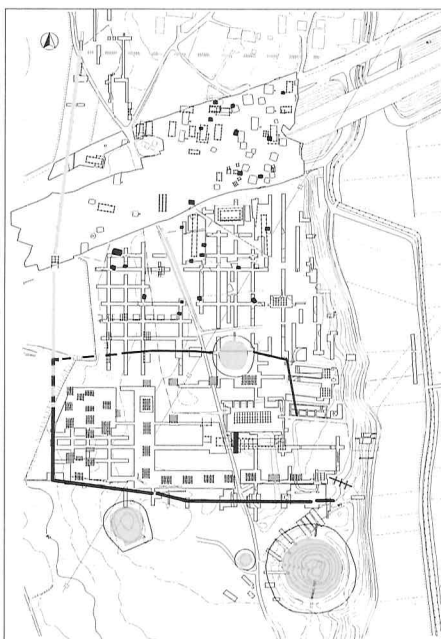
官衙Ⅰ期

官衙Ⅱ期

官衙Ⅲ期



官衙Ⅳa期

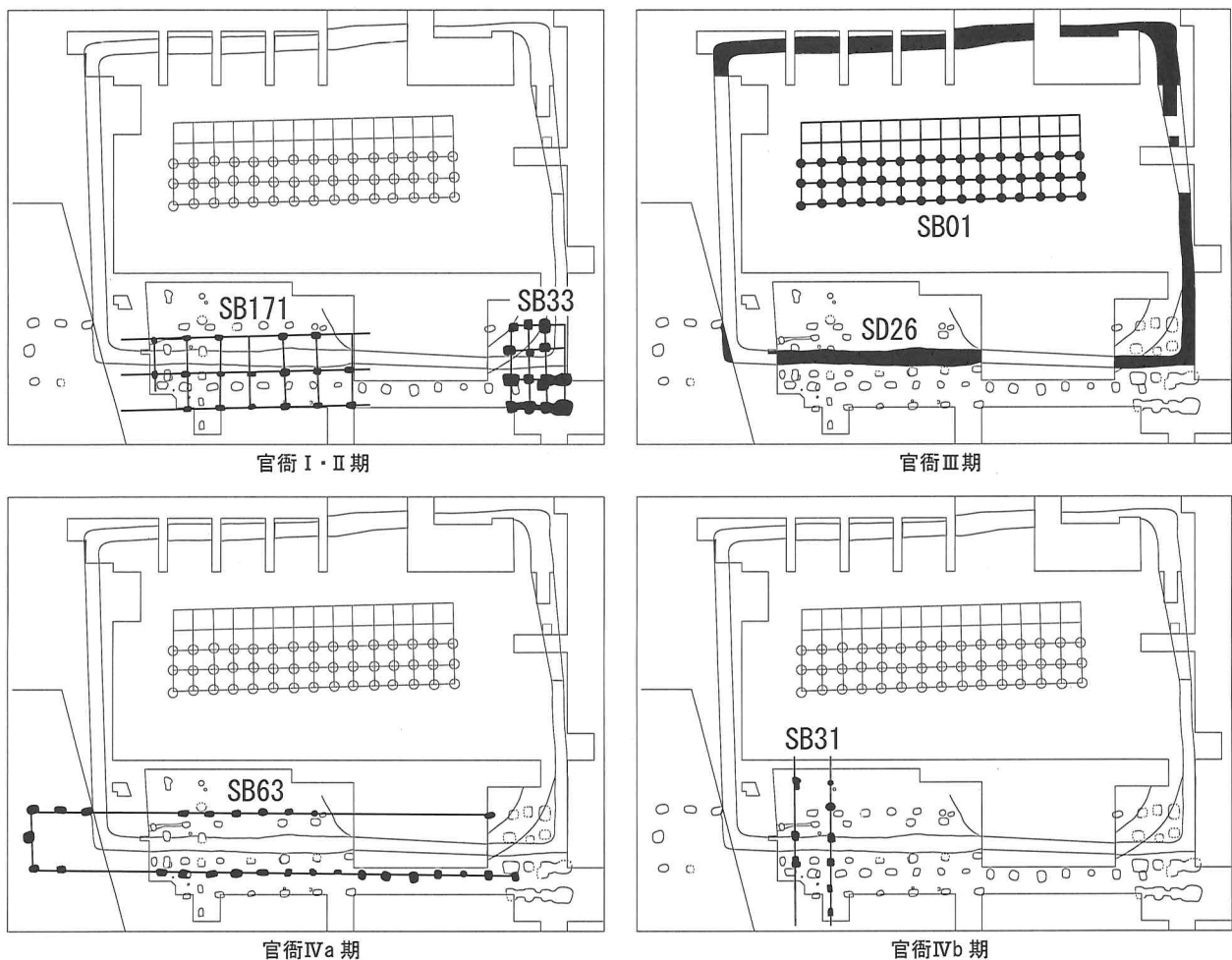


官衙Ⅳb期

第 69 図 官衙変遷図

時期	政庁・北方建物群	正倉	正倉中央	備考
Ⅰ期	政庁正殿及び西脇殿。 北方建物群の大型建物の建設	大型のものを中心に建築 開始	SB171 の建設	7世紀後葉 創始期 外郭溝の掘削
Ⅱ期	政庁正殿が四面庇建物に変わる。東 西両脇殿の成立。 北方建物群が側柱建物となる。	倉庫の建築が敷地の全域 に及ぶ。	SB171	8世紀前葉 充実期
Ⅲ期	消滅	正倉域西北部の建物群の 廃絶。縮小	大型瓦葺建物跡 (SB01) の建設	8世紀中葉～後葉 変容期 正倉別院へ変容
Ⅳa期	—	正倉の建物の増設は無し	SB63	9世紀前葉 衰退期
Ⅳb期	—	〃	SB31	

第 14 表 官衙の変遷



第 70 図 正倉域中心建物変遷図

第 2 節 遺構の性格と位置付け

(a) 古代道路跡

古代道路跡は、当初は南下するものと想定されていたが、南西方向に進んでいくことが確認された。道路幅は遺跡南西部で約 8 m、浅間神社古墳周溝内部では 10 m 近いところもあり、硬化面が確認できたところもあったが、古墳群内に位置することからなのか、側溝を伴わなかった。

(b) 大型瓦葺建物 (SB01) について

① 柱位置について

礎石は全て取り除かれており、栗石の分布状況から、柱位置を導き出した。前回の調査で一部確認されていた北 1・2 列目に関しては、削平が著しく、栗石と認識されていたものについては、掘込地業内に含まれる河原石であることがわかり、位置についてはいずれも確認できなかった。しかしながら、北 3 列目以南のものについては、前回の位置を追認できたことから、建物規模については、今までの想定どおりと考えられる。

② 敷石遺構について

SB01 南面において、幅 1 m で確認された。部分的に玉石が集中する場所も見られるが、それ以外は爪先大の小礫である。建物西側と東側においてもこのような場所が確認されているが、柱列より 6 m 離れたところに位置していることから、通路的なものと考えられる。

③地業について

地業範囲は東西約36m、南北12.6mであり、基壇外装については、平面観察、断面観察ともに、確認はできなかったが部分的に白色粘土が確認されていることから、化粧されていた可能性が考えられる。形態については「亀腹」に近い形態となるものと考えられる。

(c) 東山道に近接した入口部分について

東山道跡に近接する遺跡南東部において、外郭溝(SD06)の切れ目(幅:約4.6m)が確認され、その延長線上に幅4.8mあけて並ぶSX175・SX176の二つの遺構が確認された。この二つの遺構は二本柱の門と考えるのが妥当であるが、SX175が布堀状の遺構となっていることから、柵や塀の区画施設がこの場所のみに構築されていると考えられるほか、幢竿支柱等の荘厳施設の可能性も考えられる。なお、この入り口施設については、区画溝が当初より掘削されていないことを考慮すれば、造営当初より機能している可能性が考えられる。

(d) 北側の官衙範囲について

官衙範囲については、西側の八脚門(SB32・33)から、南側区画溝までの距離から類推し南北約390mと考え、その周辺において東西方向に区画溝や区画施設がないか確認を行なったが、遺構等は確認できなかった。一方、西側区画溝については正倉域においては明確に確認されているものの、北関東自動車道調査区においては確認されておらず、平成14年度に実施した調査でも浅い痕跡程度のものが確認された程度であったことから、再度調査を実施したが、幅1m、地表面からの深さ50cm程度のごく浅いものが確認され、西側区画溝の存在は確認されている。このことを踏まえ、北側の官衙範囲を決める溝等の遺構は、未調査部分の北側にある可能性が考えられることから、引き続き調査を実施する。一方で、西側区画溝の調査に際してはSB187が確認されており、これは今まで確認された建物跡の中ではもっとも北に位置するものであることから、雑舎域の広がり方が更に北側まで及ぶ可能性が考えられる。

圖 版



東山道跡調査区 T1 (北西から)



東山道跡調査区 T1 (北西から)



東山道跡調査区 T2 (南から)



東山道跡調査区 T5 (南東から)



東山道跡調査区 T1 (南から)



東山道跡調査区 T8 路面確認状況 (南から)



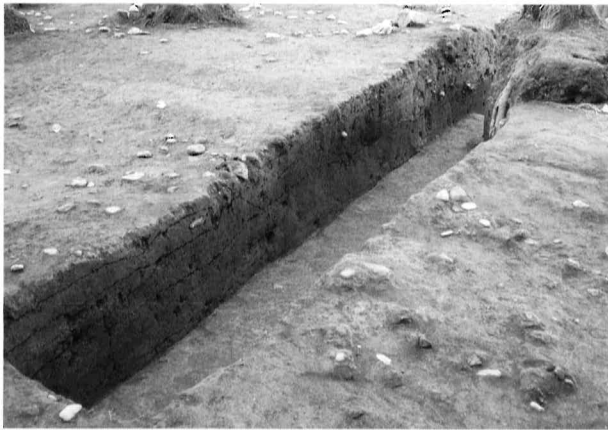
東山道跡調査区 T8 (南から)



東山道跡調査区 T10 完掘状況 (南から)



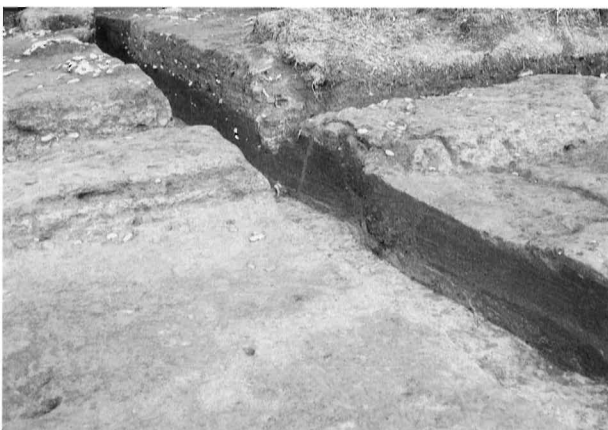
SB01 南側調査区全景（北東から）



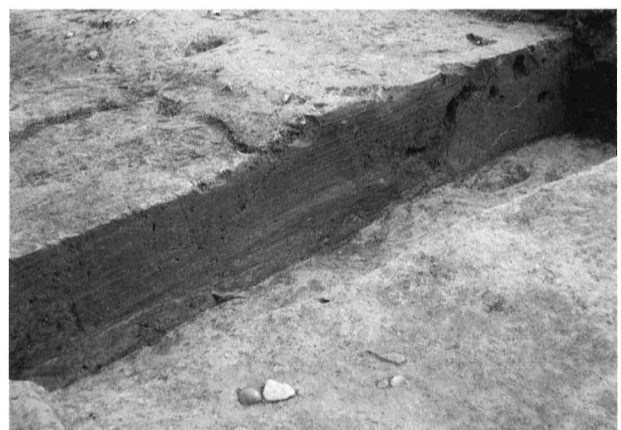
SB01 掘込地業南側土層断面（南東から）



SB01 掘込地業中央土層断面（北東から）



SB01 掘込地業北側土層断面（北東から）



SB01 掘込地業北側土層断面（南東から）



SB01 掘込地業北側土層断面（北から）



SB01 全景（南西から）



SB01 全景（北西から）



SB01 全景（北東から）



SB01 中央南側礫敷遺構確認状況（東から）



SB01 西側礫集中箇所（北から）



SB01 東側完掘状況（中央西から）



SB01 西側完掘状況（中央東から）



東山道近接入口部分調査区完掘状況（北から）



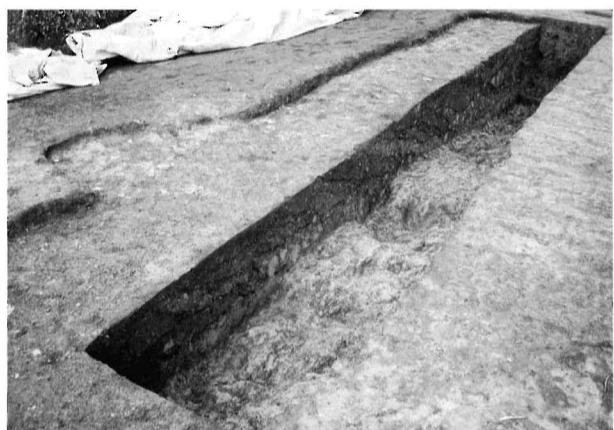
東山道近接入口部分調査区完掘状況（北西から）



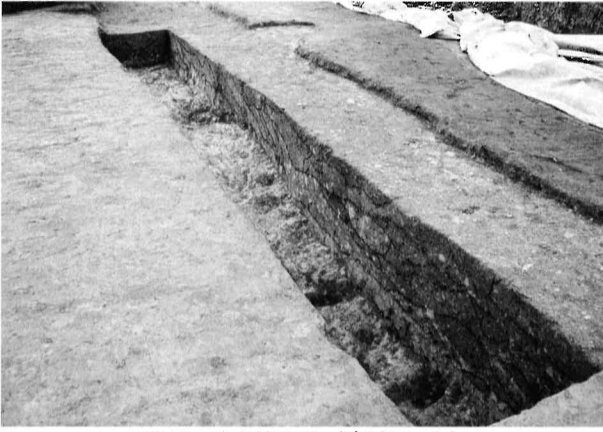
東山道近接入口部分調査区完掘状況（西から）



東山道近接入口部分調査区完掘状況（南東から）



SX176 土層断面（南西から）



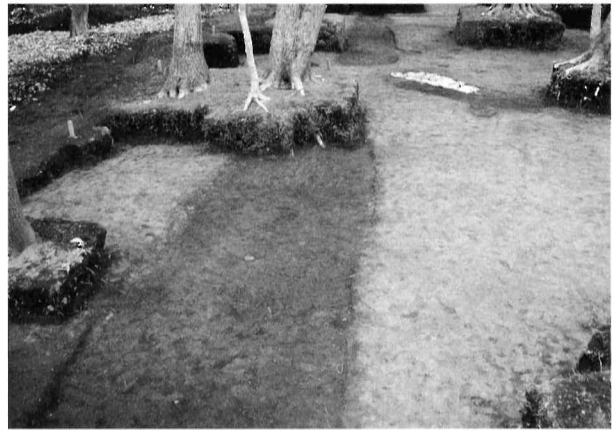
SX176 土層断面 (南東から)



SX175 土層断面 (南東から)



SA185-1 半裁状況 (南東から)



SD06 確認状況 (東から)



政庁東側崖面調査区 T4 SD183 確認状況 (南東から)



政庁東側崖面調査区 T4 SD183 土層断面 (南東から)



政庁東側崖面調査区 T5 完掘状況 (北から)



政庁東側崖面調査区 T3 確認状況 (南西から)



北側範囲確認調査区 T6 中央部 (南から)



北側範囲確認調査区 T6 中央部 (北から)



北側範囲確認調査区 T6 北部 (北西から)



北側範囲確認調査区 SE189 完掘状況 (南から)



北側範囲確認調査区 SB188 (南から)



北側範囲確認調査区 T5 (南から)



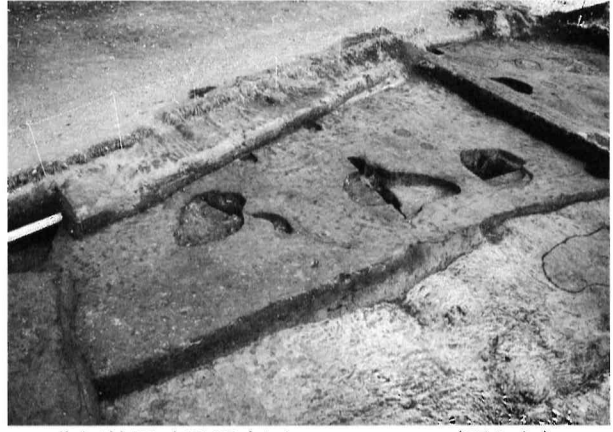
北側範囲確認調査区 T1 (南東から)



北側範囲確認調査区 T1 (北から)



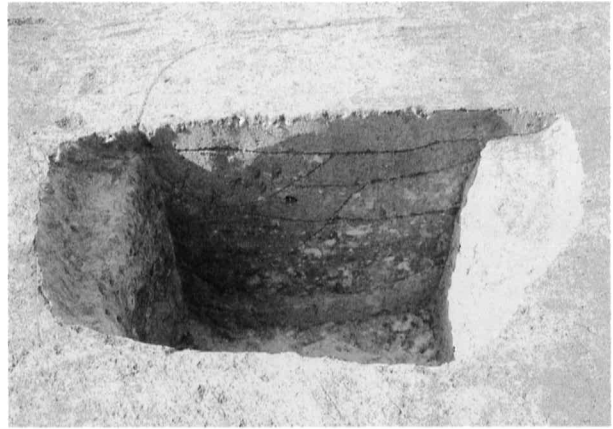
北側範囲確認調査区 T1 (南から)



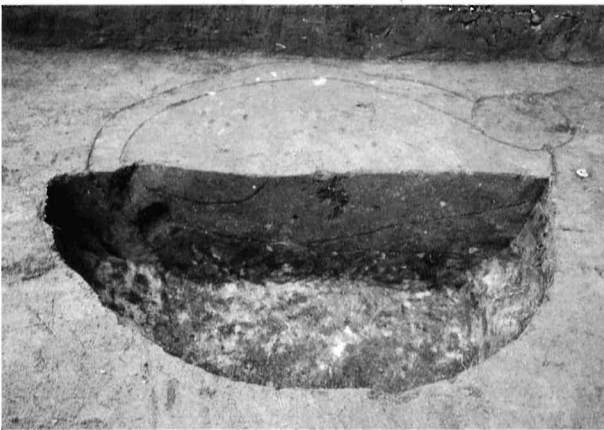
北側範囲確認調査区 T1 SB187 (西から)



北側範囲確認調査区 SB187 (北から)



北側範囲確認調査区 SB187 柱穴C 土層断面 (東から)



北側範囲確認調査区 SB187 柱穴D 土層断面 (南から)



北側範囲確認調査区 T2 (北から)



北側範囲確認調査区 T2 SK191 (南から)



北側範囲確認調査区 T2 (西から)



神主マ牛万呂

1181



酒マ毛人

1194



神主部

1299



井鳥万

1417



川和子万

1442



白マ若万呂

1588



雀マ小酒

1642



氏マ男

1647



物マ真男

1648



木マ小兆

1764



若麻マ毛人

1769



大麻古万呂

1785



爲手

1987



矢田マ安万呂

2056





















鏡造鳥








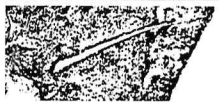










2255

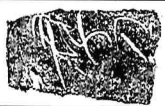
















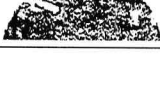
出土文字瓦一覽

凡例



















- 一、この一覧表は、上神主・茂原官衙遺跡の第15～25次発掘調査で出土した文字瓦を集成したものである。
- 一、表の上段には、文字瓦の通し番号とその瓦の資料番号を付けた。
- 一、積文の漢字は、概ね現行の常用字体を用いた。
- 一、積文に加えた符号は、次の通りである。
 - 「」 文字が上、下に続かない。また、「は、文字の上方に瓦の端面が残されている場合にも使用した。
 - × 文字の上、または下が欠損していることを示す。
 - 欠損文字の字数が確認できるものに付けた。
 - () 推定した文字。
- 一、拓影は原資料の二分の一で示した。その他の縮尺のものは拓影に付記した。
- 一、種類には、男(丸)瓦、女(平)瓦の区別、並びに女瓦背(凹)面に模骨痕が確認できる場合には女・とした。
- 一、叩型は、女瓦凸面に残る叩き痕の分類番号である。上三川町・宇都宮市の分類に拠った。
- 一、備考には、①調査次数と出土遺構(SB掘立柱建物、SD溝状遺構、SX性格不明遺構)、出土地点。②文字の大きさは、文字の縦の長さを計測した。
- ③文字の線質は、刻字線の断面形状から―・V・U・凹の四種類に分けた。線の太さは、mm単位の概寸である。④には、氏名の第一字目の上端の位置を、瓦上端からの長さで示した。瓦下端近くに刻字されている場合は、最終文字の下端から瓦下端までの長さを示した。⑤その他。
- ②～④で使用した数字の単位はすべてmmであり、参考までの計測値である。







1193 28981	1192 29045	1191 28982	1190 28986	1189 28995	1188 28983	1187 67637	1186 28980	1185 28984	1184 28979	1183 28950	1182 68040	1181 28951	1180 28954	1179 28949	1178 28947	1177 28943	1176 28942
「川 ×	× □ □ □ ×	× 酒 万 呂」	× □ マ 尔 ×	「君子古君 ×	「酒 マ ×	「酒 マ 万 呂」	× マ 毛 ×	「酒 マ 金 万 呂」	「酒 マ 万 呂」	「 □ □」	「酒 マ 赤 万 □ ×	「神主マ牛万呂」	× □ ×	「 □ ×	× 酒 マ 小 諸」	「 大 ×	× □ □ ×
																	
女・ -	男 -	女 21C	男 -	女 -	女 -	女 21C	女 -	女 21C	女 42	女 -	女 21B	女 21B	女 -	女 21B	女 21C	女 -	男 -
① 16 - I 691 ② 川 13 ③ V 2 ④ 上 57	① 16 - S B 63 北 1 西 6 柱穴 ③ V 2	① 16 - I 691 ② 酒 (15)、万呂 27 ③ V 2	① 16 - I 691 ② マ 12 ③ U 3	① 16 - I 692 ② 君 16、子 18、古 17、君 (20) ③ U 2 ④ 上 13	① 16 - I 691 ② 酒 22、マ 10 ③ V 2	① 16 - I 721 ② 酒 20、マ (12) ③ V 1 ④ 上 40	① 16 - I 691 ② マ 15、毛 23 ③ V 2	① 16 - I 691・I 692 ② 酒 29、マ 14、金 (29)、万 (18) ③ V 2 ④ 上 34	① 16 - I 691・I 721 ② 酒 26、マ 13、万呂 53 ③ V 2 ④ 上 40	① 16 - I 663 ③ U 7 ④ 上 57 ⑤ 焼成前のキズの可能性もあり	① 16 - S B 171 北 2 西 5 柱穴 ② 酒 17、マ 8、赤 15、万 10 ③ U 1 ④ 上 85	① 16 - I 663 ② 神 16、主 8、マ 4、牛 13、万呂 16 ③ U 1 ④ 上 4	① 16 - I 663 ③ - I	① 16 - I 662・I 663 ③ V 2	① 16 - I 662・I 663 ② マ 15、小 (10)、諸 26 ③ V 1	① 16 - I 662 ③ V 1	① 16 - I 662 ③ U 2



















1229	1228	1227	1226	1225	1224	1223	1222	1221	1220	1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212
29028	29029	29043	29025	28088	29026	29020	29024	29018	29019	29027	29017	28977	28966	28973	28976	28963	28959
×□□鳥×	「白マ毛×	「酒マ赤万呂」	×□×	「(雀) □×	「神主マ牛万呂」	×雀マ×	「□×	「足万呂×	「丈マ×	×□×	「丈マ×	「雀マ×	×□×	×酒マ連工」	×大麻□×	×大麻漬若古」	「酒マ金」
																	
女	男	女	女	男	女	女	男	女	女	-	女	女	女	女	女	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21B
① 16 - H 687 ② 鳥 (22) ③ Y I	① 16 - H 687 ② マ 25、毛 33 ③ V 2 ④ 上 (20)	① 16 - S B 63・I 661 ② 酒 23、マ 19、赤 24、万呂 33 ③ V 2 ④ 上 8	① 16 - H 659 ③ U 2	① 16 - H 656 ③ V 2	① 16 - H 659、17 - H 539 ② 神 15、圭 7、マ 7、牛 9、万呂 15 ③ Y I ④ 上 8	① 16 - H 658 ② 雀 32、マ 12 ③ Y I	① 16 - H 658 ③ V 3 ④ 上 80	① 16 - H 657 ② 足 30 ③ U 2 ④ 上 25	① 16 - H 657 ② 丈 (15) ③ V 2 ④ 上 (23)	① 16 - H 659 ③ U 3	① 16 - H 656 ② 丈 16、マ 10 ③ Y I	① 16 - I 723 ② 雀 (27) ③ V 2 ④ 上 3	① 16 - I 723 ③ V 2	① 16 - I 721 ② マ 10、連 20、工 7 ③ U I	① 16 - I 723 ② 大 (20)、麻 30 ③ Y I	① 16 - I 721 ② 大 (12)、麻 14、漬 20、若 22、古 14 ③ Y I ④ 上 (14)	① 16 - I 721 ② 酒 22、マ 16、金 32 ③ V 2 ④ 上 10














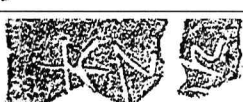




1301	40956	1284	1284	1284	44511	「君子刀×		(1/3)	女	-	① 17 - I 550 ② 君 15、子 15、刀 14 ③ V 2 ④ 上 9
		1285	1285	1285	43914	「木×			女	-	① 17 - I 550 ③ V 2 ④ 上 (15)
		1286	1286	1286	64964	「酒×			女	-	① 17 - I 578 ③ V 2
		1287	1287	1287	41674	×牛万×			女	-	① 17 - I 489 ② 牛 (17) ③ V 2
		1288	1288	1288	44461	「川和子万□×			女	-	① 17 - I 550 ② 川 10、和 10、子 10 ③ V 1 ④ 上 6
		1289	1289	1289	42926	×見」			女	-	① 17 - I 541 ② 見 (20) ③ V 2
		1290	1290	1290	41838	×万呂」			女	21B	① 17 - I 511 ② 万呂 40 ③ V 2
		1291	1291	1291	44444	「雀マ□×			女	-	① 17 - I 550 ② 雀 27、了 9 ③ U 2 ④ 上 10
		1292	1292	1292	46098	「大麻古×			女	-	① 17 - I 573 ② 大 15、麻 18、古 13 ③ V 1 ④ 上 22
		1293	1293	1293	64554	「酒×			女	-	① 19 - I 575 ③ V 2 ④ 上 53
		1294	1294	1294	45662	「酒×			女	21B	① 17 - I 573 ③ V 1 ④ 上 15
		1295	1295	1295	47019	「酒×			女	21B	① 17 - I 575 ② 酒 (14) ③ V 1 ④ 上 58
		1296	1296	1296	38162	×金万呂」		(1/3)	女	21B	① 17 - H 569 ② 金 31、万呂 35 ③ V 2
		1297	1297	1297	64962	「鏡造鳥×		(1/3)	女	-	① 17 - I 578 ② 鏡 26、造 28 ③ V 1 ④ 上 12
		1298	1298	1298	43021	「大麻漬若古」			女	-	① 17 - I 541 ② 大 8、麻 15、漬 17、若 15、 古 (11) ③ U 1 ④ 上 10
		1299	1299	1299	46231	「神主部×			女	-	① 17 - I 573 ② 神 (16)、主 13、部 (13) ③ V 1 ④ 上 3
		1300	1300	1300	42096	×□×			女	-	① 17 - I 518 ③ V 2
		1301	1301	1301	40956	×□」			女	-	① 17 - I 482 ③ V 2







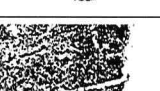











1319	1318	1317	1316	1315	1314	1313	1312	1311	1310	1309	1308	1307	1306	1305	1304	1303	1302
31872	38033	34624	33743	40627	31873	39449	64099	33041	38034	31484	30065	41436	44586	46366	41673	41636	43140
「手□×	×□×	「□□×	「若×	×人	×万呂	「□□×	「酒マ×	×□	「酒マ×	×□酒×	「白鳥×	「□×	「□(若)×	「矢×	×マ×	×麻	×称万×
																	
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
-	-	-	-	21B	-	-	21B	42	-	-	-	21C	-	-	-	42	-
①17-H-597 ②手22 ③U I ④上15	①17-H-569 ③U 2	①17-H-598 ③U 2	①17-H-509 ②人(25) ③V 3	①17-H-597 ③V 2	①17-H-539 ③U 2 ④上(25)	①17-H-600、19-H-630 ②酒30、マ22 ③V ④上23	①17-H-598 ③V I	①17-H-569 ②酒20、マ12 ③V 2	①17-H-597 ③U 2	①17-H-597 ②白25、鳥35 ③U I ④上18	①17-I-489 ③V I	①17-I-550 ③U I ④上45	①17-I-573 ②矢15 ③U I	①17-I-489 ②マ13 ③V I	①17-I-489 ②麻(23) ③V I	①17-I-544 ②称(19) ③U 2	















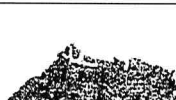
1337	1337	32325	「 神 ×		女	-	① 17 - H 597 ② 神 (20) ③ I I ④ 上
1336	1336	36585	× 漬若 ×		女	-	① 17 - H 567 ③ V 1
1335	1335	40375	× 男 ×		女	21B	① 17 - H 508 ② 男 (33) ③ V 2
1334	1334	40770	× □ □ ×		女	-	① 17 - H 539 ③ V 2
1333	1333	32242	× 大 ×		女	-	① 17 - H 597 ③ V 1
1332	1332	39885	「三枝マ□万□×		女	-	① 17 - H 506 ② 三10、枝18、マ(9) ③ V 1 ④ 上23
1331	1331	32639	「 酒 マ ×		女	-	① 17 - H 597 ② 酒16 ③ V 2 ④ 上19
1330	1330	49281	「 □ ×		女	-	① 17 - H 565 ③ V 2 ④ 上(15)
1329	1329	34625	「 木 マ 小 ×		女	-	① 17 - H 598 ② 木23、マ13、小(13) ③ U 1
1328	1328	35482	「 雀 マ ×		女	-	① 17 - H 599 ② 雀28、マ9 ③ V 2 ④ 上20
1327	1327	34736	「 雀 マ ×		女	-	① 17 - H 599 ② 雀24 ③ V 1 ④ 上20
1326	1326	36260	× 万 呂 「		女	-	① 17 - H 566 ② 万呂(34) ③ U 1
1325	1325	33101	× マ 男 □ ×	 (1/3)	女	-	① 17 - H 598 ② マ17、男37 ③ V 2
1324	1324	47768	× 忍 ×		女	-	① 19 - H 505 ② 忍18 ③ V 1
1323	1323	36741	「 酒 ×		女	-	① 17 - H 567 ③ V 2
1322	1322	36780	「 大 麻 漬 若 ×		女	-	① 17 - H 567 ② マ10 ③ U 2 ④ 上(12)
1321	1321	32363	「 氏 ×		女	-	① 17 - H 597 ② 氏(30) ③ U 1 ④ 上15
1320	1320	32195	× □ □ 古 ×		女	-	① 17 - H 597 ③ V 2

1391	1390	1389	1388	1387	1386	1385	1384	1383	1382	1381	1380	1379	1378	1377	1376	1375	1374
29196	39339	40210	31871	40745	36381	29132	34992	34629	40772	34352	29479	49733	35629	34301	34521	35490	48556
× 万 呂 ×	「 □ (雀) ×	× □ 木 ×	「 手 □ (之) ×	× □ ×	「 □ ×	「 酒 × 男 諸」	「 □ □ ×	× □ □ 「	× マ 子 万 呂」	「 白 マ ×	× □ × (金)	× 金 万 ×	「 神 ×	「 神 主 ×	× 万 呂 「	× □ 正 ×	× マ 尔 ×
																	
女 -	女 -	女 -	女 -	女 42	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 42	女 -	女 -
① 17 - H 506 ③ - 1	① 17 - H 539 ③ V 2 ④ 上 50	① 17 - H 507 ② 木 20 ③ V 1	① 17 - H 597 ② 手 23 ③ U 1 ④ 上 10	① 17 - H 536 ③ V 1	① 17 - H 566 ③ V 1	① 17 - H 506 ② マ 10、男 24 ③ V 1	① 17 - H 599 ③ V 1	① 17 - H 598 ③ V 1	① 17 - H 540 ② 子 17、万 呂 20 ③ V 1	① 17 - H 598 ② 白 30 ③ V 2	① 17 - H 567 ③ 回 4	① 17 - H 596 ② 金 28 ③ V 1	① 17 - H 599 ③ - 1 ④ 上 20	① 17 - H 598 ② 神 30、主 20 ③ - 1 ④ 上	① 17 - H 598 ③ V 1	① 17 - H 599 ② 正 12 ③ V 2	① 19 - H 535 ② マ 10 ③ V 1

1409	1408	1407	1406	1405	1404	1403	1402	1401	1400	1399	1398	1397	1396	1395	1394	1393	1392
38941	36553	33966	35793	35539	40851	40018	29536	49558	32243	33680	37623	40207	29148	31864	34627	32915	36969
×	×	×	×	×	×	「	×	×	×	「	「	×	×	×	×	×	×
□	□	□	□	□	□	マ	白	白	マ	丈	玉	マ	酒	マ	酒	□	□
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
																	
女	男	女	男	男	女	女	男	男	女	女	女	女	女	女	女	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 17 - H 536 ③ Y 1	① 17 - H 567 ③ Y 1	① 17 - H 598 ③ Y 1	① 17 - H 596 ③ U 1	① 17 - H 599 ③ Y 1	① 17 - H 596 ③ U 2	① 17 - H 507 ② 白 25 ③ V 2	① 17 - H 567 ② 白 23 ③ Y 1	① 19 - H 568 ③ Y 1	① 17 - H 597 ③ V 2	① 17 - H 598 ③ Y 1 ④ 上 14	① 17 - H 568 ② 玉 13、支 24 ③ V 2 ④ 上 21	① 17 - H 507 ② マ 10、古 19 ③ U 1	① 17 - H 506 ③ Y 1	① 17 - H 597 ② マ 9、老 19 ③ Y 1	① 17 - H 598 ② 酒 35 ③ U 1	① 17 - H 598 ③ Y 1	① 17 - H 567 ② H 587 ③ Y 1



















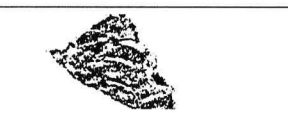
1427	1426	1425	1424	1423	1422	1421	1420	1419	1418	1417	1416	1415	1414	1413	1412	1411	1410
31860	39605	40360	35791	36382	40205	35792	64081	50109	29248	34855	39086	50523	32241	29238	35491	35531	38212
「雀マ称万×	×マ真×	×領	「氏マ□牛×	「酒マ×	×□	×白×	×マ万邑	×鴉×	×酒マ×	「升鳥万×	「牛万×	×□×	「木マ古×	「□×	×□×	「□×	×□×
																	
女	女	女	男	女	女	男	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	男
-	-	-	-	-	21B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 17 - H 597 ② 雀 25、マ 10、称 (18) ③ V ④ 上 13	① 17 - H 539 ③ Y 1	① 17 - H 508 ② 領 26 ③ Y 1	① 17 - H 596 ② 氏 20、マ 5、牛 12 ③ Y 1 ④ 上 7	① 17 - H 566 ② 酒 20 ③ Y 1 ④ 上 18	① 17 - H 507 ③ Y 2	① 17 - H 596 ② 白 40 ③ U 2	① 17 - H 540 ② マ (10) ③ Y 1	① 19 - H 625 ③ V 2	① 17 - H 506 ② 酒 15 ③ Y 1	① 17 - H 599 ② 升 17、鳥 32 ③ - 1 ④ 上 28	① 17 - H 537 ② 牛 20 ③ Y 1 ④ 上 30	① 19 - H 627 ③ Y 1	① 17 - H 597・H 598 ② 木 20、マ 10、古 (14) ③ U 1 ④ 上 7	① 17 - H 506 ③ Y 1 ④ 上 40	① 17 - H 599 ③ Y 1	① 17 - H 599 ③ U 1	① 17 - H 570 ③ U 2









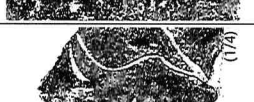









1445	1444	1443	1442	1441	1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431	1430	1429	1428
31865	30507	39801	47864	34538	29167	34401	32467	50736	36319	30722	29150	33911	47392	37624	37064	30423	31878
「矢田	×酒	「鳥	「川和子万	「	「	「	×	×万呂	×	「	「雀	「酒	×万呂	×	×連工	×	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
																	
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	男
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 17 - H 597 ② 矢 18 ③ V 2 ④ 上 10	① 17 - H 597 ③ V 2	① 17 - H 506 ③ - 1 ④ 上 12	① 19 - H 507 ② 川 17、和 15、子 17、万 15 ③ V 1	① 17 - H 598 ③ V 1 ④ 上 60	① 17 - H 506 ③ V 1	① 17 - H 598 ③ U 1 ④ 上 50	① 17 - H 597 ③ - 1	① 19 - H 628 ③ V 1	① 17 - H 566 ③ V 2	① 17 - H 597 ③ V 1 ④ 上 (24)	① 17 - H 506 ③ V 3 ④ 上 23	① 17 - H 598 ② 酒 (47) ③ U 1 ④ 上 20	① 19 - H 505 ③ V 2	① 17 - H 568 ③ V 2	① 17 - H 567 ② 連 (15)、工 (8) ③ U 1	① 17 - H 577 ③ V 1	① 17 - H 597 ③ V 4





1463 30817	1461 38897	1459 39264	1458 50167	1457 39411	1456 29069	1455 30276	1454 39276	1453 29133	1452 35731	1451 31886	1450 37115	1449 38772	1448 37162	1447 38301	1446 40582
「 □ ×	「 □ □ ×	「 酒 ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×	「 酒 マ ×
															
男 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 21C
① 17 - H 597 ③ V 1	① 17 - H 536 ③ - 1 ④ 上 22	① 17 - H 508 ③ V 1 ④ 上 35	① 19 - H 626 ③ V 2	① 17 - H 539 ③ V 1	① 17 - H 506 ② マ 5、牛 17、万呂 32 ③ - 1	① 17 - H 597 ③ V 1	① 17 - H 537 ③ V 2 ④ 上 15	① 17 - H 506 ② 酒 15、マ 7 ③ V 2 ④ 上 9	① 17 - H 599 ③ V 1	① 17 - H 597 ② 酒 18 ③ V 2	① 17 - H 567 ③ V 2	① 17 - H 600 ② マ 15 ③ V 2	① 17 - H 567 ③ V 2	① 17 - H 570 ③ V 1 ④ 上 15 ⑤ 記号か	① 17 - H 508 ③ V 1

1488	1497	1496	1495	1494	1493	1492	1491	1490	1489	1488	1487	1486	1485	1484	1483	1482
35810	29706	31879	47782	28296	36391	31888	64325	33313	39331	47070	48902	29405	47763	47863	48671	48761
×	×	×	×	×	×	×	「	×	×	×	×	×	「	「	×	×
□	雀	人	足	□	□	マ	丈	□	マ	□	□	□	木	雀	□	白
×	×	┌	×	×	×	×	×	×	×	×	┌	┌	×	×	×	×
女	女	男	女	男	男	男	男	男	女	男	男	女	女	女	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21C	-	-
① 17 - H 596	① 17 - H 597	① 17 - H 597	① 19 - H 505	① 16 - H 659	① 17 - H 566	① 17 - H 597	① 17 - H 575	① 17 - H 598	① 17 - H 538	① 19 - H 505	① 19 - H 536	① 17 - H 510	① 19 - H 505	① 19 - H 507	① 19 - H 535	① 19 - H 535
③ U 2	② 雀 (34) ③ Y I	② 人 (20) ③ U I	③ U 2 ④ 上 7	③ U I	② 人 (20) ③ U I	② 丈 (30) ③ U 2	② 丈 (30) ③ U 2	③ Y I	③ Y 2	③ U 2	② 男 (49) ③ U 2	③ U 2	② 木 (24)、マ 13、里 16 ③ V	② 雀 28、了 9 ③ Y I ④ 上 30	③ Y I	② 了 15 ③ Y 2

1534 36821	1533 35072	1532 49331	1531 38749	1530 34682	1529 38813	1528 35241	1527 31875	1526 34698	1525 39184	1524 51161	1523 39263	1522 48491	1521 47064	1520 40768	1519 35411	1518 36187	1517 48137
「酒 ×	× 万呂 ×	「 □ □ ×	× □ ×	× □ □ ×	× □ 万呂 ×	× □ □ □ ×	× □ □ ×	「 □ ×	「 大 ×	「 君 ×	「 男 「	× 三枝 ×	× マ ×	× 乙 「	「 □ ×	× □ 万呂	× □ □ ×
女 -	女 21C	女 -	女 -	女 -	男 -	男 -	男 -	男 -	女 -	女 -	女 -	女 -	男 -	女 -	男 -	男 -	男 -
① 17 - H 567 ③ V 2 ④ 上 26	① 17 - H 599 ② 万呂 58 ③ U 1	① 19 - H 565 ③ 一 1 ④ 上 (20)	① 17 - H 600 ③ V 2	① 17 - H 599 ③ 一 1	① 17 - H 600 ② 万呂、臣 (37) ③ U 2	① 17・19 - H 599 ③ U 2	① 17 - H 597 ③ U 1 ④ 上 28	① 17 - H 597 ③ U 1 ④ 上 28	① 17 - H 508・H 538 ② 大 38 ③ U 2 ④ 上 10	① 19 - H 630 ③ U 2 ④ 上 43	① 17 - H 538 ② 男 (40) ③ V 2 ④ 上 15	① 19 - H 535 ② 三 10、枝 (14) ③ V 2	① 19 - H 505 ③ U 2	① 17 - H 539 ③ U 2	① 17 - H 599 ③ V 2	① 17 - H 566 ② 万呂 53 ③ U 2	① 19 - H 535 ③ U 2








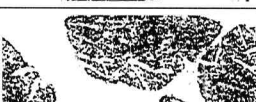






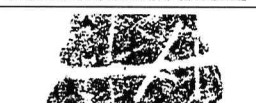



1570	35266	1570	35286	1569	1568	1567	1566	1565	1564	1563	1562	1561	1560	1559	1558	1557	1556	1555	1554	1553	
		「氏家 ×	「物マ真男 ×	「雀 ×	「酒マ万呂」	「白マ若万呂」	「白マ若万呂」	「金口呂」	「口口口 ×	「君麻マ ×	「鴉 ×	「手口 ×	「神主 ×	「酒マ連工」	「口万呂」	「口」	「男」	「口 ×	「木マ古万 ×	「川 ×	
																					
		女 42	女 -	女 42	女 42	男 -	女 21B	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 21B	女 42	女 -	女 -	女 42	女 -	女 -
		① 17 - H 599 ② 氏 (14) ③ U I ④ 上 (10)	① 17 - H 599 ② 物 17、マ 9、真 25、男 (22) ③ Y I ④ 上 8	① 17 - H 598 ③ U I	① 17 - H 567 ② 酒 (24)、マ 12、万 26 ③ V 2 ④ 上 (45)	① 17 - H 577、19 - H 627 ② 白 26、マ 13、若 24、万呂 (54) ③ V 2	① 17・19 - H 600 ③ Y I	① 17 - H 597・H 598 ③ U I ④ 上 7	① 17 - H 508 ② 君 43、麻 45 ③ U 2 ④ 上 44	① 17 - H 507 ② 鴉 (35) ③ V 2 ④ 上 (35)	① 17 - H 598 ② 手 26 ③ U I ④ 上 15	① 17 - H 539 ② 神 (13) ③ Y I ④ 上 8	① 19 - H 565 ② 酒 20、マ 12、連 20、工 5 ③ U I	① 17 - H 539・H 540 ② 万呂 46 ③ Y I	① 17 - H 597 ② 男 32 ③ V 2 ④ 上 18	① 17 - H 566 ③ Y I	① 17 - H 539 ③ U I ④ 上 7	① 17 - H 566 ② 木 20、マ 8、古 23 ③ Y I ④ 上 4	① 17 - H 598 ② 川 9 ③ Y I		









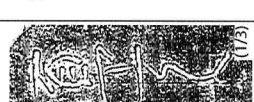









1588 48551	1587 34991	1586 39611	1585 30087	1584 35406	1583 36839	1582 34985	1581 47765	1580 39668	1579 29313	1578 47764	1577 29149	1576 40206	1575 35036	1574 44288	1573 34973	1572 46644	1571 33856
「白マ若万呂」	× □ ー	「木マ万 ×	「 □ ×	× □ ー	「君麻マ ×	× 木 ー	「白マ ×	× 臣 ×	「 □ □ □ ×	× 万 呂 ー	× □ □ ×	× □ ー	「木マ里 ×	「雀男 ×	× □ ×	× 金万 □ ×	「大麻真猪万呂」
																	
女 21C	女 -	女 -	男 -	男 -	女 21B	女 -	男 -	男 -	男 -	女 21C	男 -	女 21C	女 -	男 -	男 -	女 21B	女 42
① 19・H 535・H 565 ② 白 14、マ、若 16、万 呂 (24) ③ Y 2 ④ 上 20	① 17・H 599 ③ Y 1	① 17・H 539 ② 木 (32)、マ 23 ③ V 3 ④ 上 10	① 17・H 597 ③ U 2	① 17・H 599 ③ Y 1	① 17・H 567、19・H 630 ② 君 26、麻 38、マ ③ U 1 ④ 上 30	① 17・H 599 ③ ー 1	① 19・H 505 ② 白 22、マ 10 ③ Y 1 ④ 上 80	① 17・H 540 ② 臣 (70) ③ U 2	① 17・H 507 ③ 凹 2	① 19・H 505 ② 万 呂 35 ③ U 1	① 17・H 506・H 507 ③ Y 1	① 17・H 507 ③ Y 2	① 17・H 599 ② 木 25、マ 12 ③ Y 2 ④ 上 25	① 17・H 550 ② 雀 75 ③ U 2 ④ 上 55	① 17・H 599 ③ U 2	① 17・I 574 ③ Y 2	① 17・H 598 ② 麻 17、真 15、猪 (13)、万 呂 (25) ③ U 1

1606 30260	1605 29478	1604 32999	1603 65834	1602 35311	1601 29065	1600 30682	1599 40564	1598 39659	1597 40440	1596 38230	1595 37507	1594 31885	1593 29705	1592 31857	1591 35292	1590 37314	1589 33042
「雀マ□×	「木マ小兆」	「酒×	「丈マ忍万呂」	「白マ玉支」	「酒マ小足繼」	「□×	×男」	×連工」	×□田マ尔□×	「丈×	「白×	×□×	「酒マ男諸×	×□尔万呂」	×呂」	「神主マ弟×	「田領」
																	
男	女	女	男	男	女	男	女	女	男	男	男	男	女	女	女	女	女
-	-	21C	-	-	42	-	-	21C	-	-	-	-	-	42	42	-	21B
① 17・H 597 ③ Y 1	① 17・H 567 ④ 下 213	① 17・H 598 ② 酒(20) ③ U 1 ④ 上 66	① 17 ② 丈(34)、マ 21、忍 43、万呂 30 ③ U 2 ④ 上(18)	① 17・H 599 ② 白 24、マ 12、玉 20、支 34 ③ U 2 ④ 上 33	① 17・H 506・H 507 ② 酒(26)、マ 12、小 10、足(19)、繼(15) ③ Y 1 ④ 上 23	① 17・H 597 ③ U 3	① 17・H 508 ③ Y 3	① 17・H 540 ② 工 10 ③ U 1 ④ 下 113	① 17・H 508 ② 田 21、マ 13、尔 25 ③ U 2	① 17・H 540・H 570 ③ U 3 ④ 上 40	① 17・H 568 ② 白 19 ③ U 2 ④ 上 70	① 17・H 597 ③ U 2	① 17・H 568・H 597・H 598 ② 酒 20、男(21)、諸(22) ③ Y 2	① 17・H 597 ② 尔 16、万呂 30 ③ Y 1	① 17・H 599 ③ Y 1	① 17・H 567 ② 神 25、主(17)、マ 10、弟 35 ③ Y 1 ④ 上 40	① 17・H 567・H 598 ② 田 10、領 19 ③ U 1 ④ 上 29

1624 40696	1623 47762	1622 33043	1621 48661	1620 50000	1619 47761	1618 34934	1617 30513	1616 31132	1615 33703	1614 44376	1613 48165	1612 33080	1611 36703	1610 30234	1609 30316	1608 30528	1607 35105
× 臣	「酒 □ ×	「手 千	× □ □ ×	× □ 男	「三枝マ鳥 ×	「 □ ×	「木マ □	「三枝マ ×	「君子古君 ×	「酒マ ×	× 玉 支	× 酒マ 男 ×	「川 和 □ ×	「雀マ古万呂 ×	「雀マ □ ×	「雀 男	「氏家 □ 万呂
																	
男	女	女	女	女・	女	男	女	女	女	女	女	女	女	男	男	男	女
-	-	-	-	-	-	-	21B	21C	-	-	21B	-	21C	-	-	-	21C
① 17・H 510・H 540 ③ U 1	① 19・H 505 ② 酒 21 ③ V 1 ④ 上 28	① 17・H 598 ② 手 30、千 31 ③ U 1 ④ 上 (13)	① 19・H 535 ③ V 1	① 19・H 599 ② 男 20 ③ V 1	① 19・H 505 ② 三 7、枝 18、マ 10、鳥 31 ③ 1 ④ 上 (28)	① 17・H 599 ③ U 2	① 17・H 597 ② 木 (20)、マ 10 ③ V 1 ④ 上 (31)	① 17・H 596・H 597 ② 三 9、枝 (19)、マ 10 ③ U 1 ④ 上 18	① 17・H 598 ② 君 18、子 18、古 18 ③ V 2 ④ 上 13	① 17・H 550 ② 酒 33 ③ V 1 ④ 上 10	① 17・19・H 535・H 565 ② 支 30 ③ V 1	① 17・H 598 ② 酒 26、マ 16、男 (22) ③ V 1 ④ 上 (40)	① 17・H 567 ② 川 (17)、和 (13) ③ V 2	① 17・H 597 ② 雀 (22)、マ 17、古 17 ③ V 1 ④ 上 (24)	① 17・H 597 ② 雀 42、マ 17 ③ V 2 ④ 上 26	① 17・H 597 ② 雀 (70)、男 (65) ③ U 1 ④ 上 66	① 17・H 599 ② 家 (18) ③ U 1

1641	1640	1639	1638	1637	1636	1635	1634	1633	1632	1631	1630	1629	1628	1627	1626	1625
30526 (凸面)	30855	29645	30650	29059	39391	29753	34618	30646	40353	32981	33570	37727	40071	29883	30367	29721
「大」	「凸凸刀万邑」	「マ若万邑」	「文マ万邑」	「酒」	「凸凸凸」	「雀マ」	「鳥」	「凸」	「白マ」	「雀男」	「酒マ凸男」	「酒マ凸」	「白マ毛人」	「雀マ牧男」	「氏マ古」	「凸」
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	女	女	男	男	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21C	21C	-	-	42	21C
① 17・H 597 ② 大 (53) ③ 凸面・U 1、凹面・U 2 ④ 凸面・上 20、凹面・上 30	① 17・H 567・H 597 ② 刀 (36)、万邑 (60) ③ U 2	① 17・H 596 ② 若 44 ③ U 2	① 17・H 597 ② 彡 25、万邑 46 ③ U 1	① 17・H 506・H 507 ③ V 2	① 17・H 539 ③ U 3	① 17・H 597 ② 雀 53 ③ U 2 ④ 上 (20)	① 17・H 598 ③ U 2 ④ 上 105	① 17・H 597、19・H 627 ③ V 2	① 17・H 508 ② 白 33、マ 13 ③ U 1 ④ 上 84	① 17・19・H 598 ② 雀 96 ③ V 1 ④ 上 34	① 17・H 598 ② 酒 21、男 21 ③ V 1 ④ 上 13	① 17・H 569 ② 酒 (17)、マ (7) ③ U 1 ④ 上 80	① 17・H 507 ② 白 29、マ 26、毛 30、人 20 ③ V 1 ④ 上 18	① 17・H 596・H 597 ② 牧 28 ③ 凹 2	① 17・H 593・H 597 ② 氏 28、彡 9、古 12 ③ U 2 ④ 上 8	① 17・H 597 ③ V 2


1677	32643	1677	「□×」		男	-	① 17 - H 597 ③ U 1
1676	48554	1676	「三枝×」		女	-	① 19 - H 535 ② 三 (15)、枝 (25) ③ 1 1 ④ 上 (33)
1675	30673	1675	「木マ□□」		女	21C	① 17 - H 597 ② 木 24、マ 25 ③ U 1 ④ 上 7
1674	49310	1674	× 呂」		女	21C	① 19 - H 565 ③ U 1
1673	33045	1673	「酒マ□□」		女	21C	① 17 - H 598 ② 酒 (24)、マ 12 ③ U 1 ④ 上 (11)
1672	30451	1672	「雀マ×」		女	-	① 17 - H 597 ② 雀 (28)、マ 10 ③ V 2 ④ 上 24
1671	69199	1671	× □ ×		男	-	① 20 - H 508 ③ U 2
1670	31881	1670	「雀マ乙和木」		男	-	① 17 - H 597 ② 雀 (24)、マ 11、乙 (12)、 和 15、木 8 ③ U 1 ④ 上 (50)
1669	50380	1669	× □ ×		男	-	① 19 - H 627 ③ U 1
1668	37173	1668	「白マ×」		男	-	① 17 - H 567 ② 白 40、マ 18 ③ U 2 ④ 上 35
1667	33736	1667	× □ マ 得」		男	-	① 17・19 - H 598 ② 得 (30) ③ U 1
1666	35325	1666	「雀マ牧男」		男	-	① 17 - H 569・H 599 ② 雀 44、マ 10、牧 (18)、 男 35 ③ V 1 ④ 上 30
1665	30150	1665	「□□×」		男	-	① 17 - H 596・H 597 ③ U 2
1664	29869	1664	「矢田万呂」		女	21C	① 17 - H 597・H 627 ② 田 (13)、万 16 ③ V 1 ④ 上 12
1663	37122	1663	× 丈マ×		男	-	① 17 - H 567 ③ U 1
1662	29372	1662	「大麻×」		女	-	① 17 - H 510 ② 大 20、麻 24 ③ V 1 ④ 上 9
1661	30114	1661	× 称万呂」		女	42	① 17 - H 567・H 597、19 - H 566・H 596 ③ V 1
1660	49351	1660	× 鳥万呂」		女	21C	① 19 - H 535・H 565 ② 鳥 24、万呂 25 ③ U 1








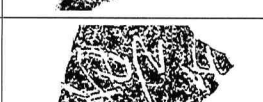










1695 43031	「田領」		女	42	① 17 - I 541 ② 田 13、領 21 ③ U 1 ④ 上 24
1694 30000	「大麻古万呂」		女	-	① 17 - H 597 ② 古 (15)、万呂 22 ③ Y 1
1693 39430	「神主マ牛万呂」		女	21B	① 17 - H 539 ② 主 9、マ、牛 13、万呂 17 ③ Y 1
1692 46547	(酒) ×□マ古見」		女	21C	① 17 - I 573 ② マ (17)、古 20 ③ Y 1
1691 40411	「雀マ乙×」		男	-	① 17 - H 508 ② 雀 60、マ 12、乙 (34) ③ V 2 ④ 上 24
1690 43600	×□□□」		男	-	① 17 - I 540 ② I 549 ③ I 550 ④ U 1
1689 38287	(若)(人) ×□麻マ毛□×		男	-	① 17 - I 541 ② I 542 ③ I 570 ④ I 571 ⑤ 麻 50、マ 12、毛 50 ⑥ U 3
1688 42791	「□□□□×」		男	-	① 17 - I 520 ② I 550 ③ I 550 ④ U 1
1687 42613	「酒マ万呂」		女	42	① 17 - I 520 ② I 550 ③ 酒 24、マ 15、万呂 38 ④ 上 24
1686 53088	×マ古万呂」		女	-	① 19 - I 635 ② マ 13 ③ Y 1
1685 29878	×男」		女	42	① 17 - H 597、19 - H 630 ② 男 (33) ③ V 2
1684 30544	(少) 「酒マ□赤男」		男	-	① 17 - H 597 ② 酒 (20)、マ 6、赤 23、男 22 ③ U 1 ④ 上 63
1683 39241	×□」		女	21C	① 17 - 19 - H 538 ② H 539 ③ V 2
1682 30005	「□□×」		女	21C	① 17 - H 597 ③ U 2
1681 30261	「大」		女	21B	① 17 - H 597 ② 大 69 ③ U 2 ④ 上 18
1680 38812	「雀マ女万呂」		女	42	① 17 - H 600 ② 雀 30、マ 9、女 (18) ③ U 2 ④ 上 5
1679 36200	×万呂」		女	21B	① 17 - H 566 ③ U 2
1678 30757	「酒×」		男	-	① 17 - H 597 ② 酒 (33) ③ U 1 ④ 上 23


















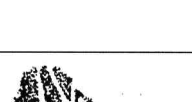
1731 53901	1730 51751	1729 41503	1728 65146	1727 44521	1726 43899	1725 43898	1724 52160	1723 51501	1722 53335	1721 53091	1720 53906	1719 52502	1718 53593	1717 48093	1716 51498	1715 52857	1714 52159
「氏家 ×	× □ □ ×	「川和 ×	「氏家 □ □ ×	× □ ×	× 牛 「	「酒 × 連工」	「雀 ×	× 古見 「	× 木 × 万 ×	× □ ×	× □ 万 岳 「	「酒 ×	「酒 ×	× □ 「	「丈 × 臣」	× 岳 「	「酒 ×
女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 42	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -
① 19 - I 638 ② 氏 (25) ③ U I ④ 上 12	① 19 - I 521 ③ V 2	① 17 - I 489 ② 川 15、和 (12) ③ U I ④ 上 30	① 17 - I 579 ② 氏 23、家 20 ③ V I ④ 上 7	① 17 - I 550 ③ V I	① 17 - I 550 ② 牛 (25) ③ U 2	① 17 - I 550 ② マ 10、連 17 ③ U I	① 19 - I 602 ③ U 2 ④ 上 4	① 19 - I 520 ② 見 (25) ③ V 2	① 19 - I 631 ② マ 10、万 16 ③ V I	① 19 - I 635 ③ U I	① 19 - I 638 ③ U I	① 19 - I 604 ③ V 3	① 19 - I 636 ② 酒 (30) ③ V 2 ④ 上 23	① 19 - I 513 ③ U I	① 18 - I 489、19 - I 520 ② 丈 22、マ 4、臣 20 ③ U I ④ 上 3	① 19 - I 604 ③ U I	① 19 - I 602 ② 酒 (32) ③ V 2 ④ 上 12













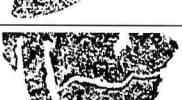




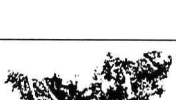
1749 53786	1748 29200	1747 45831	1746 53982	1745 65147	1744 64711	1743 45501	1742 46863	1741 42520	1740 43560	1739 43382	1738 41881	1737 41839	1736 53553	1735 52501	1734 51961	1733 51952	1732 45365
「酒マ連工」	「白(鳥) ×	×マ玉支×	「□マ□×	「酒マ得足」	×□□万呂	×□×	「酒□×	×□マ□×	「白玉支万呂」	「雀マ□×	「川和古万呂」	「酒マ得足」	「酒×	×尔マ×	×マ万呂」	×万呂×	×□×
女	男	男	男	女	女	男	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
-	-	-	-	21B	-	-	-	-	21C	-	42	-	-	-	42	-	-
① 19 · I 637 U I ④上 33	① 17 · I 506 · I 507 · I 508 ③ U I ④上 15	① 17 · I 573 2 ②マ(20)、玉 23、支 33 ③ U	① 19 · I 550 ②マ(12) ③ Y I	① 17 · I 579 ④上 16 ②酒 23、マ(9)、足 25 ③ U I	① 17 · I 577 ③ Y I	① 17 · I 572 ③ Y 2	① 17 · I 574 ③ Y I ④上(18)	① 17 · I 520 ②マ(10) ③ Y I	① 17 · I 549 · I 579 ③ I I ④上 17 ②白 30、玉 26、支(26)	① 17 · I 547 · I 548 上 17 ②雀 30、マ 9 ③ U I ④	① 17 · I 511 ③ U I ④上 32 ②川 7、和 10、古 9、万呂 17	① 17 · I 511 Y I ④上 24 ②酒 22、マ 10、得 17、足 9 ③	① 19 · I 636 ③ U I	① 19 · I 604 ②尔 20 ③ Y I	① 19 · I 549 ②マ(9)、万呂 42 ③ U I	① 19 · I 549 ③ Y I	① 17 · I 572 ③ Y I















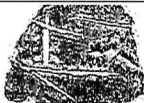

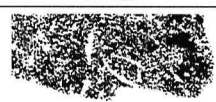

1767 47025	1766 41791	1765 41840	1764 53793	1763 45152	1762 45271	1761 45241	1760 44704	1759 44703	1758 45000	1757 44999	1756 44991	1755 45284	1754 44930	1753 44947	1752 44909	1751 68611	1750 44418
「□□×	「酒マ古見」	「酒マ連工」	「木マ小兆」	×□×	×□×	×□×	「酒×	×□」	「君×	×牧×	×□」	×小廣×	「大×	「川×	×□×	「雀マ女万×	×臣」
男	女	女	女	女	男	女	女	女	女	男	女	男	女	女	女	女	男
-	21C	21C	-	-	-	-	-	-	-	-	21B	-	-	-	-	-	-
① 17 - I 575 ③ U 2	① 17 - I 511・I 541、19 - H 630 古(32)、見 24 ③ Y 1 ④ 上(21)	① 17 - I 511 U 1 ④ 下 72	① 19 - I 637 U 1 ④ 上 35	① 17 - I 571 ③ U 2	① 17 - I 571 ③ Y 2	① 17 - I 571 ③ Y 2	① 17 - I 571 ③ Y 1 ④ 上 22	① 17 - I 571 ③ U 1	① 17 - I 571 ③ U 2 ④ 上 24	① 17 - I 571 ② 牧(25) ③ U 2	① 17 - I 571 ③ Y 2	① 17 - I 571 ③ U 2	① 17 - I 571 ② 大(50) ③ U 2 ④ 上 14	① 17 - I 571 ② 川(15) ③ Y 1	① 17 - I 571 ③ U 1	① 20 - I 173 ② 雀 42、マ 15、女 14 ③ U 2 ④ 上 5	① 17 - I 550 ③ U 2














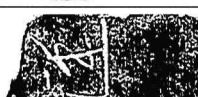




1785 53796	1784 41972	1783 41820	1782 44371	1781 51520	1780 64634	1779 46701	1778 42543	1777 43831	1776 46250	1775 42095	1774 47020	1773 65145	1772 52158	1771 41639	1770 41177	1769 41084	1768 54475
「大麻古万呂」	×マ□□×	×□マ×	「丈×	×雀マ小酒」	×□」	×□□×	「酒マ連工」	×□」	「□□□□」	「大麻古×	「君□×	×真男」	「酒マ赤万呂」	×麻マ×	「白マ立」	「若麻マ毛人×	×雀マ乙」
																	
女	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女	女	女	男	女	男
-	-	-	-	-	-	-	-	21C	21C	-	42	21B	21B	-	-	-	-
① 19 - I 631 ② 大 17、麻 20、古 15、万呂 21 ③ Y I ④ 上 8	① 17 - I 515 ③ Y I	① 17 - I 511 ② ザ 35 ③ U I	① 17 - I 550 ③ U 2 ④ 上 13	① 19 - I 520 ② ザ 9、小 14、酒 28 ③ Y I	① 17 - I 576 ③ Y I	① 17 - I 574 ③ Y 2	① 17 - I 520、19 - I 520 ② 酒 23、ア、連 15、工 9 ③ U I	① 17 - I 550 ③ Y 2	① 17 - I 575、19 - I 604 ③ U I	① 17 - I 518 ② 大 21、麻 20 ③ Y I ④ 上 56	① 17 - I 575 ③ Y I ④ 上 (23)	① 17 - I 579 ② 真 19、男 19 ③ Y I	① 19 - I 602 ② 酒 19、ア、赤 16、万呂 14 ③ U I ④ 下 68	① 17 - I 489、19 - I 520 ② 麻 30 ③ U 2	① 17 - I 488 ② 白 30、マ 16 ③ Y 2	① 17 - I 488 ② 若 23、麻 21、ア、毛 14、人 (16) ③ Y I ④ 上 15	① 19 - I 610 ② ザ 15、乙 (19) ③ Y 2

1803	1802	1801	1800	1799	1798	1797	1796	1795	1794	1793	1792	1791	1790	1789	1788	1787	1786
46359	43722	45554	45333	46548	64132	43916	53002	46943	41758	45706	65450	43439	44663	41671	53787	52010	41971
× 兆 ×	× □ ×	× □ ×	「 □ ×	× 古 ×	「 大 □ ×	「 白 マ ×	「 白 マ 毛 ×	「 酒 ×	「 雀 ×	「 木 マ ×	× □ ×	「 尔 ×	「 木 マ 兆 ×	× 万 呂 「	「 酒 ×	× □ 「	「 雀 ×
																	
女 -	女 -	男 -	女 -	女 21C	女 -	男 -	女 -	女 -	男 -	女 -	男 -	男 -	女 21B	女 42	女 21C	男 -	男 -
① 17 - I 573 ③ V 2	① 17 - I 549 ③ V 1	① 17 - I 572 ③ V 1	① 17 - I 546 ② 大 (15) ③ U 1 ④ 上 12	① 17 - I 550 ② 白 40、マ (25) ③ U 2 ④ 上	① 19 - I 609 ② 白 20、マ 7 ③ V 1	① 17 - I 574 ③ V 1 ④ 上 13	① 17 - I 511 ② 雀 (23) ③ V 1 ④ 上 7	① 17 - I 573 ② 木 17 ③ - 1 ④ 上 5	① 17 - I 580 ③ U 1	① 17 - I 548 ③ U 3	① 17 - I 571 ② 木 25、マ 10 ③ V ④ 上 113	① 17 - I 489 ② 万 呂 22 ③ U 1	① 19 - I 637 ② 酒 (23) ③ U 1	① 19 - I 601 ③ V 2	① 17 - I 515 ② 雀 40 ③ V 2 ④ 上 50		



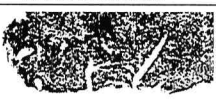










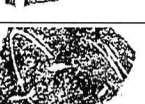
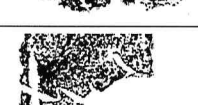


1839	46951	1822	41637	1822	41637	× □ □ ×		女	-	① 17 - I 574 ③ U 2 ④ 上 15
1838	45572	1823	42602	1823	42602	× □ 古 ×		女	-	① 17 - I 572 ② 古 15 ③ Y I
1837	43318	1824	64963	1824	64963	× □ 小 石 □ ×		女	-	① 17 - I 546 ② 小 10、石 (10) ③ Y I
1836	41081	1825	65351	1825	65351	「 三 枝 ×		女	-	① 17 - I 488 ② 三 10 ③ U I ④ 上 11
1835	42400	1826	43738	1826	43738	× □ □ ×		男	-	① 17 - I 489 ③ U I
1834	41501	1827	46601	1827	46601	× 雀 マ □ ×		男	-	① 17 - I 489 ② マ 12 ③ Y I
1833	41275	1828	44281	1828	44281	× 男 ×		女	-	① 17 - I 489 ③ V 2
1832	41502	1829	46358	1829	46358	× 万 呂 「		女	-	① 17 - I 489 ③ U I
1831	45579	1830	43737	1830	43737	× 呂 □ ×		女	-	① 17 - I 592 ③ Y I
1830	43737	1831	45579	1831	45579	× 丈 マ 臣 ×		女	-	① 17 - I 549 ② 丈 20、マ 11、臣 (21) ③ U 1
1829	46358	1832	41502	1832	41502	× 木 マ ×		女	-	① 17 - I 573 ② マ 22 ③ U 2
1828	44281	1833	41275	1833	41275	× 真 □ 「		女	-	① 17 - I 550 ② 真 (21) ③ I 1
1827	46601	1834	41501	1834	41501	× □ □ ×		男	-	① 17 - I 574 ③ V 2
1826	43738	1835	42400	1835	42400	「 神 ×		女	-	① 17 - I 549 ② 神 (19) ③ Y I ④ 上 (13)
1825	65351	1836	41081	1836	41081	× □ 「		女	-	① 17 - I 579 ③ U I
1824	64963	1837	43318	1837	43318	× □ 「		女	21C	① 17 - I 578 ③ 逆 U 4
1823	42602	1838	45572	1838	45572	× □ 万 呂 「		女	21B	① 17 - I 520 ② 万 呂 20 ③ Y I
1822	41637	1839	46951	1839	46951	× □ □ ×		女	-	① 17 - I 489 ③ Y I







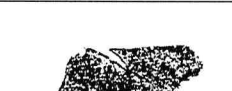




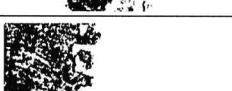






1857 44447	1856 43736	1855 43735	1854 43712	1853 43366	1852 43241	1851 42634	1850 41202	1849 42431	1848 54268	1847 43913	1846 43307	1845 44442	1844 53970	1843 42402	1842 41023	1841 43001	1840 66425
×	┌	×	×	×	×	×	×	┌	×	×	×	×	×	┌	×	×	×
□	若	雀	□	□	玉	□	岳	□	臣	立	□	□	□	□	□	マ	□
┌	×	×	×	×	×	×	┌	×	×	┌	×	×	×	×	×	×	×
					 (17/3)												
男	女	男	女	女	男	女	男	男	女	男	男	男	男	男	男	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 17 - I 550 ③ V I	① 17 - I 549 ② 若 27 ③ V 2 ④ 上 10	① 17 - I 549 ③ U 2	① 17 - I 549 ③ V I ④ 上 15	① 17 - I 547 ③ V 2	① 17 - I 545 ② 玉 (17)、支 (35) ③ U 2	① 17 - I 520 ③ V I	① 17 - I 483 ③ U I	① 17 - I 520 ③ U 2 ④ 上 25	① 19 - I 580 ② 7 ③ V I	① 17 - I 550 ③ V 2	① 17 - I 546 ③ U 2	① 17 - I 550 ② 万岳 (32) ③ V 2	① 19 - I 550 ③ U I	① 17 - I 489 ③ U 2	① 17 - I 486 ③ U I ④ 上 45	① 17 - I 541 ② 7 17 ③ U 2	① 16 - I 662 ③ U I

1875 42921	1874 64635	1873 64140	1872 53334	1871 44527	1870 53251	1869 64216	1868 42557	1867 28733	1866 46355	1865 65653	1864 46357	1863 46944	1862 65248	1861 64777	1860 64555	1859 46874	1858 46356
×	×	×	×	「	×	「	「	×	「	×	×	押印	×	×	×	「	「
白	□	万呂	マ	神	白マ玉支	□	□	白マ	酒	□	□	印	□男	麻	白	酒	木
×	□	×	×	×	支	×	×	×	×	□	□	印	×	×	×	×	×
																	
女	女	女	女	女	男	女	女	女	女	女	女	女	男	男	男	女	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 17 - I 541 ③ U 2	① 17 - I 576 ③ Y 1	① 17 - I 546 ③ U 1	① 19 - I 631 ② マ 12 ③ U 1	① 17 - I 550 ② 神 (20) ③ - I ④ 上 (21)	① 19 - I 635 ② 白 (8), マ 8, 玉 8, 支 20 ③ U 1	① 17 - I 575 ③ U 2 ④ 上 (5)	① 17 - I 520 ③ U 1 ④ 上 (7)	① 16 - I 631 ② マ 7 ③ Y 1	① 17 - I 573 ③ Y 1	① 17 - I 601 ③ U 1	① 17 - I 573 ③ U 1	① 17 - I 574 ③ U 4	① 17 - I 579 ② 男 24 ③ U 1	① 17 - I 577 ③ U 3	① 17 - I 575 ② 白 25 ③ U 2	① 17 - I 574 ② 酒 (19) ③ U 1	① 17 - I 573 ③ V 2



















1893 53106	1892 52546	1891 54003	1890 52503	1889 52388	1888 52692	1887 53573	1886 52621	1885 64786	1884 64983	1883 53790	1882 66464	1881 43379	1880 65449	1879 53800	1878 53023	1877 66613	1876 43408
×	┌	┌	×	×	×	×	┌	×	×	×	×	×	×	×	×	×	┌
□	□	酒	白	□	□	□	酒	□	呂	麻	古	□	逆	マ	マ	□	□
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	若	×	×
																	
女	女	女	女	男	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	男	男	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	21C	-	-	-	-	-	-	-	-
① 19 - I 635 ③ V 2	① 19 - I 604 ③ V 2 ④ 上 73	① 19 - I 550 ② 酒 (17) ③ Y I	① 19 - I 604 ② マ 7 ③ U I	① 19 - I 603 ③ I I	① 19 - I 604 ③ U I	① 19 - I 636 ③ U I	① 19 - I 604 ③ U I	① 17 - I 577 ③ I I	① 17 - I 578 ③ Y I	① 19 - I 637 ③ V 2	① 16 - I 662 ② マ (7)、古 18 ③ U I	① 17 - I 597 ③ V 2	① 17 - I 580 ② 逆 20 ③ Y I	① 19 - I 637 ② マ 8 ③ Y I	① 19 - I 609 ② マ 17 ③ U 2	① 16 - I 663 ③ U I	① 17 - I 547 ③ Y I



















1911 41747	1910 42075	1909 42403	1908 42074	1907 53714	1906 42717	1905 42097	1904 48113	1903 53001	1902 53252	1901 53789	1900 51163	1899 48091	1898 53637	1897 53591	1896 48094	1895 52821	1894 51671
× □ □ ×	× 麻 若 ×	× □ □ ×	「 白 マ ×	× □ □ ×	× □ ×	× マ 毛 ×	× 金 男 ×	「 大 ×	× 大 麻 マ □ □ ×	× □ ×	「 木 マ ×	× 麻 「	× □ □ ×	「 酒 ×	「 神 ×	× □ ×	× マ 毛 ×
男 -	男 -	男 -	男 -	男 -	男 -	男 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 42	女 -	女 -	女 -	女 -
① 17 - I 511 ③ U 2	① 17 - I 518 ② 麻 (23) ③ U 1	① 17 - I 520 ③ V 1	① 17 - I 513 ② 白 20 ③ V 1 ④ 上 40	① 17 - I 577、19 - I 637 ③ U 3	① 17 - I 520 ③ U 1	① 17 - I 518 ② マ (35) ③ V 1	① 19 - I 519 ② 金 (28) ③ V 2	① 19 - I 609 ③ U 2 ④ 上 (30)	① 19 - I 635 ② マ 17 ③ U 2	① 19 - I 637 ③ U 2	① 19 - I 630 ② 木 22、マ 13 ③ V 2 ④ 上 (27)	① 19 - I 519 ② 麻 (30) ③ V 1	① 19 - I 636 ③ V 1	① 19 - I 636 ② 酒 (21) ③ V 1 ④ 上 II	① 19 - I 519 ③ U 1 ④ 上 (17)	① 19 - I 604 ③ U 2	① 19 - I 521 ③ V 1

1947 44445	1947 52365	1946 43242	1945 41178	1944 64589	1942 64327	1941 54477	1940 43437	1939 44102	1938 46818	1937 66883	1936 46364	1935 54326	1934 64595	1933 52504	1932 66887	1931 44441	1930 64921		
×酒マ□×	「大伴マ」	×□支×	×白マ×	×□×	×□男×	×毛人×	×□マ×	×マ称×	×万呂×	「酒	×□×	×和木×	×□マ□×	×古□×	×□□×	×雀男×	×□×		
																			
女	男	男	男	男	女	女	男	男	女	女	男	女	男	女	女	男	男	男	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
① 17 - I 550 ② 酒 13、マ 8 ③ I I	① 19 - I 603 ② マ (16) ③ U I	① 17 - I 545 ③ V 2	① 17 - I 488 ② マ (11) ③ V 2	① 17 - I 576 ③ V I	① 17 - I 575 ③ V I	① 19 - I 610 ② 毛 (19)、人 18 ③ V I	① 17 - I 548 ③ V I	① 17 - I 550 ② マ 15 ③ V 2	① 17 - I 574 ② 万呂 (38) ③ V I	① 16 - I 691 I 692 ③ U 2 ④ 上 (80)	① 17 - I 573 ③ U I	① 19 - I 581 ② 和 17、木 20 ③ U I	① 17 - I 576 ② マ 16 ③ U I	① 19 - I 604 ③ U 2	① 16 - I 691 ③ V 2	① 17 - I 550、 19 - I 520 ③ 四 3	① 17 - I 578 ③ U I		

1965 65836	1965 55023	1964 55003	1963 54979	1962 65911	1961 65887	1960 54604	1959 54844	1958 54752	1957 54890	1956 54711	1955 54601	1954 54713	1953 43438	1952 54712	1951 65928	1950 54521	1949 54520	1948	
「酒マ×	×	×	×	「酒×	「□□□□」	×	×	×	×	×	「□×	×	「雀マ古□×	「酒×	×	「酒×	「酒マ×		
																			
女	女	男	女	女	女	女	男	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
① 17 ② 酒 30、マ (15) ③ Y 1 ④ 上 5	① 19 ③ U 1	① 19 ③ U 2	① 19 ② 金 (33) ③ Y 2	① 17 ③ Y 1 ④ 上 8	① 17 ③ Y 1 ④ 上 (6)	① 19 - 排土中 ③ Y 2	① 19 - 排土中 ③ U 2	① 19 - 排土中 ③ Y 1	① 19 - 排土中 ② マ 10 ③ Y 1	① 19 - 排土中 ② マ 11 ③ U 1	① 19 - 排土中 ③ Y 2	① 19 - 排土中 ② 雀 25、マ 15 ③ Y 2	① 17 - I 548、18 - I 429 ② 雀 35、マ 8、古 (30) ③ Y 1 ④ 上 25	① 19 - 排土中 ③ Y 2 ④ 上 (8)	① 17 ③ Y 2	① 19 - 排土中 ③ Y 1 ④ 上 8	① 19 - 排土中 ② 酒 (24)、マ (12) ③ Y 1 ④ 上 (30)		



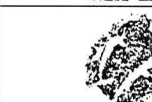








1966	1966	54901	×	□	×		男	-	① 19 ③ U 1				
1967	1967	54922	「	□	雀		男	-	① 19 ③ I 1				
1968	1968	66022	「	丈	×		男	-	① 17、表土層一括 ②丈42 ③V 2 ④上28				
1969	1969	65835	×	□	□		男	-	① 17 ③U 3				
1970	1970	65837	「	丈	マ	×		男	-	① 17 ②丈55 ③U 2			
1971	1971	65888	「	神主	マ	牛	万	呂		女	-	① 17 ②神9、主6、マ5、牛9、万呂16 ③ V 1 ④上1	
1972	1972	67053	「	□	□	□	×		女	21C	① 16、I 692 ③V 2		
1973	1973	66641	「	□	マ	□	「		女	21C	① 16、I 663 ③V 2		
1974	1974	66592	×	□	「		女	21B	① 16、I 663 ③V 2				
1975	1975	67051	「	雀	マ	古	万	呂		男	-	① 16、I 692 ②マ(20)、古20、万呂35 ③ U 2	
1976	1976	53003	×	酒	マ	×		女	-	① 19、I 609 ②マ17 ③V 2			
1977	1977	29364	「	古	万	呂	「		女	21B	① 17、H 509、H 510 ②古37、万呂53 ③U 1 ④上(57)		
1978	1978	61875	「	酒	マ	毛	「		女	21B	① 18、I 489、I 490 ②酒37、マ22、毛(29) ③V 2 ④上3		
1979	1979	60971	「	酒	×		女	-	① 18、I 461 ③V 1				
1980	1980	57089	×	□	×		男	-	① 18、I 431 ③U 2				
1981	1981	60141	「	大	麻	マ	猪	万	呂		女	21C	① 18、I 450、I 459、I 460、I 489 ②大27、 麻27、マ11、猪(20) ③U 1 ④上15
1982	1982	63297	「	三	枝	マ	小	麻	「		女	42	① 18、I 490 ②三10、枝(20)、マ10、小7、 麻25 ③V 1 ④上29
1983	62061		「	木	マ	里	「		女	21B	① 18、I 488、I 489 ②木15、マ7、里14 ③ U 1 ④上37		










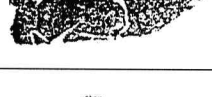








2001 59941	2000 63143	1999 62088	1998 63974	1997 59701	1996 41325	1995 59442	1994 63986	1993 59232	1992 59196	1991 47322	1990 41638	1989 59821	1988 63060	1987 61485	1986 63337	1985 63733	1984 62083
「氏マ男」	「酒マ得足」	「木マ大伴」	「□□古」	×マ田方×	「酒マ連工」	×□×	×□□×	×□×	×刀×	「□マ□×	「足万呂」	×領」	「木マ兆」	「爲手×	「酒マ古万呂」	「神×	「木マ大□」
																	
女 42	女 21B	女 42	女 21B	男 -	女 21C	男 -	女 -	男 -	男 -	女 -	女 21C	女 21B	女 21C	女 21C	女 21B	女 21B	女 42
① 18 - I 459 · I 490 ② 氏 18、マ 10、男 30 ③ U I ④ 上 13	① 18 - I 490 ② 酒 19、マ 10、得 15 ③ Y I ④ 上 8	① 18 - I 489 ② 木 20、マ 10、大 24、伴 26 ③ U I ④ 上 18	① 18 - I 452 ② 古 30 ③ U 2 ④ 上 (22)	① 18 - I 459 · I 489 ② 田 37 ③ U 2	① 18 I 489 · I 490 ② 酒 17、マ (8)、連 (17)、 工 8 ③ U I ④ 上 186	① 18 - I 458 ③ Y I	① 18 - I 458 ③ Y I	① 18 - I 458 ③ Y I	① 18 - I 458 ③ U 2	① 18 · 19 · H 476 · H 505 ② マ 14 ③ Y I	① 17 · 18 - I 489 ② 足 25 ③ U I ④ 上 37	① 18 - I 459 · I 480 · I 489 · I 490 ③ U I	① 18 - I 489 · I 490 ② 木 20、マ (15)、兆 (35) ③ Y 2 ④ 上 67	① 18 - I 488 · I 489 ② 爲 33、手 (27) ③ Y ④ 上 20	① 18 - I 490 ② 酒 19、マ 10 ③ U I	① 18 - I 490 ② 神 (15) ③ Y I ④ 上 117	① 18 - I 489 ② 木 22、マ 8、大 20 ③ - I ④ 上 9



















2036 55391	2035 63957	2034 55986	2033 55354	2032 64015	2031 55654	2030 59928	2029 61640	2028 63992	2027 59892	2026 63993	2025 60270	2024 60047	2023 63997	2022 61251	2021 61798	2020 41515	2019 42342
「□□万岳」	× □ □ ×	「木 ×	× □ □ ×	× □ ヲ尔 ×	「 □ ×	× □ ×	× □ ×	「 □ □ ×	「木 ヲ □ ×	× □ ×	× □ ×	× □ ×	× 古 ×	「 □ ×	× □ 「	「毛 人」	「 □ □ ×
																	
女 -	女 21C	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	女 -	男 -	女 -	女 -	女 -	女 21B	女 42	女
① 18 - H 447 ② 万岳 6 ③ U I ④ 上 (2)	① 18 - I 447 ③ U 2	① 18 - H 479 ③ V I ④ 上 (10)	① 18 - H 449 ③ V I	① 18 - H 479 ② ヲ 21、尔 30 ③ V 2	① 18 - H 477 ③ V I	① 18 - I 459 ③ V 2	① 18 - I 429 ③ U I	① 18 - I 459 ③ U I ④ 上 18 ⑤ 刻印の可能性あり	① 18 - I 459 ③ I I ④ 上 (15)	① 18 - I 459 ② 木 23、 ヲ 10 ③ U I ④ 上 10	① 18 - I 459 ③ V I	① 18 - I 459 ③ V 2	① 18 - I 459 ② 古 (13) ③ U I	① 18 - I 488 ③ V I ④ 上 (24)	① 18 - I 489 ③ I I	① 17・18 - H 489・H 490 ② 毛 20、人 17 ③ V I ④ 上 24	① 17・18 - I 489 ③ U I ④ 上 20




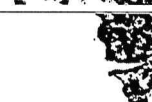
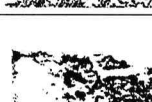













2054 63994	「木マ古×		女	-	① 18 - I 459 · I 460 埋土中 ②マ(7)、古 ③V2 ④上(17)
2053 59792	×マ立万呂×		男	-	① 18 - I 459 ②マ(13)、立(25)、万呂 43 ③Y1
2052 68536	×大麻マ×		男	-	① 18 - I 488 ②麻27、マ13 ③V2
2051 58359	「酒マ毛×		女	-	① 18 - I 455 ②酒(23)、マ(16)、毛 (18) ③Y1 ④上(20)
2050 68530	「酒マ毛×		女	-	① 18 - I 427 ②酒35、マ20 ③Y1 ④上20
2049 59531	×十		女	-	① 18 - I 459 ②十25 ③U3
2048 59935	×万呂		女	-	① 18 - I 459 ③V2
2047 63315	「酒マ万呂×		女	-	① 18 - I 401 · I 490 埋土中 ②酒(24)、マ 10、万呂30 ③U1 ④上(18)
2046 64012	×大麻×		女	-	① 18 - H 476 ②麻(35) ③U2
2045 55586	「□×		女	42	① 18 - H 476 ③Y1
2044 63872	「酒×		女	-	① 18 - H 476 ③U1
2043 55531	「白マ立万呂×		女	-	① 18 - H 476 ②白20、マ10、立20、万呂 (22) ③U1 ④上6
2042 63669	×見		女	-	① 18 - I 490 埋土中 ③Y1
2041 63797	「酒×		女	-	① 18 - I 491 ③Y1
2040 64061	×小兆×		女(偶切)	21C	① 18 - I 490 埋土中 ②兆15 ③Y1
2039 60400	×友		女	42	① 18 - I 459 · I 460 埋土中 ③Y1
2038 55207	×□□×		女	-	① 18 - H 447 ③Y1
2037 55454	×□呂×		-	-	① 18 - H 447 埋土中 ③I1

2072 63964	「神主 ×		女	-	① 18 - I 428 ② 神 15、主 10 ③ U I ④ 上 5
2071 63961	「丈 ×		女	-	① 18 - I 400 ② 丈 15 ③ Y I ④ 上 28
2070 63960	「宇遲 ×		女	-	① 18 - I 400 ② 宇 22 ③ Y I ④ 上 4
2069 63958	「君麻 ×	 (1/3)	女	-	① 18 - I 400 ② 君 25、麻 (33) ③ Y I ④ 上 15
2068 61616	× □ ×		男	-	① 18 - I 428 ③ U 2
2067 56361	× □ ×		女	-	① 18 - I 400 ③ Y 2
2066 56352	× □ ×		女	-	① 18 - I 400 ③ U 2
2065 68541	「神主マ牛万呂」		女	-	① 18 - I 490 埋土中 ② 神 16、主 10、マ 4、牛 13、万呂 16 ③ Y I ④ 上 3
2064 64050	× 足 「		女	21B	① 18 - I 489 ② 足 (10) ③ Y I
2063 62871	「物 ×	 (1/3)	女	-	① 18 - I 489 ③ U I ④ 上 32
2062 68546	× 酒マ毛人」	 (7/4)	女	21B	① 18 - I 490 埋土中 ② 之 24、毛 33、人 34 ③ V 3
2061 68533	「白マ ×		女	-	① 18 - I 458 ② 白 13、マ 11 ③ Y I ④ 上 20
2060 68526	「酒マ ×		女	-	① 18 - I 458 ② 酒 26、マ 9 ③ U 2 ④ 上 10
2059 62132	「酒 ×		女	-	① 18 - I 489 ③ - I ④ 上 30
2058 62118	× 古君 「		女	21B	① 18 - I 489 ② 古 (22)、君 27 ③ U 2
2057 58360	× □ ×		男	-	① 18 - I 455 ③ Y I
2056 62531	「矢田マ安万呂」		女	-	① 18 - I 489 埋土中 ② 矢 15、田 15、マ 6、安 14、万呂 26 ③ Y I ④ 上 10
2055 64017	「木マ古万呂 ×	 (1/3)	女	-	① 18 - I 487 埋土中 ② 木 20、マ 10、古 22 ③ - I ④ 上 23

2109	2109	57454	×	□	×		女	-	① 18 - I 430 ③ Y I
2110	2110	56967	×	□	×		女	-	① 18 - I 431 ③ U 2
2111	2111	57220	×	□	×		-	-	① 18 - I 431 ③ U 2
2112	2112	56855	×	□	×		女	-	① 18 - I 430 ③ U I
2113	2113	63971	「大	□	×		女	-	① 18 - I 431 ② 大 20 ③ U 2 ④ 上 9
2114	2114	59192	×	万	呂	「	女	21C	① 18 - I 458 ③ Y I
2115	2115	58971	「大	×			女	-	① 18 - I 458 ② 大 27 ③ U I ④ 上 5
2116	2116	63981	「酒	平	白	×	女	-	① 18 - I 458 ② 酒 (19)、平 (木) 15 ③ U I ④ 上 (17)
2117	2117	59231	×	白	×		男	-	① 18 - I 458 ② 白 34 ③ U I
2118	2118	63984	×	□	×		女	-	① 18 - I 458 ③ U I
2119	2119	63983	×	古	牛	×	女	-	① 18 - I 458 ② 古 (25)、牛 22 ③ U I
2120	2120	59370	「酒	×			女	-	① 18 - I 458 ② 酒 (26) ③ U I ④ 上 10
2121	2121	61864	×	万	呂	×	女	-	① 18 - I 489 ③ U I ⑤ 四面に刻字。
2122	2122	58710	「白	×			女	-	① 18 - I 457 ③ U I
2123	2123	64028	×	□	□	×	女	-	① 18 - I 488 ③ U 2
2124	2124	63289	×	□	×		女	-	① 18 - I 490 ③ Y I
2125	2125	61887	×	□	□	×	女	-	① 18 - I 489 ③ U 2
2126	2126	64030	×	□	□	×	女	-	① 18 - I 488 ③ U 2

2180 55157	2179 64006	2178 64005	2177 60472	2176 55114	2175 61551	2174 61581	2173 61570	2172 55088	2171 63982	2170 59242	2169 64013	2168 63879	2167 55548	2166 55633	2165 63972	2164 63969	2163 63970
×	×	┌	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
□	□	白	白	□	□	□	□	□	酒	万 呂	□	□	人	□	□	マ 若	□
×	┌	×	×	×	×	×	×	┌	×	┌	×	×	×	×	×	×	×
																	
女	女	女	男	男	男	男	男	女	男	男	男	男	男	女	男	男	男
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 18 - H 447 埋土中 ③ U 2	① 18 - I 460 埋土中 ③ Y I	① 18 - I 460 埋土中 ② 白 (19) ③ - I ④ 上 (15)	① 18 - I 460 埋土中 ② 白 (24) ③ U 3	① 18 - I 446 ③ U 2	① 18 - I 429 ③ U 3	① 18 - I 429 ③ U I	① 18 - I 429 ③ U 4	① 18 - I 427 ③ Y I	① 18 - I 458 ③ U I	① 18 - I 458 ② 万 呂 30 ③ U I	① 18 - I 476 ② 了 ③ U I	① 18 - I 476 ③ U 3	① 18 - I 476 ② 人 43 ③ U 2	① 18 - I 476 ③ U I	① 18 - I 431 ③ U I	① 18 - I 431 埋土中 ② 了 18、若 (50) ③ U 2	① 18 - I 431 埋土中 ③ U I

2252 69817	×	□	×		男	-	① 22 - I 505 埋土中 ③ Y I
2251 69762	×	□	×		男	-	① 22 - I 504 埋土中 ③ U I
2250 69733	「酒 ₇ 真万呂」				女	-	① 22 - I 504 埋土中 ② 酒 ₂₁ 、了 ₉ 、真 ₂₀ 、万呂 ₁₆ ③ Y I ④ 上 ₉
2249 69623	×	□	×	 (1/3)	女	-	① 22 - I 476 ③ U 2
2248 69588	×	□	×		女	-	① 22 - I 475 ③ U 2
2247 69482	×	□	×		女	-	① 22 - I 474 ③ Y I
2246 69442	「	神主	×		女	-	① 22 - I 474 ② 神 (14)、主 ₇ ③ U I ④ 上 (5)
2245 69364	×	□	「		男	-	① 22 - I 416 ③ U 3
2244 69355	×	酒	×		女	-	① 22 - I 416 ③ Y I
2243 69314	「	□	×		男	-	① 20 - I 表探 ③ Y I
2242 69228	×	□	×		男	-	① 20 - I 表探 ③ V 2
2241 69339	×	□	「	 (1/3)	男	-	① 20 - I 表探 ③ U I
2240 69175	×	□	×		男	-	① 20 - I 533 ③ U 2
2239 69158	×	□	×		女	-	① 20 - I 533 ③ U I
2238 69148	×	雀	×		男	-	① 20 - I 533 ③ Y I
2237 69144	×	□	×		男	-	① 20 - I 533、22 - I 505 ③ U 2
2236 69129	×	□	×	 (1/3)	男	-	① 20 - I 494 ③ Y 3
2235 69125	×	万呂	「		女	21	① 20 - I 494 埋土中 ② 万呂 ₂₇ ③ U 2

2270	70304	2270	70254	2253	70022	×	□	×		女	-	① 22 - I 506 表探 ③ V 1
2269	70254	2269	70254	2253	70022	「	酒	×		女	-	① 22 - I 506 表探 ③ V 2 ④ 上 (35)
2268	70253	2268	70253	2253	70022	×	□	×		女	-	① 22 - I 506 表探 ③ V 2
2267	70245	2267	70245	2253	70022	×	□	┌	 (1/7)	女	-	① 22 - I 506 表探 ③ V 1
2266	70218	2266	70218	2253	70022	「	□	×		男	-	① 22 - I 506 表探 ③ V 2 ④ 上 (20)
2265	70200	2265	70200	2253	70022	「	□	×		女	-	① 22 - I 506 表探 ③ I 1
2264	70364	2264	70364	2253	70022	「	木	×		女	-	① 22 - I 表探 ③ V 2
2263	70419	2263	70419	2253	70022	×	□	×		男	-	① 22 - I 表探 ③ V 1
2262	70001	2262	70001	2253	70022	×	マ	臣	 (1/3)	男	-	① 22 - I 504 表探 ② マ 21 ③ U 2
2261	70363	2261	70363	2253	70022	×	臣	×	 (1/6)	女	-	① 22 - I 474 表探 ② 臣 50 ③ U 3 ⑤ 凹面側に刻字。
2260	70004	2260	70004	2253	70022	「	丈	×	 (1/3)	男	-	① 22 - I 504 表探 ② 丈 (33) ③ U 3 ④ 上 25
2259	70000	2259	70000	2253	70022	「	□	×	 (1/3)	男	-	① 22 - I 504 表探 ③ V 3
2258	69966	2258	69966	2253	70022	×	□	×		男	-	① 22 - I 503 表探 ③ V 2
2257	69986	2257	69986	2253	70022	×	□	×		女	-	① 22 - I 503 表探 ③ V 2
2256	69928	2256	69928	2253	70022	「	□	×		男	-	① 22 - I 507 ③ 凹 2
2255	70020	2255	70020	2253	70022	「	鏡造鳥	×		女	-	① 22 - I 506 表探 ② 鏡 20、造 19 ③ V 1 ④ 上 10
2254	70021	2254	70021	2253	70022	×	古万呂	×		男	-	① 22 - I 505 表探 ③ U 2
2253	70022	2253	70022	2253	70022	×	万呂	×	 (1/3)	男	-	① 22 - I 505 表探 ③ U 2

報告書抄録

ふりがな	かみこうぬし・もばらかんがいせき 2	
書名	上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ	
シリーズ名	上三川町埋蔵文化財調査報告	宇都宮市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 37 集	第 92 集
編著者名	深谷 昇	前原義之
編集機関	上三川町教育委員会	宇都宮市教育委員会
所在地	〒 329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ 1-1	〒 320-8540 栃木県宇都宮市旭 1-1-5
発行年月日	西暦 2015 (平成 27) 年 3 月 31 日	

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみこうぬし もばらかんが 上神主・茂原官衙 いせき 遺跡	かみのかわまちおおあざかみこう 上三川町大字上神 ぬし しもこうぬし いした 主・下神主・石田 及び うつのみやし もばらちよう 宇都宮市茂原町	9301	1	36° 27'	139° 53'	20061016 ～ 20131225	4,988	遺跡保存の ための確認 調査
		9201	252	28"	11"			

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上神主・茂原官衙 遺跡	官衙	古墳時代 飛鳥時代 奈良時代 平安時代	瓦葺礎石建物跡 掘立柱建物跡 竪穴建物跡 区画溝・道路跡	瓦 土師器 須恵器	政庁跡、正倉跡等確認 文字瓦約 2,300 点
要約	<p>上神主・茂原官衙遺跡は、平成 15 年に国指定史跡となった奈良時代を中心とした下野国河内郡衙と推定される遺跡である。これまでの発掘調査では堀と塀のようなもので囲まれた南北約 390 m・東西約 250 m に及ぶ広大な範囲に、掘立柱建物跡を中心に竪穴建物跡・瓦葺礎石建物跡など、合わせて 90 棟を超える多数の建物跡が確認された。</p> <p>遺跡範囲のほぼ中心部分からは、3 棟の大型掘立柱建物からなる政庁が、政庁の南側からは多数の倉庫跡が規則正しく並べられている正倉が発見された。遺跡の南東部分からは、役所に取り付くように古代の道路跡（推定：東山道）が確認された。</p> <p>なお、正倉域のほぼ中央に位置する本遺跡唯一の瓦葺礎石建物跡からは、約 2,300 点の人名を主体とする文字瓦が出土している。</p>				

上三川町埋蔵文化財調査報告第 37 集
宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 92 集

上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ

発行日：平成 27 年 3 月 31 日

発行者：上三川町教育委員会・宇都宮市教育委員会

編集者：上三川町教育委員会 生涯学習課

〒 329-0696 河内郡上三川町しらさぎ 1-1

宇都宮市教育委員会 文化課

〒 320-8540 宇都宮市旭 1-1-5